KYOCERA

使用説明書



KM-C2520
KM-C3225
KM-C3232

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

KM-C2520/KM-C3225/KM-C3232 をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。

オプション品の正式な商品名は次のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
自動両面原稿送り装置 DP-710	原稿送り装置
500 枚× 2 段給紙デスク PF-710	ペーパーフィーダ
3000 枚給紙デッキ PF-750	3000 枚ペーパーフィーダ
1000 枚フィニッシャ DF-730	ドキュメントフィニッシャ
3000 枚フィニッシャ DF-710	3000 枚ドキュメントフィニッシャ
メールボックス MT-710	メールボックス
パンチユニット PH-5	パンチユニット
中折りユニット BF-710	中折りユニット
ジョブセパレータ JS-710	ジョブセパレータ
キーカウンタ	キーカウンタ
キーカード MK-2	キーカード
ファクスキット FAX System (N)	ファクスキット
ハードディスク HD-5	ハードディスク
セキュリティキット Data Security Kit (D)	セキュリティキット
ネットワークインタフェースカード IB-21E	ネットワークインタフェースカード
シリアルインタフェース IB-11	シリアルインタフェース
PDF アップグレードキット UG-31	PDF アップグレードキット

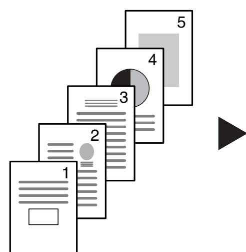
本書では、KM-C2520 を 25/20 枚機、KM-C3225 を 32/25 枚機、KM-C3232 を 32/32 枚機と記載しております。

本機の機能を存分にご活用ください

基本的なコピー ... **使用説明書 3 章**参照

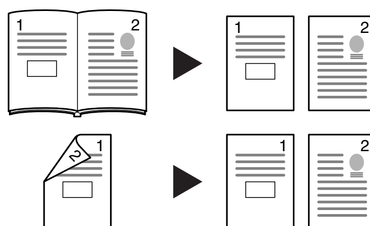
両面コピー

いろいろな原稿を自動で両面コピー



分割コピー

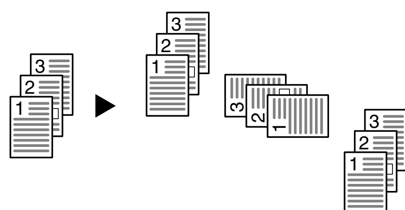
2 ページの原稿を自動的に 1 ページずつコピー



機能的なコピー

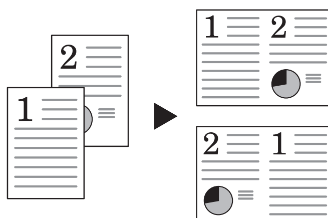
仕分けコピー

1 部ずつコピーの方向を変えて仕分けしやすく



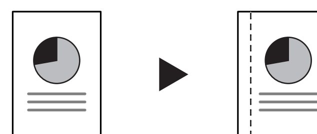
集約コピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚に



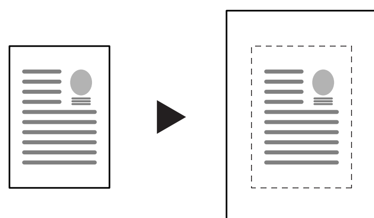
とじしろコピー

コピーにとじしろを作る



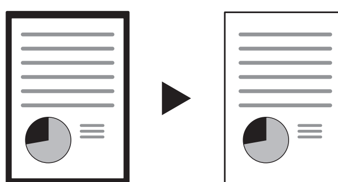
センター移動コピー

用紙の中央にコピー



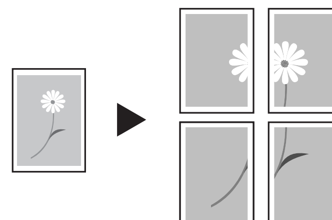
枠消しコピー

原稿のまわりを消去してコピー



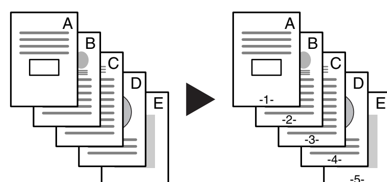
拡大連写

拡大後の画像を複数枚に分けてコピーする



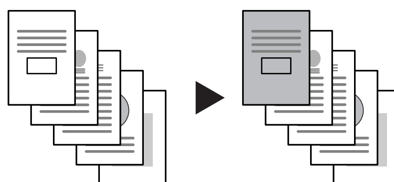
ページ付け

コピーにページ数を印刷する



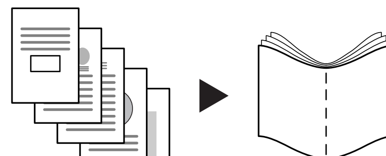
表紙付け

コピーに表紙を付ける



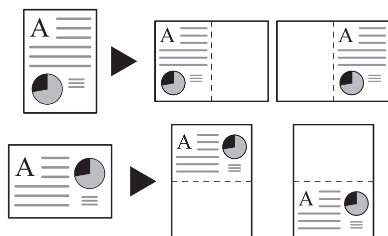
小冊子

小冊子にできるようにコピー



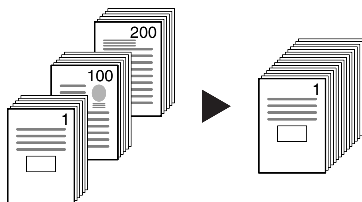
書き込み余白コピー

原稿の横に書き込みスペースを作る



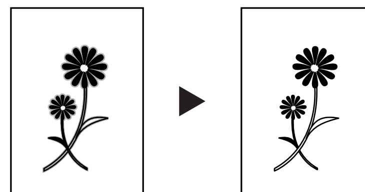
連続読み込みコピー

大量の原稿を一度にコピー



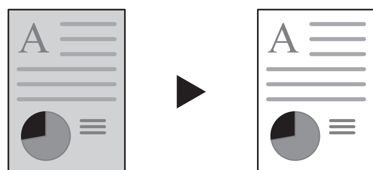
シャープネス調整

画像の輪郭の強弱を調整



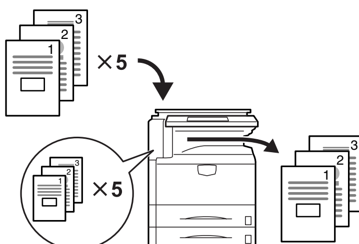
地色調整

カラーの原稿の地色を調整



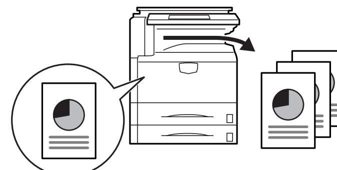
試しコピー

試しコピーをしてから大量部数を出力



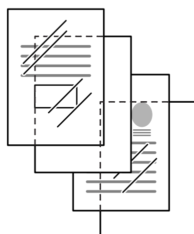
再コピー

コピー終了後に追加分を出力



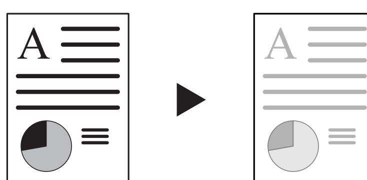
OHP 合紙モード

OHP フィルムの合紙として用紙を送る



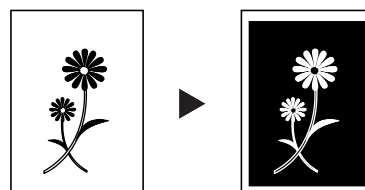
エコプリント

トナー消費量が節約できる



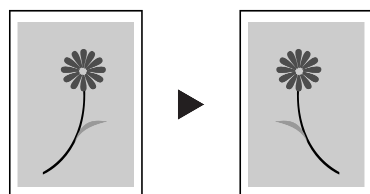
白黒反転コピー

白黒を反転してコピー



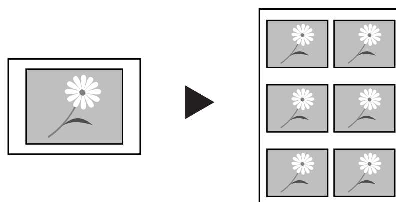
鏡像コピー

原稿を鏡像画像でコピー



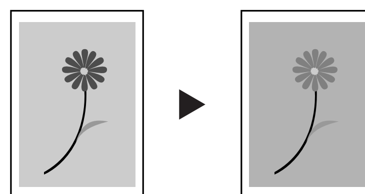
イメージリピートコピー

原稿を 1 枚の用紙に繰り返しコピー



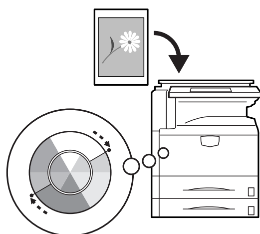
カラーバランス調整

色の強弱を変更



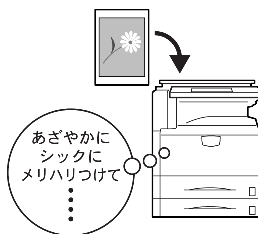
色相調整

色調（色合い）を調整



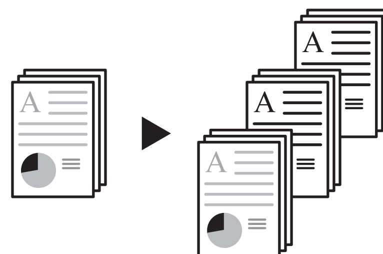
ワンタッチ画質調整

イメージにあわせた画質に調整



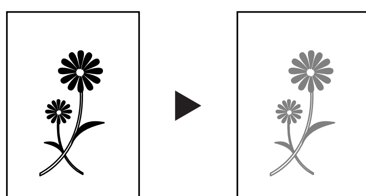
配布コピー

カラーコピーと白黒コピーを一度に



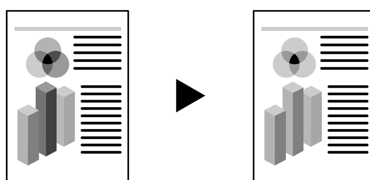
単色カラーコピー

黒以外の 1 色でコピー



2 色カラーコピー

カラーの原稿を 2 色でコピー



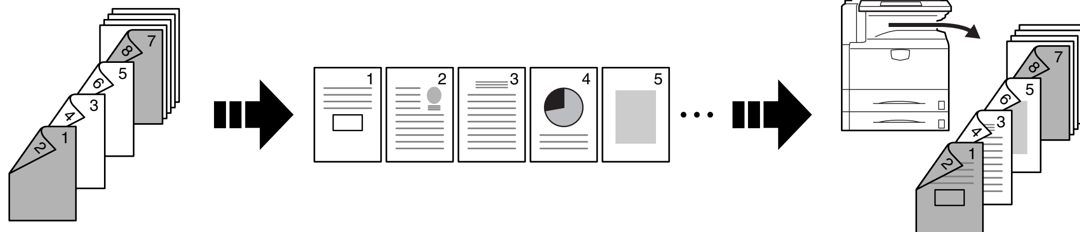
プログラムコピー

コピーワークを記憶する



応用コピー

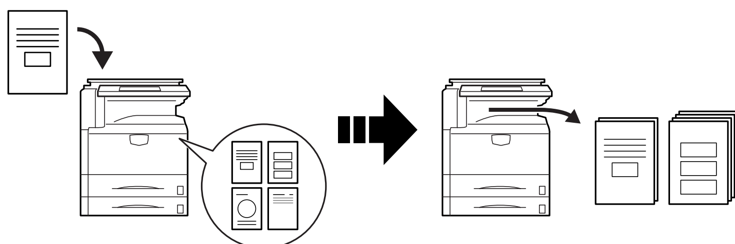
コピーに表紙、中表紙を付け、さらにページごとに縮小 / 拡大や枠消しなどの機能を設定して、全ページを一括してコピーできる



便利な文書 / 出力管理機能

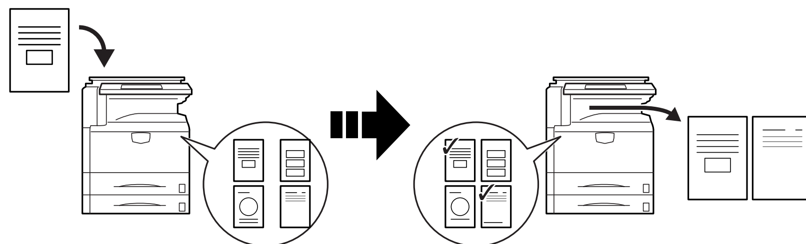
蓄積共有ボックス

よく使用する文書を登録すれば、原稿がなくても、必要なときにコピーできる



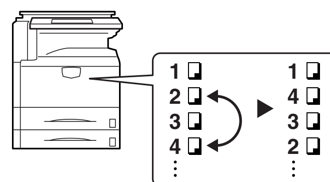
ジョブ結合ボックス

よく使用する文書を登録すれば、必要になった文書を組み合わせて一括でコピーできる



出力管理

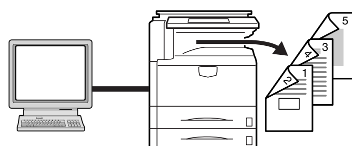
出力順を変更・管理



プリンタ機能

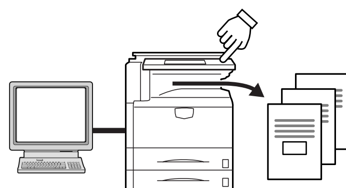
両面印刷

自動で両面印刷



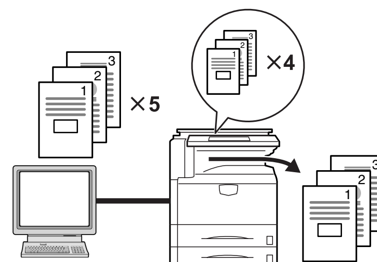
クイックコピーの印刷 †

本体操作パネルから必要な枚数を再印刷



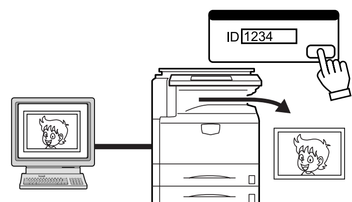
試し刷り後、保留モード ††

試し印刷を行ってから大量印刷



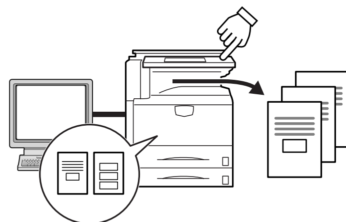
プライベートプリント ††

本体操作パネルから操作するまで出力待機する



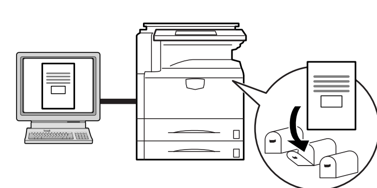
ジョブ保留の印刷 †

よく使用するデータを、本体操作パネルからいつでも印刷



バーチャルメールボックス †

印刷データを仮想のメールボックスに保存



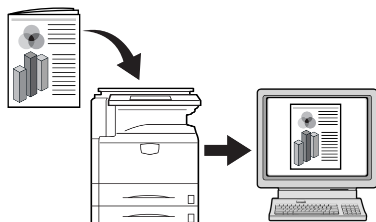
† クイックコピーの印刷、ジョブ保留の印刷、バーチャルメールボックスはオプションのハードディスクが必要

†† 試し刷り後、保留モードとプライベートプリントは、RAM ディスク機能の設定、またはオプションのハードディスクが必要

スキャナ機能

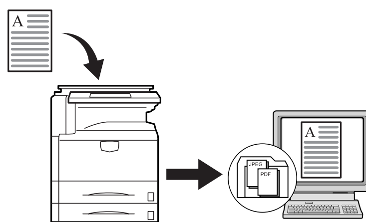
フルカラースキャン

カラー文書もきれいにスキャン



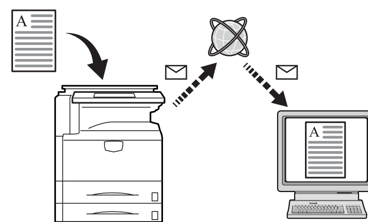
PC 送信

スキャンした画像を PDF や JPEG でコンピュータに送信



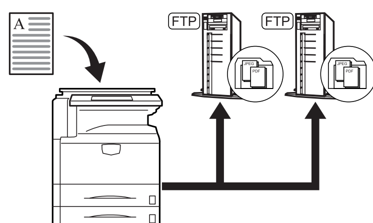
E-Mail 送信

スキャンした画像を E-Mail で送信



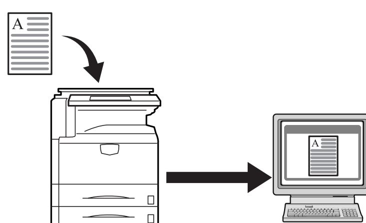
FTP 送信

スキャンした画像を FTP サーバに直接アップロード



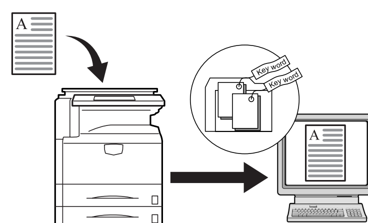
TWAIN

TWAIN 対応アプリケーションで画像を読み込む



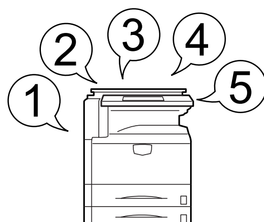
データベース連携

スキャンした画像に文書情報を追加してコンピュータに送信



プログラムスキャン

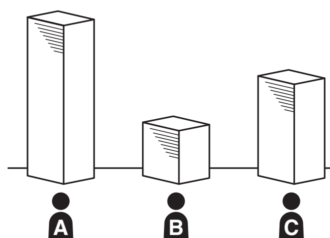
送信先や機能設定を記憶する



本機をより使いやすく

部門管理

暗証番号で枚数管理

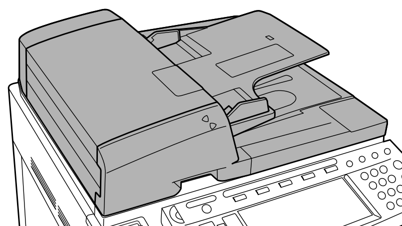
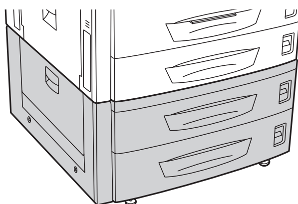
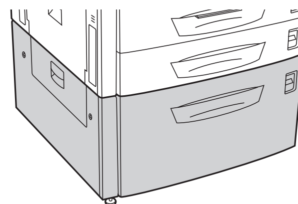
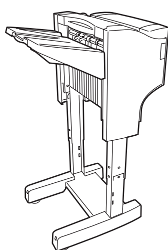
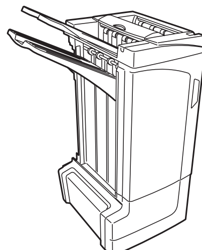
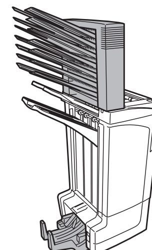
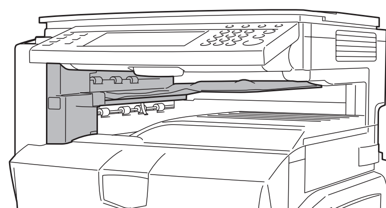
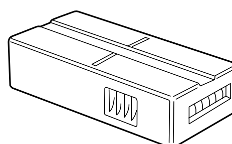
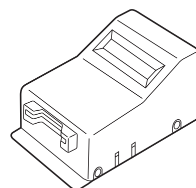
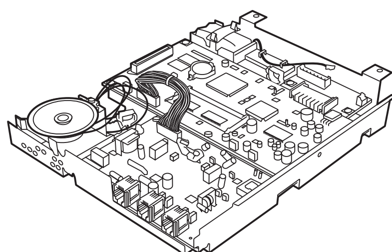
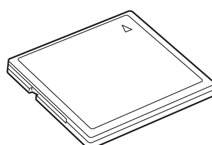
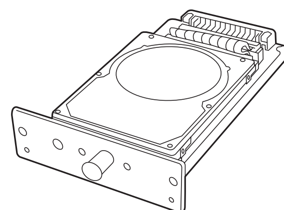
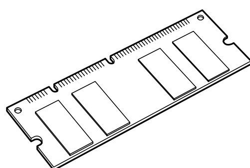
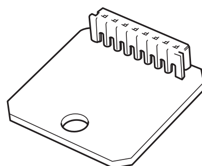
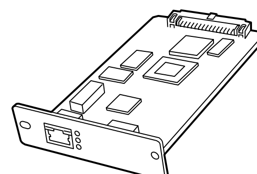
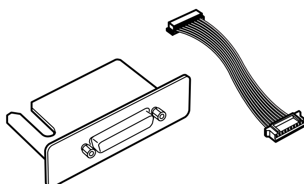
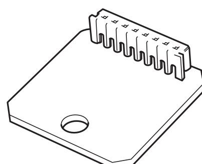


言語切替

メッセージの言語を選択



オプションも充実 ...4-1 ページの**オプションについて**参照

原稿送り装置	ペーパーフィーダ	3000 枚ペーパーフィーダ
		
ドキュメントフィニッシャ	3000 枚ドキュメントフィニッシャ	（メールボックスと中折りユニット装着時）
		
ジョブセパレータ	キーカウンタ	キーカード
		
ファクスキット	メモリカード（コンパクトフラッシュ）	ハードディスク
		
増設メモリ	セキュリティキット	ネットワークインタフェースカード
		
シリアルインタフェース	PDF アップグレードキット	
		

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

法律上のご注意

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDL は、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他における商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には ™ および ® は明記しておりません。



国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタープログラムの基準により、複合機では、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源オフになる「スリープモード」を備えていることが必要です。

本製品は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合するために、以下の仕様を備えております。

「低電力モード」

最後にご使用になってから 15 分を経過しますと自動的に「低電力モード」に移行します。なお「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは 3-37 ページの**低電力モード**をご参照ください。

「スリープモード」

最後にご使用になってから 60 分を経過しますと自動的に「スリープモード」に移行します。なお「スリープモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは 3-38 ページの**スリープモード**をご覧ください。

「自動両面機能について」

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面コピー機能を推奨しています。本機は用紙の両面にコピーできる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙の両面にコピーすることで、紙の使用量を軽減することができます。詳しくは 3-11 ページの**両面コピー**をご覧ください。

再生紙

エネルギースタープログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、身体への危害や財産への損害を未然に防止するために、さまざまな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **警告**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

〈おことわり〉

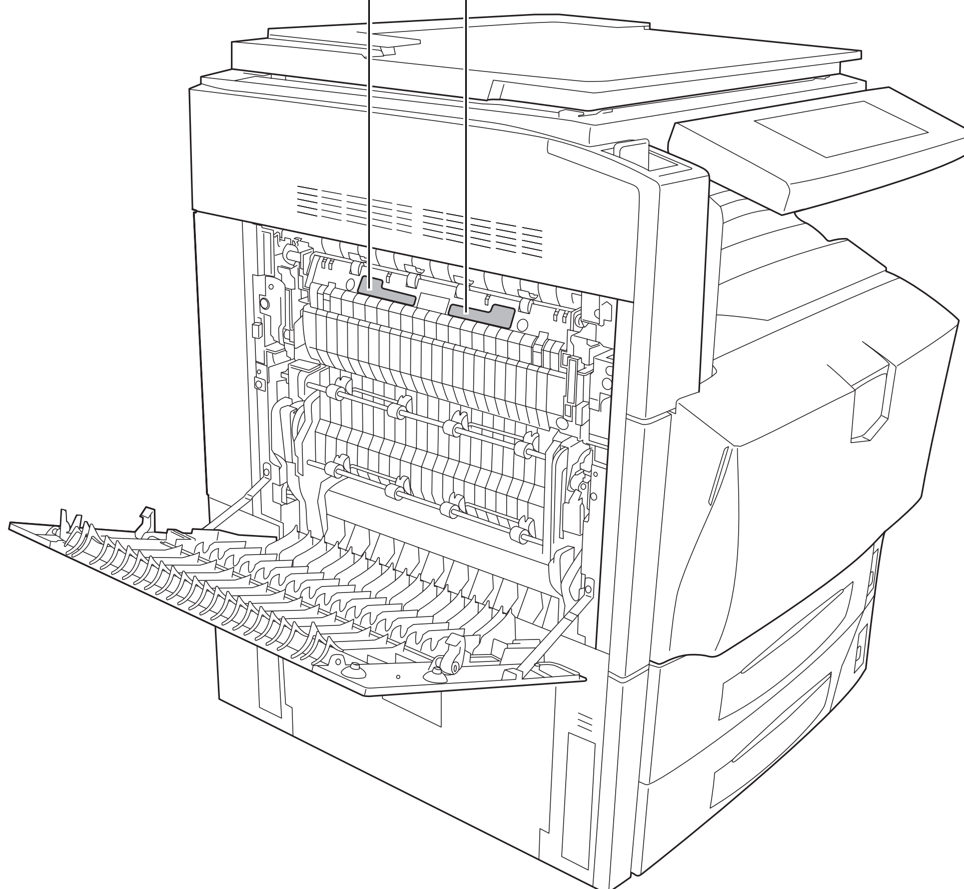
本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

ラベル 1、2

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



＜お願い＞これらのラベルははがさないようにしてください。

⚠ 機械を設置する時のご注意

設置環境について

▲ 注意

本製品を傾いた所や不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

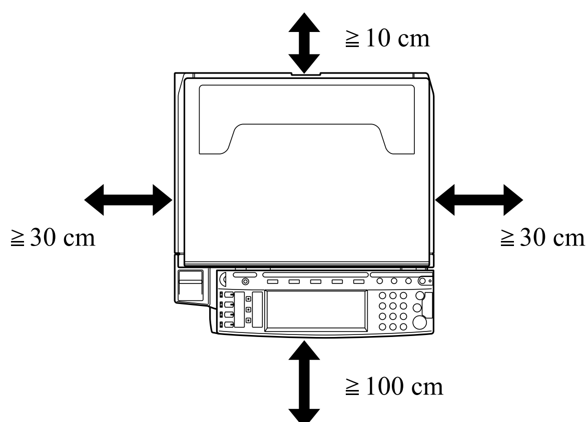


本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に通気口は、壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。





その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 10 ～ 32.5 ℃、湿度 15 ～ 80 % が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

本製品を蛍光灯の真下に設置しないでください。原稿サイズを誤検知するおそれがあります。

設置電源・アースについて

⚠ 警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて

⚠ 警告

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



⚠ 取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

⚠ 警告

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。



本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザ光線への被爆のおそれがあります。レーザ光洩れによる失明のおそれがあります。



万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。



万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。



⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。



本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



その他の注意事項

オプションのファクスキットを装着している場合、メインスイッチが OFF（○）のときは FAX 送信 / 受信を行いません。電源を OFF にする場合は、操作パネル上の［**電源**］キーを押してください。

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

コピー中には次のことをしないでください。

- 前カバーを開ける。
- メインスイッチを切る。
- 電源コードを抜く。

転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

本製品は、HDD（ハードディスク）を搭載しています。製品本体の電源を入れたままで製品を移動しないでください。電源を入れた状態で製品本体を移動すると衝撃・振動により HDD（ハードディスク）が破損する可能性がありますので、移動する場合は、必ず製品本体の電源を OFF にしてください。

消耗品の取り扱いについて

⚠ 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットまたは手差しから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

コピー禁止事項

本製品を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。

② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。

③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。

④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

（関係法律）

- 通貨及ビ証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。

② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。

スキャナ禁止事項

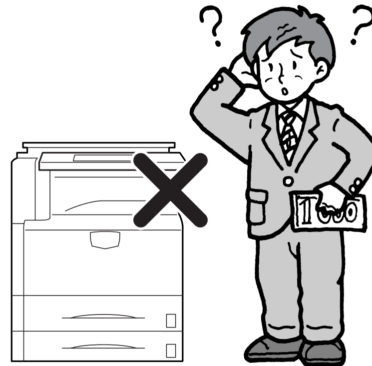
スキャナで読み取った書類、楽譜、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人として使用する以外は著作権法により著作者に無断で使用できません。

以下のものは、スキャナで読み取るだけで、法律により罰せられます。

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券、外国において流通する紙幣・貨幣・証券類、未使用郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規定の証券類。

注意を要するものには

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証、有価証券や定期券、通行券、回数券、食券などの切符類も勝手に読み取らないほうがよいと考えられます。



JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称を説明しています。

2　使用前の準備

用紙の補給、原稿のセット方法、本製品の接続方法、使用前に必要な設定について説明しています。

3　基本的な操作

簡単なコピー、印刷、スキャンができるまでの内容を説明しています。

4　オプションについて

本製品で使用できる便利なオプション機器を紹介しています。

5　日常のメンテナンス

トナーコンテナの交換方法、本製品の清掃について説明しています。

6　困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本製品の仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書（本書）

本製品の用紙の補給方法、コピー、プリンタ、スキャナの基本的な操作、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

使用説明書 応用編

コピー機能、プリンタ機能、スキャナ機能の詳細、各種の初期設定などについて説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書

プリンタドライバのインストール方法とセットアップについて説明しています。本書は CD-ROM に PDF ファイルで収録されています。

プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル

プリスクライブコマンドによって実現される各種機能や制御について、コマンドごとに説明しています。本書は CD-ROM に PDF ファイルで収録されています。

本書の読みかた

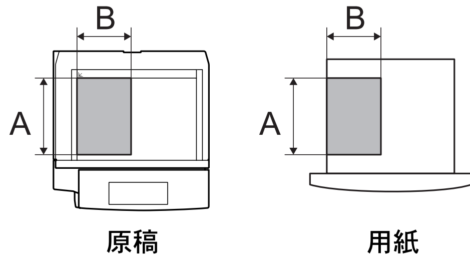
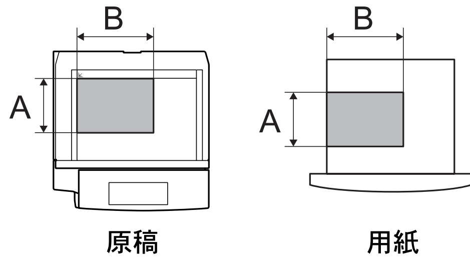
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
［太字］	操作パネルおよびタッチパネル上のキーを示します。	**［スタート］**キーを押してください。
「太字」	タッチパネルに表示されるメッセージを示します。	**「コピーできます。」**が表示されます。
太字	コンピュータの画面に表示されるボタンやメッセージを示します。	**OK** ボタンをクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報が書かれています。	**参考：**ー
注意	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項が書かれています。	**注意：**ー

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズの表記について説明します。

A4 や B5 のように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿 / 用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」を付けて表記しています。

セット方向	表記サイズ†
縦向き  原稿 / 用紙の A より B が短い。	A4、B5、A5、B6、A6
横向き  原稿 / 用紙の A より B が長い。	A4R、B5R、A5R、B6R、A6R

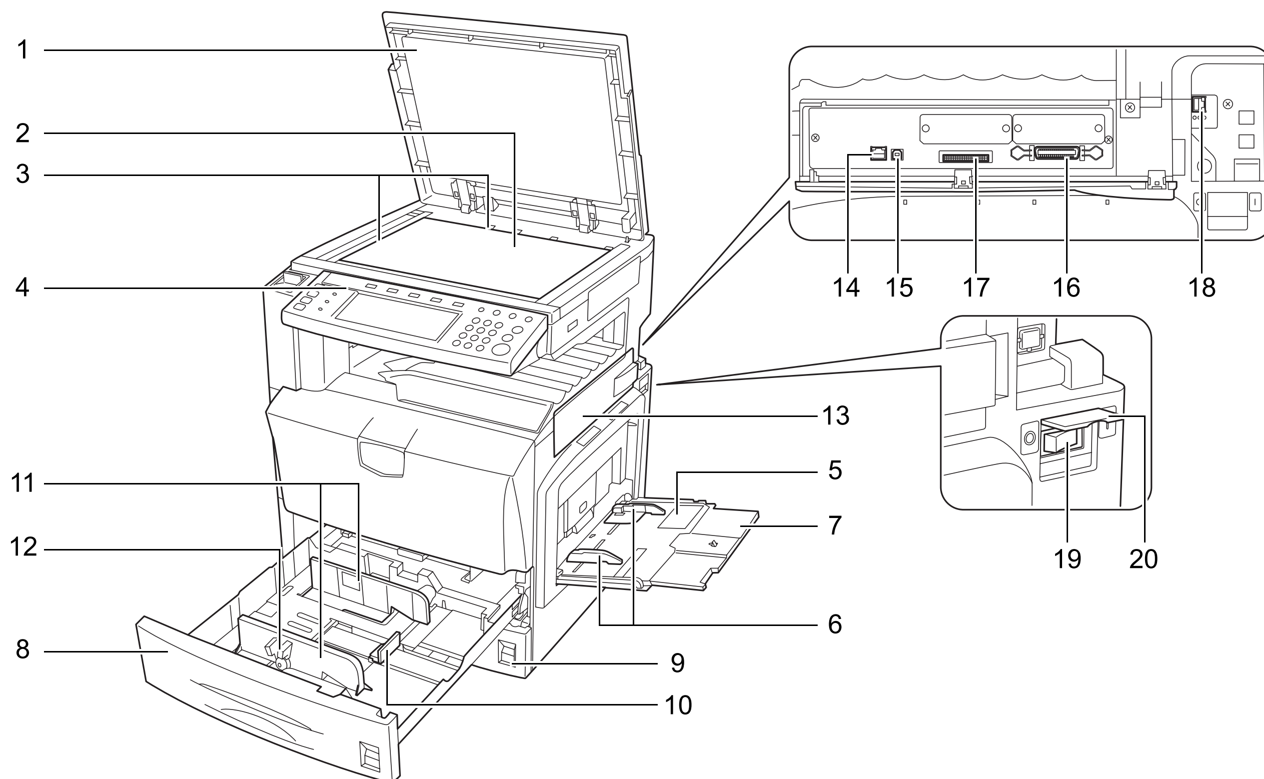
† 使用できる原稿 / 用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは各機能または給紙段のページを参照してください。

目次

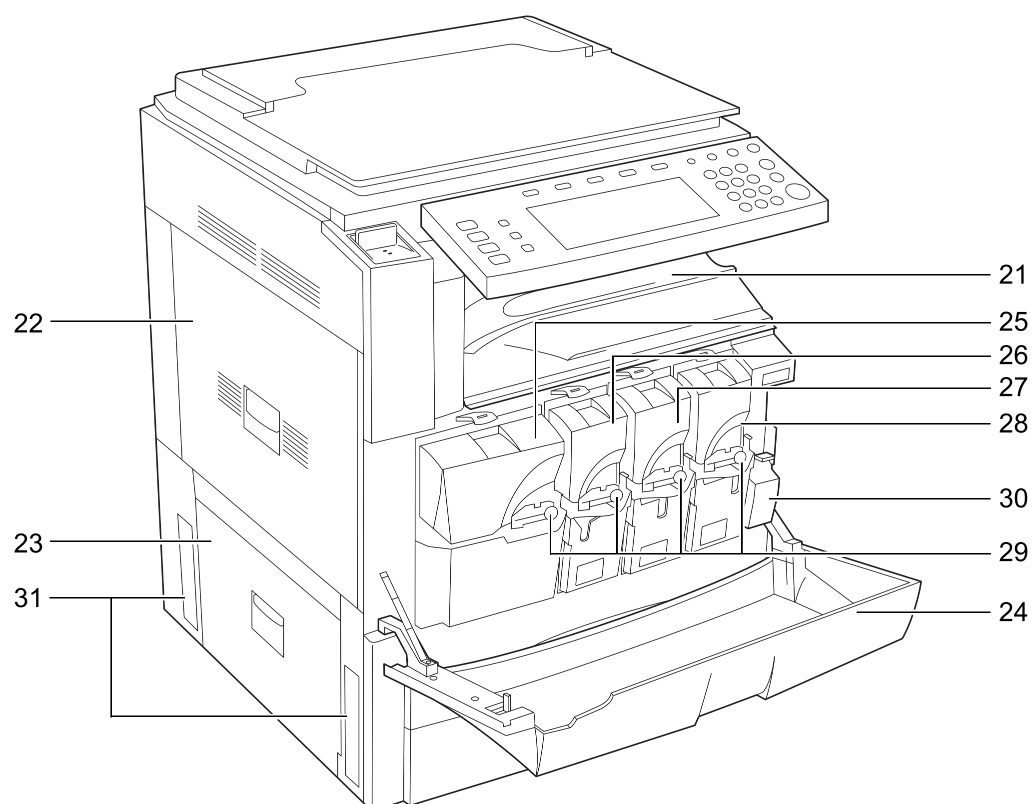
1　各部の名称

この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

本体



1　原稿押さえ（オプション）
2　コンタクトガラス
3　原稿サイズ指示板
4　操作パネル
5　手差し
6　スライダ
7　手差し補助トレイ
8　カセット 1
9　カセット 2
10　縦ガイド
11　横ガイド
12　横サイズ変更つまみ
13　インタフェースカバー
14　ネットワークインタフェースコネクタ（プリンタ用）
15　USB インタフェースコネクタ
16　パラレルインタフェースコネクタ
17　メモリカード（コンパクトフラッシュ）スロット
18　ネットワークインタフェースコネクタ（スキャナ用）
19　メインスイッチ
20　メインスイッチカバー



21 排紙トレイ

22 左カバー 1

23 左カバー 2

24 前カバー

25 トナーコンテナ（黒）

26 トナーコンテナ（イエロー）

27 トナーコンテナ（シアン）

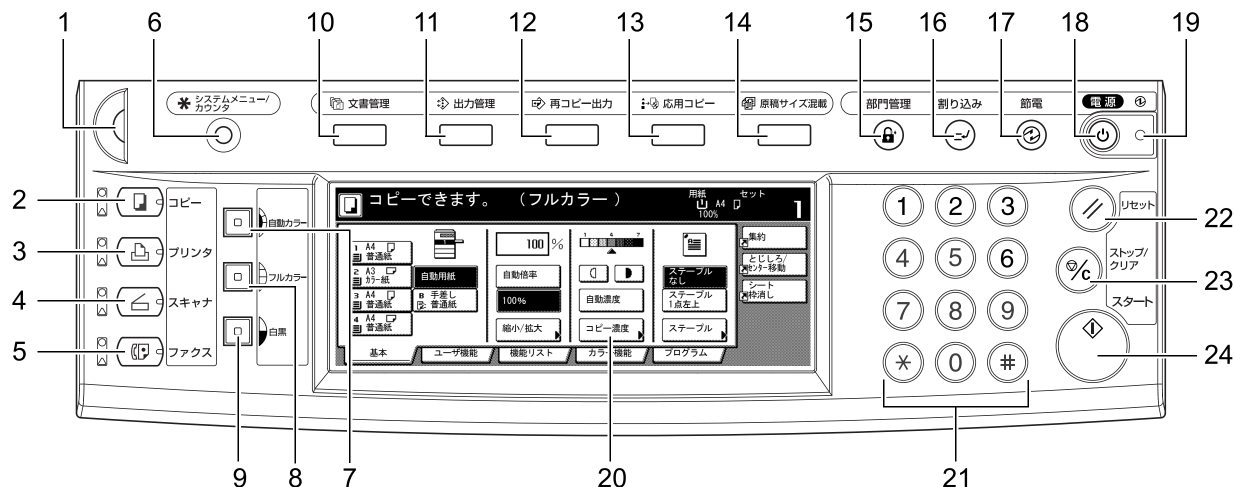
28 トナーコンテナ（マゼンタ）

29 トナーコンテナロックレバー

30 廃棄トナーボックス

31 搬送用ノブ

操作パネル



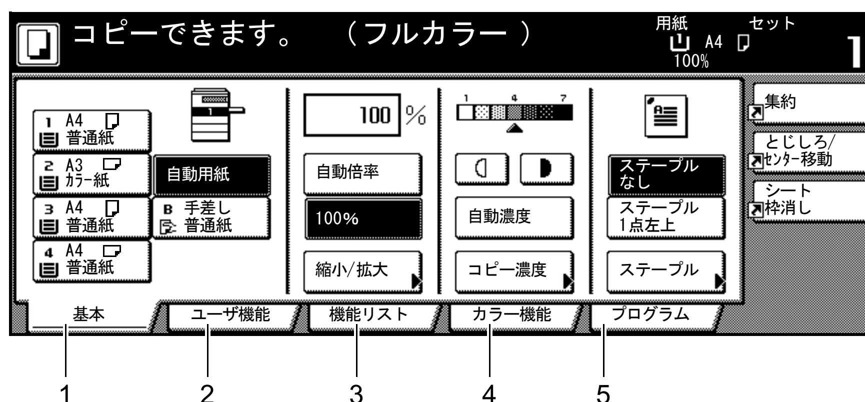
1 輝度調整つまみ
2 ［**コピー**］キー（表示 / ランプ）
3 ［**プリンタ**］キー（表示 / ランプ）
4 ［**スキャナ**］キー（表示 / ランプ）
5 ［**ファクス**］キー（表示 / ランプ）
6 ［**システムメニュー / カウンタ**］キー
7 ［**自動カラー**］キー
8 ［**フルカラー**］キー
9 ［**白黒**］キー
10 ［**文書管理**］キー（表示）
11 ［**出力管理**］キー（表示）
12 ［**再コピー出力**］キー（表示）
13 ［**応用コピー**］キー（表示）
14 ［**原稿サイズ混載**］キー（表示）
15 ［**部門管理**］キー
16 ［**割り込み**］キー（表示）
17 ［**節電**］キー（表示）
18 ［**電源**］キー（表示）
19 主電源表示
20 タッチパネル
21 テンキー
22 ［**リセット**］キー
23 ［**ストップ / クリア**］キー
24 ［**スタート**］キー（表示）

タッチパネル

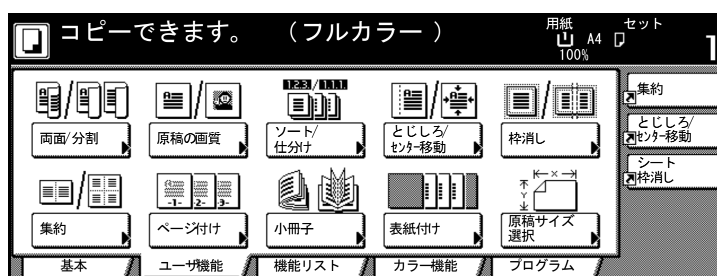
コピー画面

［コピー］キーを押すと表示されます。1、2、3、4、5 を押すと画面が変わります。

1　［基本］画面



2　［ユーザ機能］画面



3　［機能リスト］画面



4　［カラー機能］画面



5 ［プログラム］画面



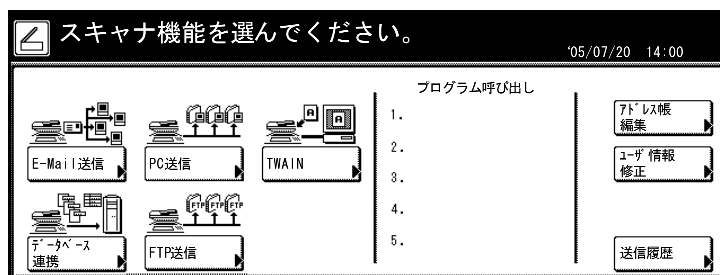
プリンタ画面

［プリンタ］キーを押すと表示されます。



スキャナ画面

［スキャナ］キーを押すと表示されます。



2　使用前の準備

この章では、本機を使用する前に必要な準備について説明します。

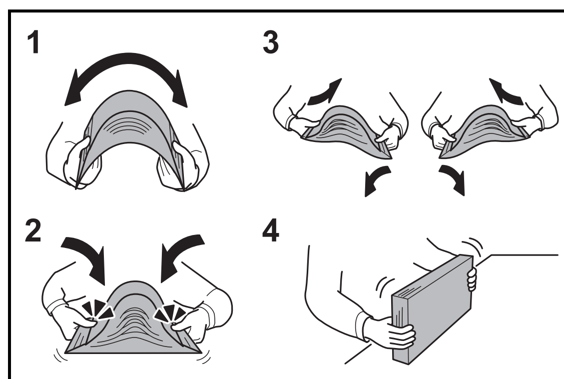
用紙の補給

本機は 2 段のカセットと手差し、およびオプションのペーパーフィーダ、3000 枚ペーパーフィーダに用紙をセットすることができます。

用紙補給時の注意

包装紙から出した用紙はカセットや手差しにセットする前に、次の手順でさばいてください。

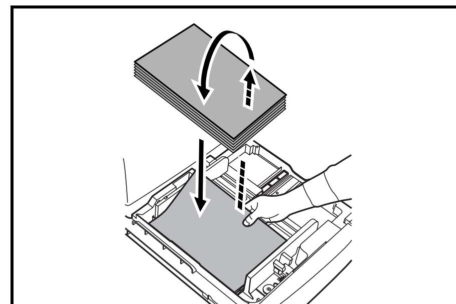
1 用紙の中央を浮かせるように、用紙全体を曲げてください。
2 用紙の両端をつまんだまま、用紙全体がふくらむように戻してください。
3 左右の手を交互に上下させて、用紙の間に空気を入れてください。
4 最後に、水平な台の上で、用紙を揃えてください。



用紙に折れやカール等がある場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。紙づまりの原因となります。

注意：再利用紙（一度コピーした用紙）を使用する場合に、ステープル（ホッチキス）やクリップなどで止められている用紙は使用しないでください。画像不良や故障の原因となります。

排出された用紙がそったり、揃わないときは、カセットの用紙を裏返してセットし直してください。



高温高湿環境で、用紙を取り出し放置すると、湿気でトラブルの要因となりますので、カセットに入れた残りの用紙は用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しに残った用紙も保管袋に入れて密封保管してください。機械を長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

カセット 1、2 への補給

カセット 1、2 には、普通紙や再生紙、カラーペーパーをセットできます。カセット 1 は A4 以下の普通紙（80 g/m²）を 500 枚、B4 以上の普通紙（80 g/m²）を 250 枚収納できます。カセット 2 は普通紙を（80 g/m²）500 枚収納できます。

セットできる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、8K、16K、16KR です。

オプションのペーパーフィーダ（カセット 3、4）にも同じ手順で用紙をセットしてください。

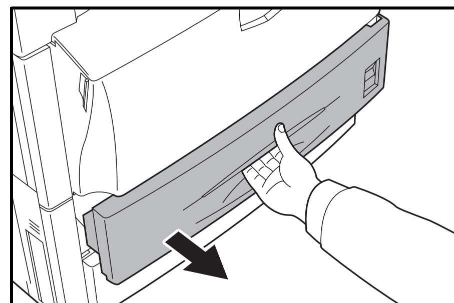
注意：カラーコピーをより鮮明にとっていただくためには、カラー専用の用紙をお使いください。

インクジェットプリンタ用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。（紙づまり等、故障の原因になる場合があります。）

用紙を補給した後に、操作パネルで、カセットにセットする用紙のサイズおよび種類を設定してください。詳細は 2-8 ページの**用紙サイズの設定**、2-9 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

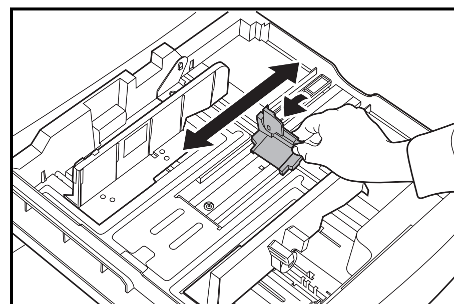
---

1 カセットを手前いっぱいに引き出してください。



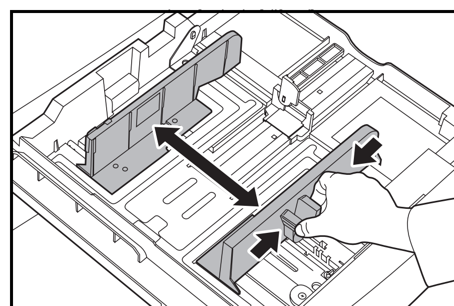
2 縦ガイドを用紙サイズに合わせてください。

参考：用紙サイズはカセットに刻印されています。

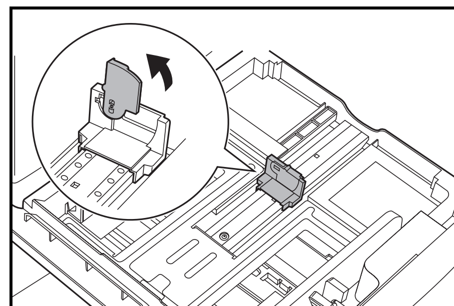


3 横サイズ変更つまみを持って、横ガイドを用紙サイズに合わせてください。

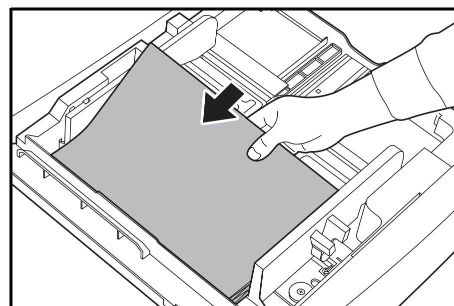
参考：用紙サイズはカセットに刻印されています。



カセット 1 に A4 以下のサイズの用紙をセットする場合は、イラストのように縦ガイドの補助レバーを立ててください。



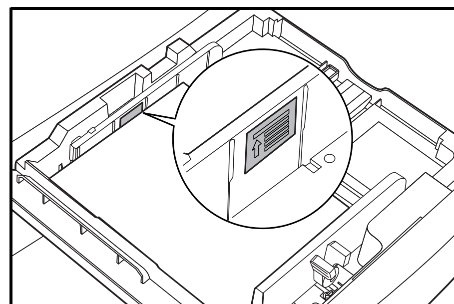
4 用紙をカセットの左端に揃えてセットしてください。



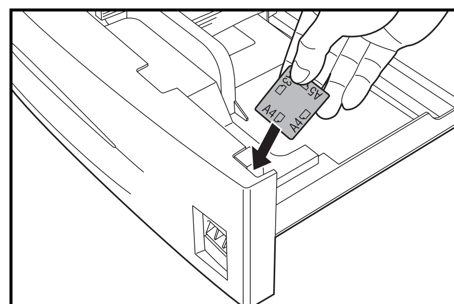
注意：縦サイズおよび横サイズのガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦ガイドまたは横ガイドをセットしなおしてください。紙づまりの原因となります。

紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。



5 セットした用紙サイズを示す、付属の用紙シートをセットしてください。



6 カセットを静かに押し込んでください。

3000 枚ペーパーフィーダへの補給

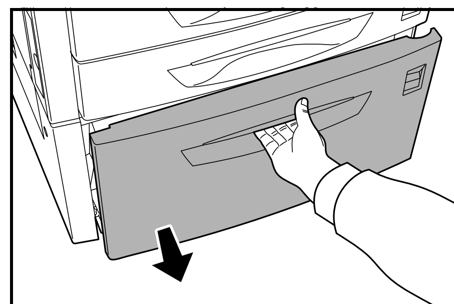
オプションの 3000 枚ペーパーフィーダ（カセット 3）には、A4 または B5 の普通紙（80 g/m²）を 3000 枚収納することができます。

注意：カラーコピーをより鮮明にとっていただくためには、カラー専用の用紙をお使いください。

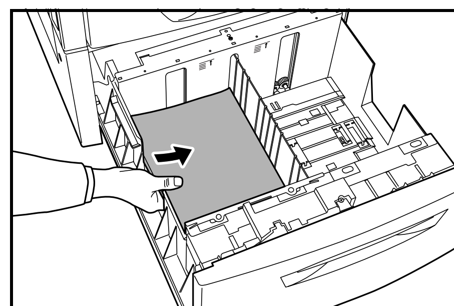
インクジェットプリンタ用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。（紙づまり等、故障の原因になる場合があります。）

3000 枚ペーパーフィーダにセットする用紙の種類を設定してください。詳細は 2-9 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

1 カセットを手前いっぱいに引きだしてください。

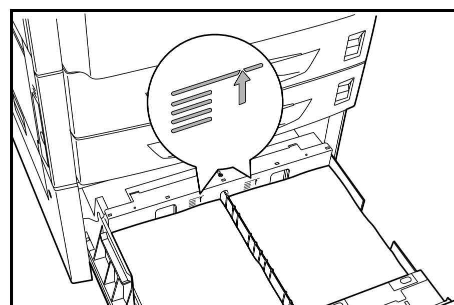


2 用紙をカセットの中央に揃えて、セットしてください。



参考：紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。



3 カセットを静かに押し込んでください。

手差しへの補給

普通紙や再生紙の他、特殊紙（60 ～ 220 g/m²）をセットすることができます。A4 以下の普通紙（80 g/m²）は 100 枚、B4 以上の普通紙（80 g/m²）は 50 枚収納できます。

セットできる用紙サイズは A3 ～ A6R、はがき、11 × 17" ～ 5 1/2 × 8 1/2"、8K、16K、16KR です。

手差しの用紙収納枚数は次のとおりです。

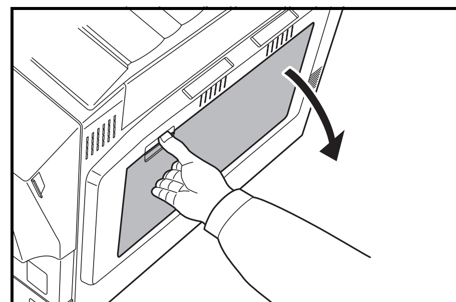
用紙種類	収納枚数
普通紙（80 g/m²）、再生紙、カラーペーパー	A4 以下：100 枚、B4 以上：50 枚
官製はがき	30 枚
OHP フィルム	10 枚

注意：カラーコピーをより鮮明にとっていただくためには、カラー専用の用紙をお使いください。

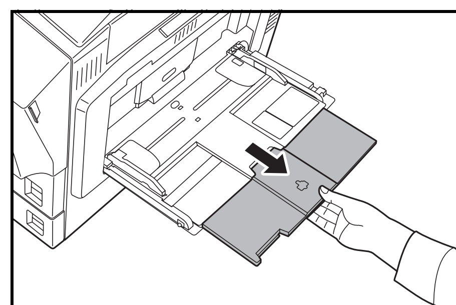
インクジェットプリンタ用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。（紙づまり等、故障の原因になる場合があります。）

操作パネルで、手差しにセットする用紙のサイズおよび種類を設定してください。詳細は 2-11 ページの**手差し用紙サイズの設定**、2-16 ページの**手差し用紙種類の設定**を参照してください。

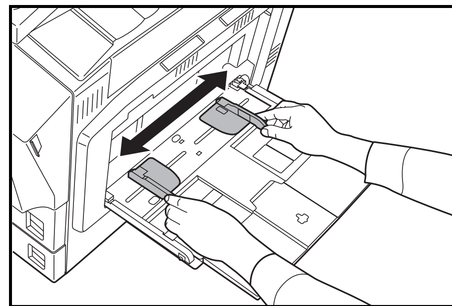
1 手差しを開けてください。



A4R 以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばしてください。

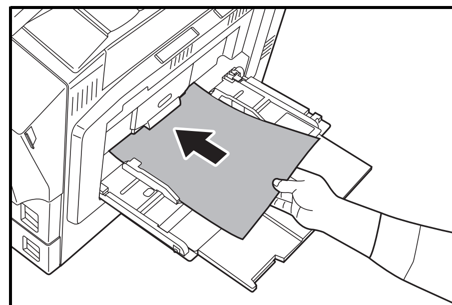


2 セットする用紙の幅にスライダを合わせてください。



3 用紙をスライダに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。

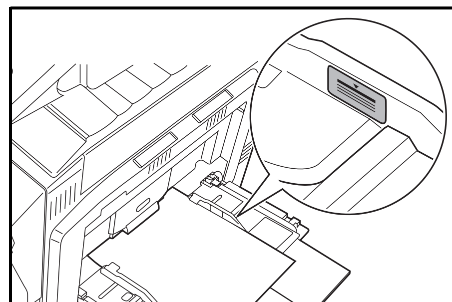
スライダが用紙の端に当たっているか確認してください。



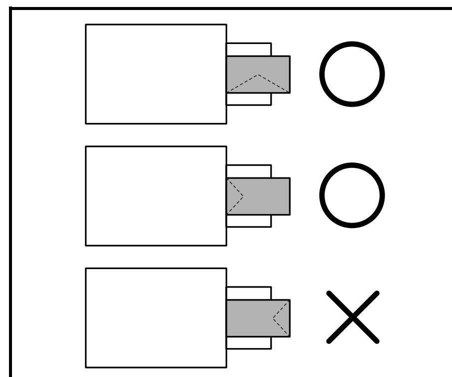
注意：はがきや厚紙など反っている用紙は、必ず反りを直してから使用してください。紙質によっては紙送りされない場合があります。

手差しは、使用するときのみ用紙をセットしてください。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。



封筒をセットするときは開封部を閉じたまま、印刷する面を上にしてください。開封部が手前側または右側になるように、スライダに沿わせて止まる位置まで挿入してください。



カセットおよび手差しのサイズを操作部で設定

カセット 1、2 およびオプションのペーパーフィーダ（カセット 3、4）に用紙をセットするときは、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。次の**用紙サイズの設定**および 2-9 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

オプションの 3000 枚ペーパーフィーダ（カセット 3）に用紙をセットするときは、用紙種類の設定を行ってください。2-9 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

手差しに用紙をセットするときは、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。
2-11 ページの**手差し用紙サイズの設定**および 2-16 ページの**手差し用紙種類の設定**を参照してください。

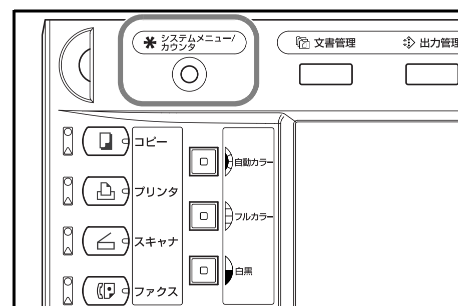
用紙サイズの設定

カセット 1、2 およびオプションのペーパーフィーダ（カセット 3、4）を使用する場合は、用紙のサイズを設定してください。用紙サイズの検知を自動で行うときは［**自動検知**］を設定し、［**センチ**］と［**インチ**］から単位を選択してください。

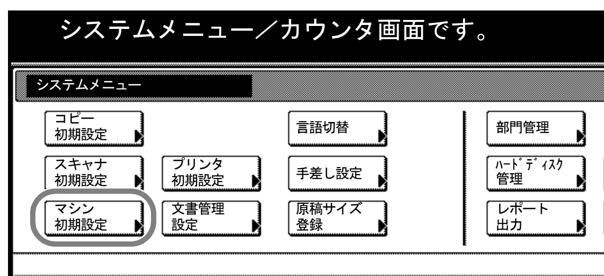
設定できる用紙サイズは次のとおりです。

A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"（Oficio 2）、8K、16K、16KR

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2 ［**マシン初期設定**］キーを押してください。



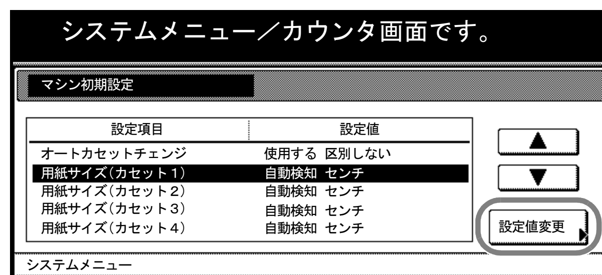
3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、「**マシン初期設定**」画面が表示されます。

参考：オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

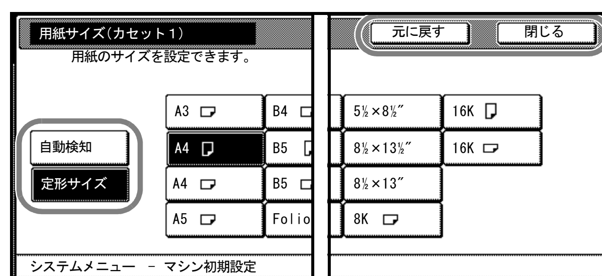
4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**用紙サイズ（カセット 1 ～ 4）**」から用紙サイズを設定するカセットを選択して、［**設定値変更**］キーを押してください。



参考：「**カセット 3**」、「**カセット 4**」はオプションのペーパーフィーダまたは 3000 枚ペーパーフィーダを装着したときに表示されます。

5 ［**自動検知**］を選択したときは、単位を選択してください。［**定形サイズ**］を選択したときは、用紙のサイズを選択してください。

［**閉じる**］キーを押してください。



キー	説明
［閉じる］	設定を確定して画面を閉じます。
［元に戻す］	設定をキャンセルして画面を閉じます。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。

7 ［**終了**］キーを押してください。［**基本**］画面に戻ります。

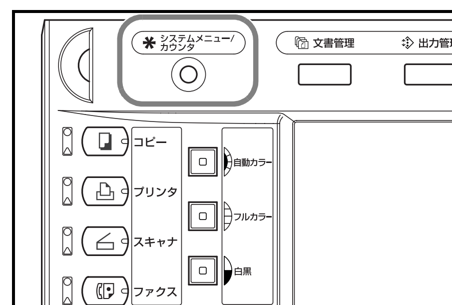
用紙種類の設定

カセット 1、2、オプションのペーパーフィーダ（カセット 3、4）または 3000 枚ペーパーフィーダ（カセット 3）を使用する場合は、用紙の種類を設定してください。

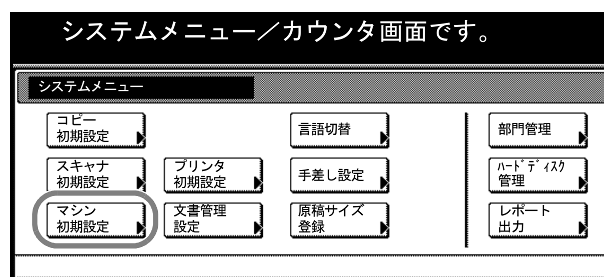
設定できる用紙種類は次のとおりです。

普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、上質紙、カスタム 1 ～ 8

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2 ［**マシン初期設定**］キーを押してください。

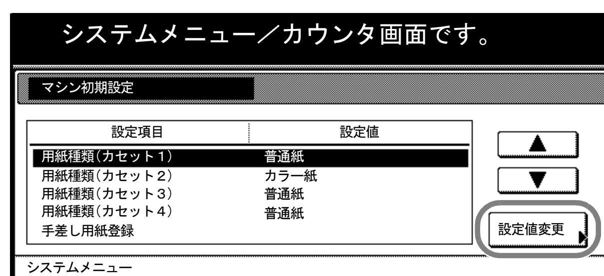


3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、「**マシン初期設定**」画面が表示されます。

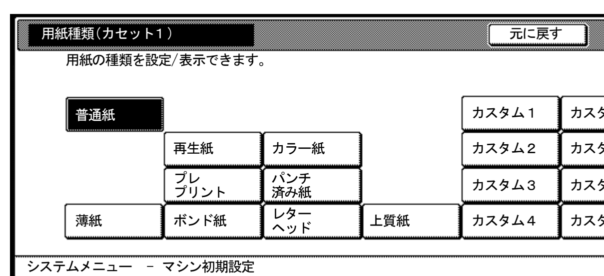
参考：オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

4 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**用紙種類（カセット 1 ～ 4）**」から用紙種類を設定するカセットを選択して、［**設定値変更**］キーを押してください。



参考：「**カセット 3**」、「**カセット 4**」はオプションのペーパーフィーダまたは 3000 枚ペーパーフィーダを装着したときに表示されます。

5 用紙の種類を選択し、［**閉じる**］キーを押してください。



6 ［**閉じる**］キーを押してください。

7 ［**終了**］キーを押してください。［**基本**］画面に戻ります。

手差し用紙サイズの設定

手差しを使用する場合は、用紙のサイズを設定してください。

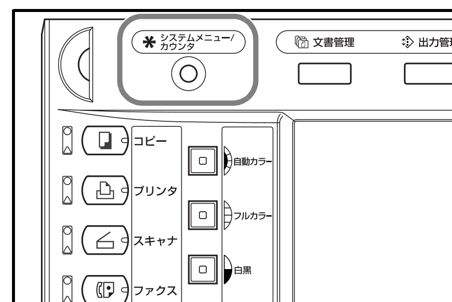
設定方法と用紙サイズは次のとおりです。

設定方法	単位設定	用紙サイズ
自動検知	センチ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R、はがき
	インチ	11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"
その他定形サイズ		ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Comm. #6-3/4、Monarch、Executive、往復はがき、洋形 2 号、洋形 4 号、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"（Oficio 2）、8K、16K、16KR
サイズ入力		たて：98 ～ 297 mm（1 mm 単位） よこ：148 ～ 432 mm（1 mm 単位）
ユーザ登録サイズ		あらかじめ登録している用紙サイズ（1 ～ 4） 登録できる用紙サイズ たて：98 ～ 297 mm（1 mm 単位） よこ：148 ～ 432 mm（1 mm 単位）

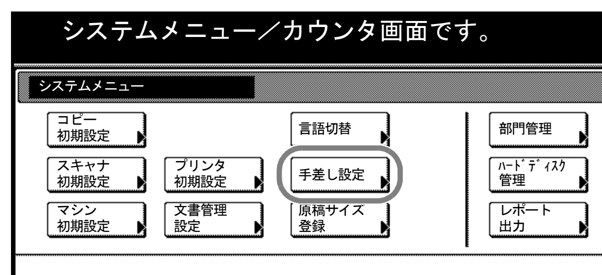
自動検知

用紙サイズの検知を自動で行います。［**センチ**］と［**インチ**］から単位を選択してください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2 ［**手差し設定**］キーを押してください。



3 ［**自動検知**］キーを押してください。



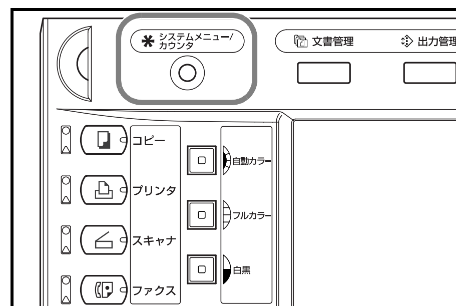
4 ［**センチ**］または［**インチ**］を選択してください。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。［**基本**］画面に戻ります。

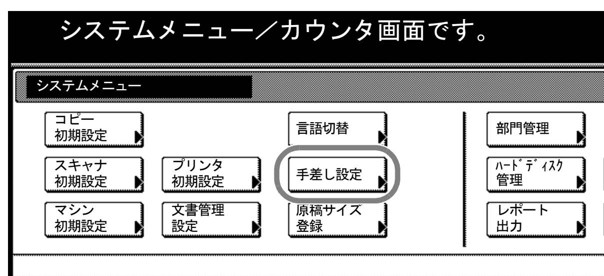
その他定形サイズ

特殊な定形サイズを設定できます。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



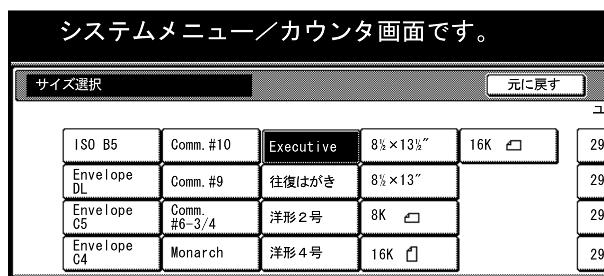
2 ［**手差し設定**］キーを押してください。



3 ［**その他定形サイズ**］キーを押し、［**サイズ選択**］キーを押してください。



4 用紙サイズを選択してください。



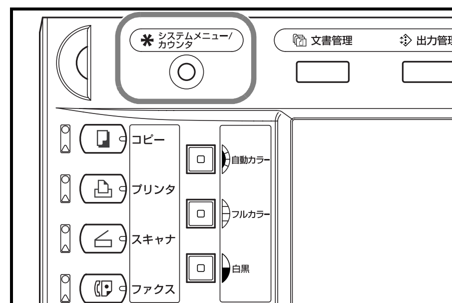
5 ［**閉じる**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。［**基本**］画面に戻ります。

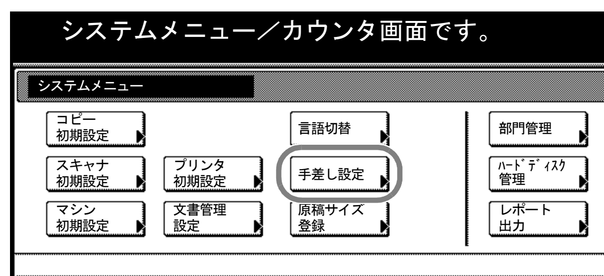
サイズ入力

任意の用紙サイズを設定できます。

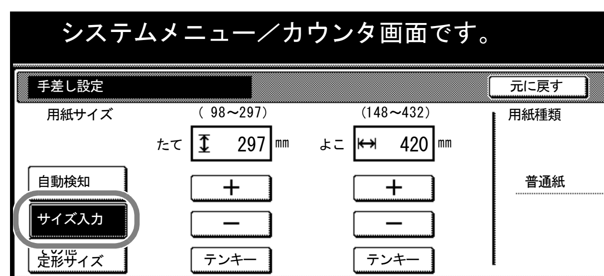
1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2 ［**手差し設定**］キーを押してください。



3 ［**サイズ入力**］キーを押してください。



4 ［+］または［−］キーを押して、「**たて**」と「**よこ**」のサイズを設定してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

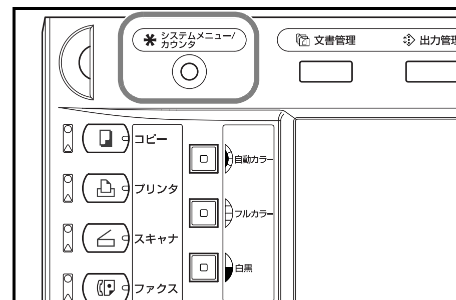
5 ［**閉じる**］キーを押してください。［**基本**］画面に戻ります。

ユーザ登録サイズ

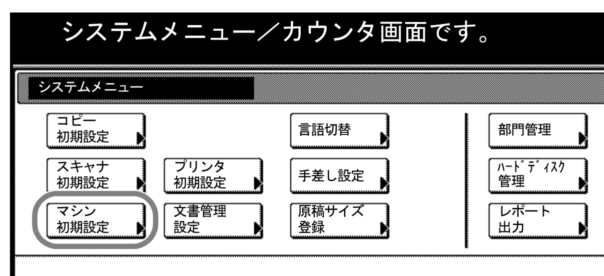
よく使用する用紙サイズをユーザ登録サイズとして登録しておくことができます。また、各ユーザ登録サイズには用紙種類を設定することもできます。

登録方法

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2 ［**マシン初期設定**］キーを押してください。

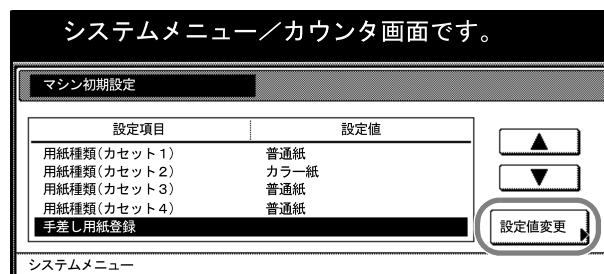


3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

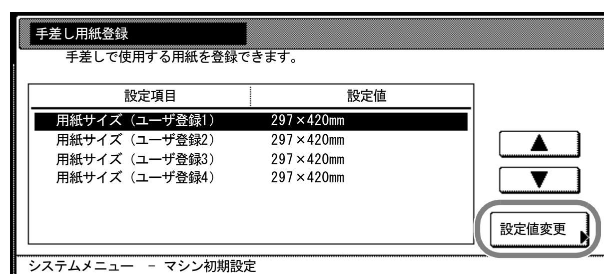
暗証番号が合致すれば、「**マシン初期設定**」画面が表示されます。

参考：オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

4 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**手差し用紙登録**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。



5 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**用紙サイズ（ユーザ登録 1 ～ 4）**」から登録する番号を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。



6　［**設定する**］キーを押し、［**+**］または［**–**］キーを押して、「**たて**」と「**よこ**」のサイズを設定してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

用紙種類を選択する場合は［**用紙種選択**］キーを押してください。用紙種類を選択して［**閉じる**］キーを押してください。

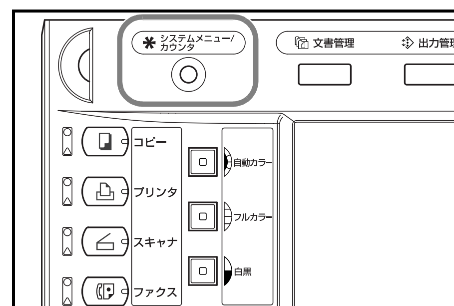
7　［**閉じる**］キーを押してください。

8　［**閉じる**］キーを押してください。

9　［**終了**］キーを押してください。［**基本**］画面に戻ります。

設定方法

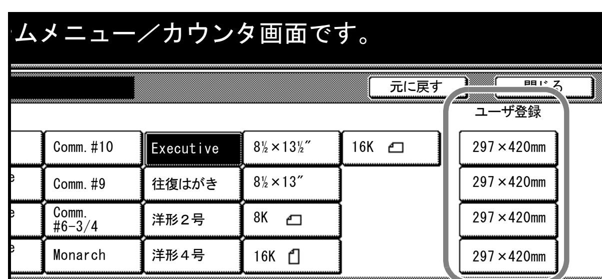
1　［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2　［**手差し設定**］キーを押してください。

3　［**その他定形サイズ**］キーを押し、［**サイズ選択**］キーを押してください。

4 **「ユーザ登録」**から用紙サイズを選択してください。



5 **［閉じる］**キーを押してください。

6 **［閉じる］**キーを押してください。**［基本］**画面に戻ります。

手差し用紙種類の設定

手差しを使用する場合は、用紙の種類を設定してください。

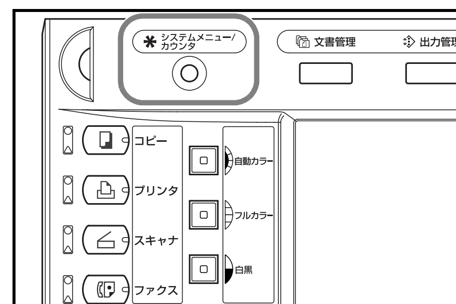
設定できる用紙の種類は次のとおりです。

普通紙、OHP フィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、加工紙、上質紙、カスタム 1 ～ 8

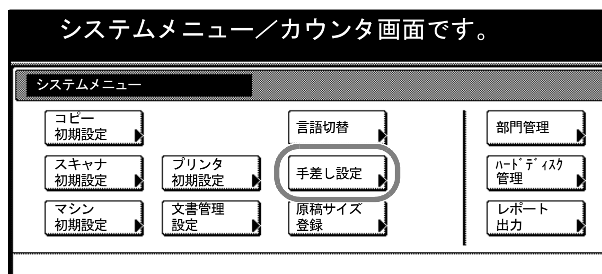
参考：手差しの用紙サイズに、用紙種類を設定しているユーザ登録サイズを選択した場合は、用紙種類の変更はできません。

---

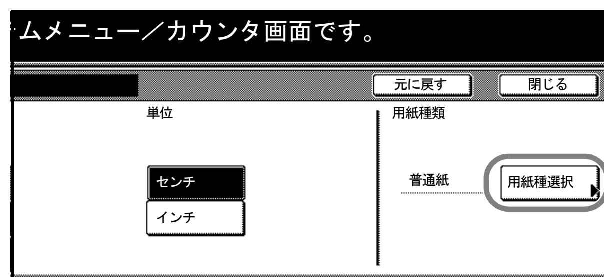
1 **［システムメニュー / カウンタ］**キーを押してください。



2 **［手差し設定］**キーを押してください。



3 ［用紙種選択］キーを押してください。



4 用紙種類を選択してください。



5 ［閉じる］キーを押してください。

6 ［閉じる］キーを押してください。［基本］画面に戻ります。

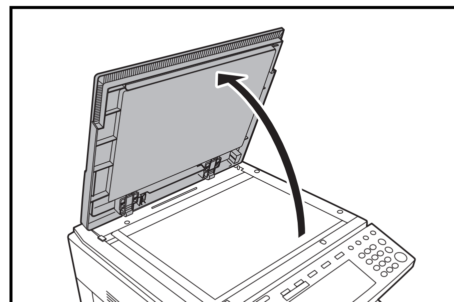
原稿のセット

コピーまたはスキャンを行うときの、原稿のセット方法を説明します。

コンタクトガラスへの原稿のセット

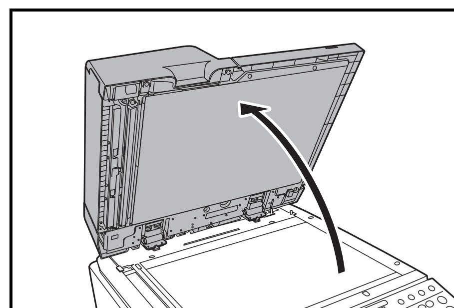
原稿は原稿押さえを開けて、コンタクトガラスの上にセットします。シート原稿以外に、本や雑誌をセットすることもできます。

1 原稿押さえを開けてください。

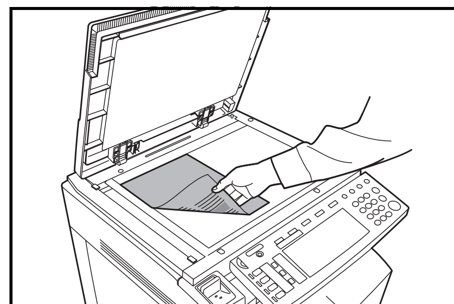


参考：オプションの原稿送り装置を装着しているときは、原稿送り装置を開けてください。原稿送り装置を開ける前には、原稿トレイや原稿排紙テーブルに原稿がないことを確認してください。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。

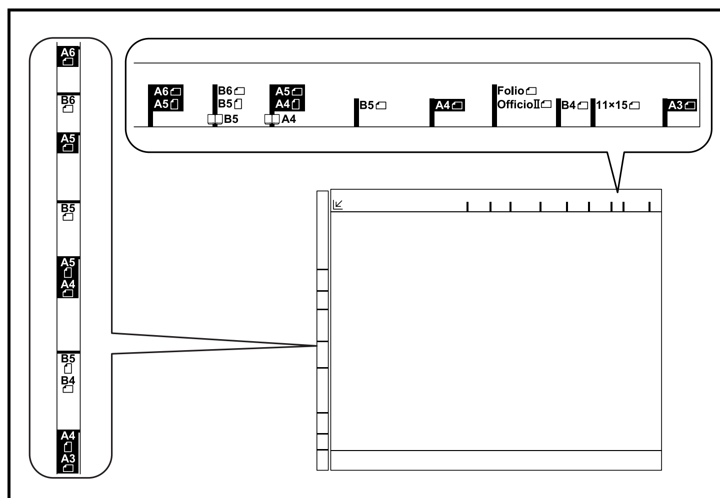
4 cm 以上の厚さのある原稿は原稿送り装置を開けたままでコピーしてください。



2 原稿をセットします。読み込む面を下にし、左奥を基準に、原稿サイズ指示板に確実に合わせてください。



原稿サイズ指示板



3 原稿押さえを閉めてください。

注意：このとき、原稿押さえまたは原稿送り装置をコンタクトガラスに強く押さえつけないでください。ガラスが割れることがあります。

見開き原稿をコピーすると、周辺や中枠部分に影が写ることがあります。

 **注意** : 原稿送り装置を開いた状態のままで放置しないでください。けがの原因となることがあります。

原稿送り装置（オプション）への原稿のセット

オプションの原稿送り装置を使用すると、複数のシート原稿を自動的に 1 枚ずつ読み込むことができます。また、両面原稿を自動的に反転させて読み込むこともできます。

原稿送り装置にセットできる原稿は次のとおりです。

項目	仕様
厚さ	片面原稿：45 g/m² ～ 160 g/m² 両面原稿：50 g/m² ～ 120 g/m²
サイズ	最大 A3 ～最小 A5R
セット枚数	普通紙（80 g/m²、A4 以下）、カラーペーパー（A4 以下）、再生紙（A4 以下）：100 枚以下（原稿サイズ混載コピー時：30 枚） 普通紙（80 g/m²、B4 以上）、カラーペーパー（B4 以上）、再生紙（B4 以上）：70 枚以下 第 2 原図、更紙、アート紙：1 枚 コンピュータフォーム（11 × 15"）：40 枚

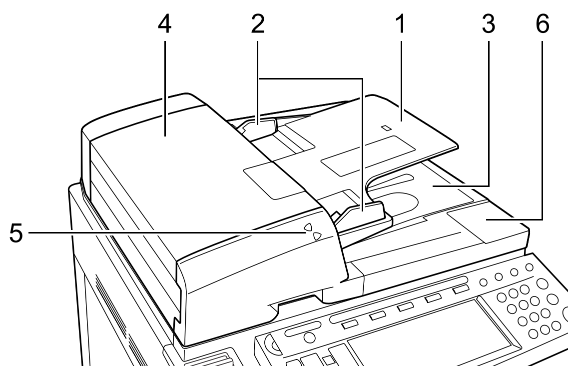
原稿送り装置の使用上の注意

次のような原稿は、原稿送り装置に使用しないでください。また、パンチ穴やミシン目のある原稿を挿入先端側にセットしないでください。

- OHP フィルムなどの透明フィルム
- カ一ボン紙やしわ・折れのひどい原稿、またはビニールなどの軟らかい原稿
- 方形でない原稿、濡れた原稿、粘着テープ・糊などが付いた原稿
- クリップやステープルで止めてある原稿（原稿として使用するときは、クリップやステープルを取り外して、しわ・折れをなおしてからセットしてください。原稿がつまる原因になります。）
- 切り抜きの原稿、表面やうら面のすべりが非常によい原稿
- 修正液が乾いていない状態の原稿
- 折り目のついた原稿（原稿として使用するときは、折れをなおしてからセットしてください。原稿がつまる原因になります。）

原稿送り装置の各部の名称

1 原稿トレイ
2 原稿挿入ガイド
3 原稿排紙テーブル
4 原稿送り装置カバー
5 原稿セット表示
6 清掃用布ケース

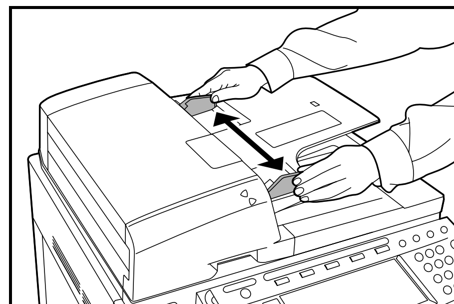


原稿のセット方法

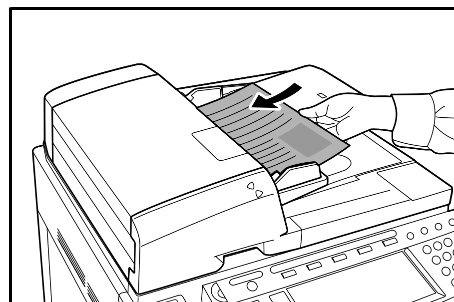
次の手順で原稿送り装置に原稿をセットしてください。

注意：原稿をセットする前に、原稿排紙テーブルに排紙された原稿が残っていないか確認してください。原稿排紙テーブルに原稿が残っていると、原稿がつまる原因になります。

1 原稿挿入ガイドを原稿サイズに合わせてください。

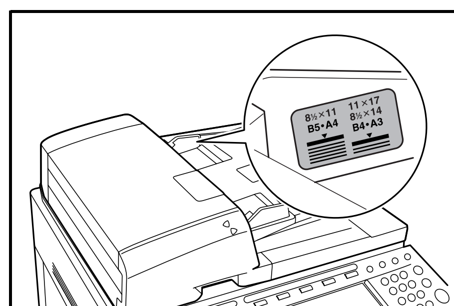


2 原稿をセットします。読み込む面を上にして（両面原稿の場合は表面を上にして）、原稿の先端を確実に原稿送り装置内の奥まで差し込んでください。



注意：原稿挿入ガイドが原稿にしっかりと当たっているか確認し、隙間があるときは原稿挿入ガイドをセットしなおしてください。原稿がつまる原因となります。

原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットしてください。この上限表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる原因になります。



ケーブルの接続

プリンタ機能またはスキャナ機能を使用するために、コンピュータと接続します。本機には、コンピュータとの接続用に次のインタフェースを備えています。

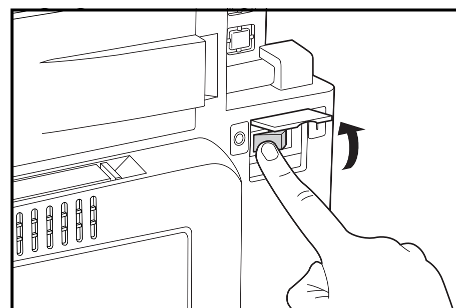
使用するインタフェースに合わせて、適合するケーブルをご用意ください。

機能	インタフェース	必要なケーブル
プリンタ機能	パラレルインタフェース	パラレルケーブル（IEEE1284 準拠 1.5m 以下）
	USB インタフェース	USB2.0 適合ケーブル（Hi-Speed USB 準拠 5.0m 以下）シールド付のケーブル
	ネットワークインタフェース	ネットワークケーブル（10Base-T または 100Base-TX）
スキャナ機能	ネットワークインタフェース	ネットワークケーブル（10Base-T または 100Base-TX）

参考：USB、10Base-T、100Base-TX ケーブルを使用される場合は、シールド付のケーブルをご用意ください。

1 メインスイッチカバーを開けて、メインスイッチを OFF（〇）にしてください。

パラレルケーブルで接続するときは、接続するコンピュータの電源も切ってください。



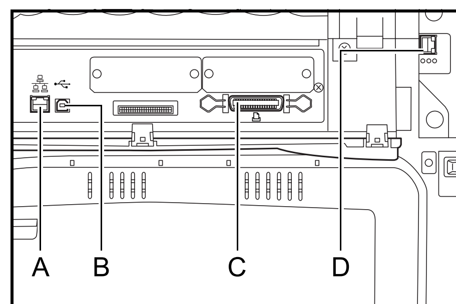
2 本体右側にあるインタフェースカバーを開け、各インタフェースにケーブルを接続してください。

A：ネットワークインタフェース（プリンタ用）

B：USB インタフェース（プリンタ用）

C：パラレルインタフェース（プリンタ用）

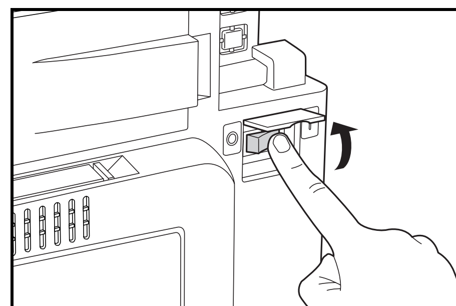
D：ネットワークインタフェース（スキャナ用）



3 ケーブルのもう一方を、コンピュータまたは HUB（集線装置）に接続してください。

4 メインスイッチカバーを開けて、メインスイッチを ON（｜）にしてください。

参考：ネットワークケーブルで接続するときは接続後、ネットワーク設定を行ってください。詳細は、2-23 ページの**ネットワーク**（TCP/IP）**設定**または 2-33 ページの**スキャナ基本設定**を参照してください。



プリンタの準備

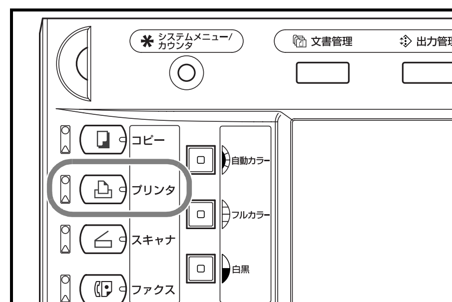
ネットワーク（TCP/IP）設定

本機をネットワークプリンタとしてご使用になる場合は、本機の IP アドレスを設定する必要があります。

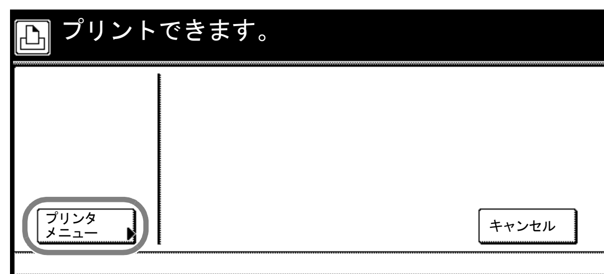
参考：設定する IP アドレスは、運用される環境によって異なります。あらかじめネットワーク管理者にご確認ください。

DHCP または BOOTP を使って IP アドレスの割り当てを行っている場合は、出荷時設定で DHCP または BOOTP が有効になっているため、この設定を行う必要はありません。

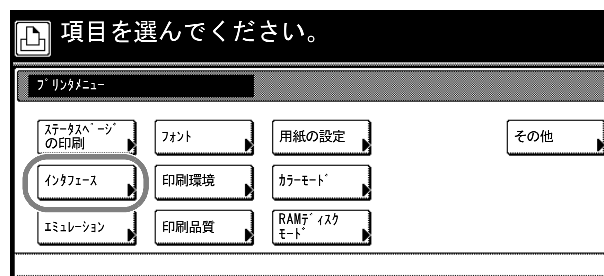
1 ［**プリンタ**］キーを押してください。



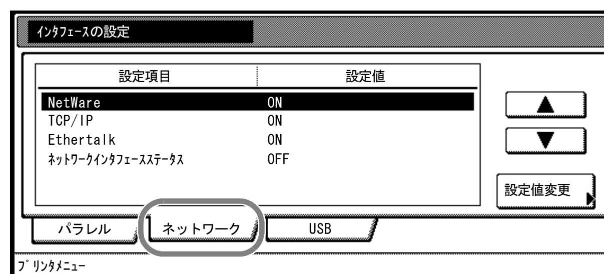
2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。



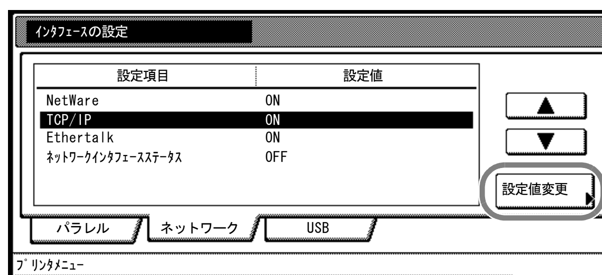
3 ［**インタフェース**］キーを押してください。



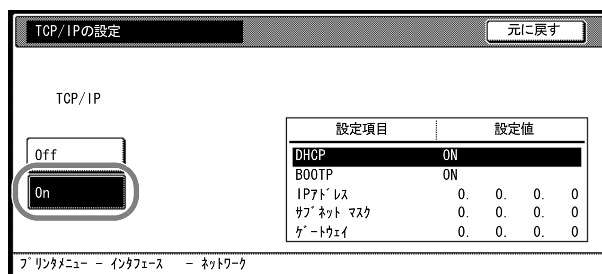
4 ［**ネットワーク**］キーを押してください。



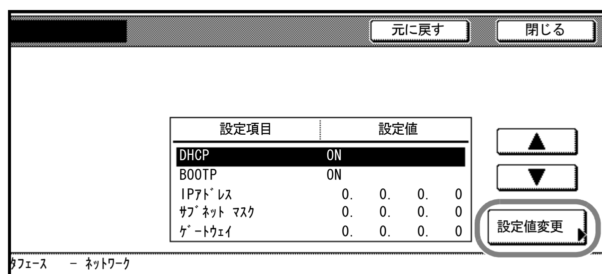
5 ［▲］または［▼］キーを押して、「TCP/IP」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。



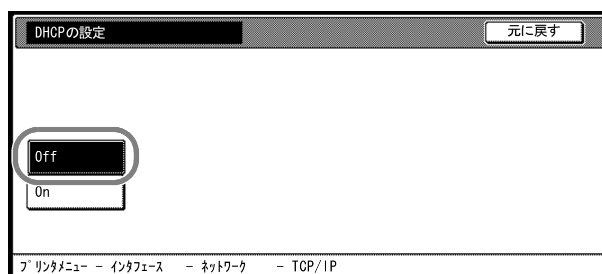
6 「TCP/IP」の下の［On］キーを押してください。



7 ［▲］または［▼］キーを押して、「DHCP」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

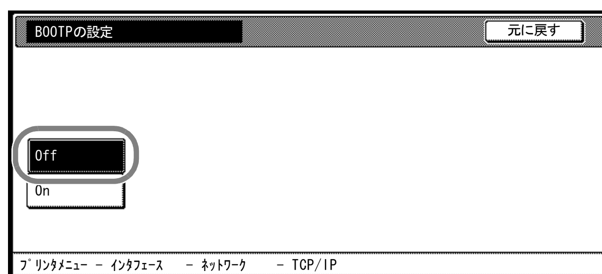


8 ［Off］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

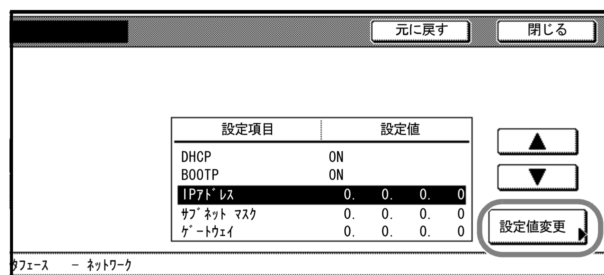


9 ［▲］または［▼］キーを押して、「BOOTP」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

10 ［Off］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

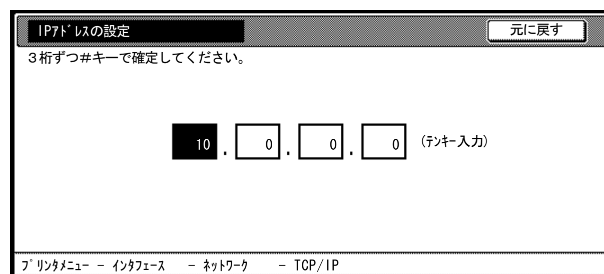


11 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**IP アドレス**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。



12 テンキーでアドレスを入力します。反転表示されている 3 桁のアドレスを入力し、［**#**］キーを押してください。

入力したアドレスは、3 桁ずつ［**#**］キーで確定してください。



13 次の 3 桁のアドレスを入力し、［**#**］キーを押してください。

入力したアドレスを修正したい場合は、［**#**］キーを押して修正したい 3 桁のアドレスを選択し、再度テンキーで入力してください。

14 同じ手順で残りのアドレスの入力が完了しましたら、［**閉じる**］キーを押してください。「**TCP/IP の設定**」画面に戻ります。

［**元に戻す**］キーを押すと、入力したアドレスが消去され入力する前のアドレスが設定されます。

15 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**サブネットマスク**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

16 手順 12 ～ 14 の IP アドレスの設定方法と同様にアドレスを設定してください。

17 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**ゲートウェイ**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

18 手順 12 ～ 14 の IP アドレスの設定方法と同様にアドレスを設定してください。

19 すべての設定が完了したら、［**閉じる**］キーを押してください。

20 ［**閉じる**］キーを押してください。

21 ［**閉じる**］キーを押してください。プリンタモードに戻ります。

付属プリンタユーティリティ

本製品には、以下のプリンタユーティリティが付属します。必要に応じてインストールしてください。詳細は、各ユーティリティに付属するマニュアルを参照してください。

- KM-NET for Clients
- KM-NET for Direct Printing
- IC-Link
- KM-NET VIEWER
- KM-NET VIEWER for Web Edition
- KPrint
- クイックセットアップ

プリンタドライバのインストール

本機を接続するコンピュータにプリンタドライバをインストールします。パラレルインタフェース、ネットワークインタフェースまたは USB インタフェースに接続する場合は、付属の Software Library CD-ROM を使用してインストールします。

次の手順では Windows XP でのインストールを例にしていますが、他の Windows OS でも同様の手順でインストールできます。

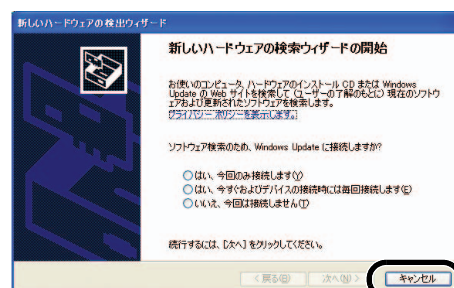
参考：Windows XP、Windows NT 4.0/2000 および Windows Server 2003 ではアドミニストレータ権限でのログオンが必要です。

プラグアンドプレイは、本体がスリープモード中は働きません。スリープモードから復帰させてください。（3-38 ページの**スリープモード**参照）

---

1 2-22 ページの**ケーブルの接続**を参照して、本機とコンピュータを正しく接続してください。接続後、メインスイッチを ON（｜）にし、コンピュータの電源を入れてください。

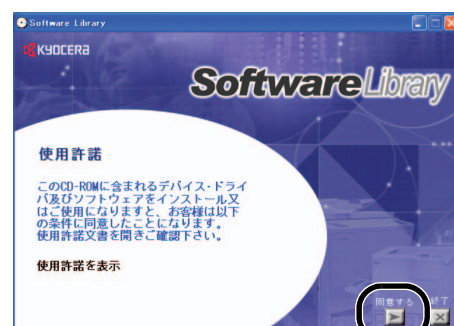
プラグアンドプレイで右のような画面が表示される場合は、**キャンセル**ボタンをクリックしてください。



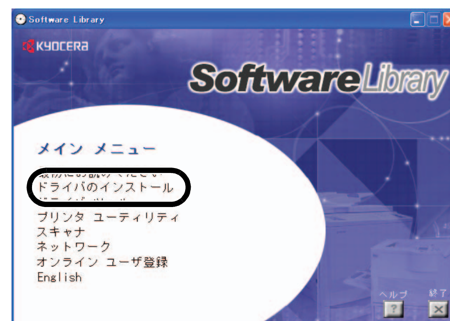
2 付属の Software Library CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。

使用許諾についての説明が表示されます。契約条件に同意する場合は、**同意する**ボタンをクリックしてください。**メインメニュー**画面が表示されます。

CD-ROM をセットしても画面が表示されない場合は、CD-ROM を開き、ウインドウにある setup.exe をダブルクリックしてください。



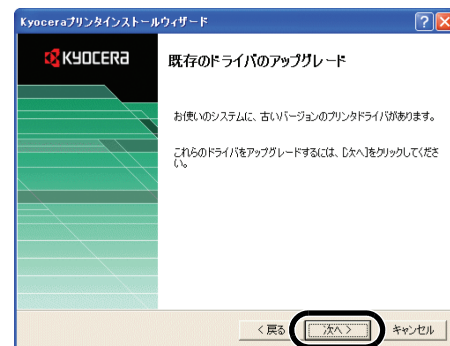
3　**ドライバのインストール**をクリックしてください。



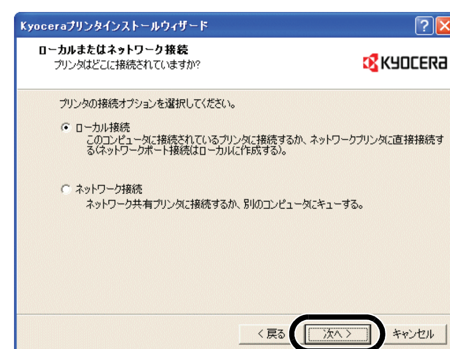
4　**次へ**ボタンをクリックしてください。



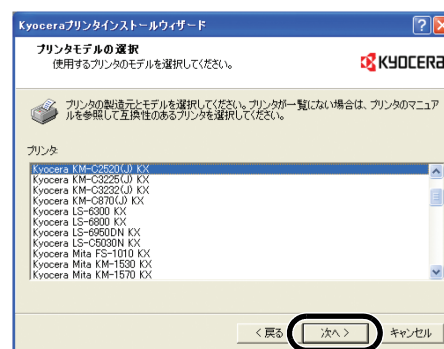
参考：コンピュータに古いドライバがインストールされている場合、インストールウィザードが自動的に古いドライバを検知し、既存のドライバのアップグレード画面が表示されます。**次へ**ボタンをクリックし、画面にしたがってドライバをアップグレードしてください。



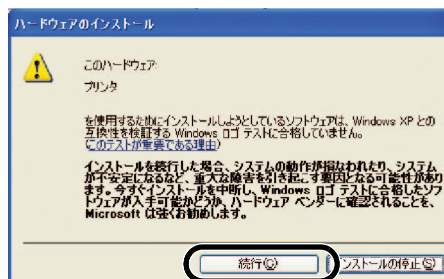
5　**ローカル接続**を選択して、**次へ**ボタンをクリックしてください。**ネットワーク接続**を選択する場合は、付属の CD-ROM に収録されている **IB-21E/IB-22 使用説明書**を参照してください。



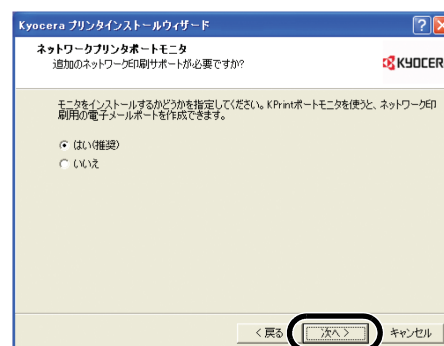
6 本機を選択して、**次へ**ボタンをクリックしてください。このとき、再びプラグアンドプレイが開始されることがあります。**プリンタを発見しました。**が表示された場合は、すべてキャンセルしてください。



ハードウェアのインストールの注意画面が表示された場合は、引き続いてインストールを続行しても問題ありませんので、**続行**ボタンをクリックしてください。



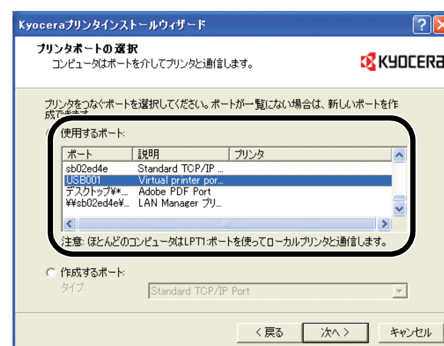
ネットワークプリンタポートモニタ画面が表示された場合は、**はい**を選択して、**次へ**ボタンをクリックしてください。



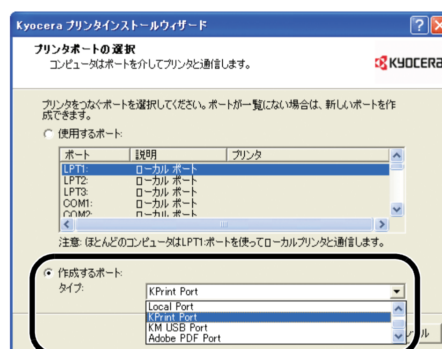
7 **プリンタポートの選択**画面が表示されます。パラレル接続、USB 接続の場合は次の手順へ、ネットワークポート接続の場合は手順 9 へ進んでください。

8 パラレル接続の場合は**使用するポート**から LPT1 を選択し、**次へ**ボタンをクリックして、手順 19 に進みます。

USB 接続の場合は使用するポートから、USB ポート（例 USB001、KMUSB001）を選択して**次へ**ボタンをクリックし、手順 19 に進みます。使用するポートに USB ポートがない場合は、手順 17 に進みます。

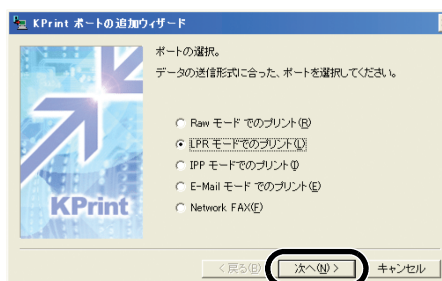


9 **作成するポート**をクリックしてください。**タイプ**には KPrint Port を表示させて、**次へ**ボタンをクリックしてください。

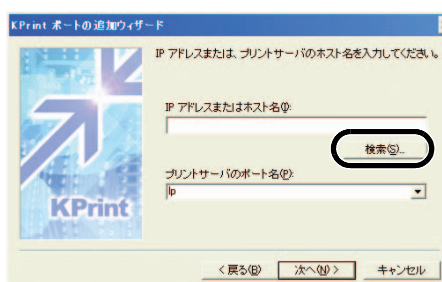


10 **LPR モードでのプリント**を選択して、**次へ**ボタンをクリックしてください。

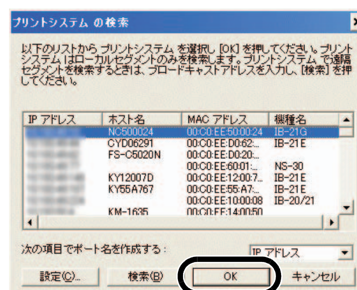
以前に Kprint をインストールしているコンピュータの場合は、手順が若干異なる場合があります。



11 **IP アドレスまたはホスト名**に本機の IP アドレスまたはホスト名を入力して、手順 14 に進みます。本機の IP アドレスまたはホスト名がわからない場合は**検索**をクリックして、次の手順に進みます。

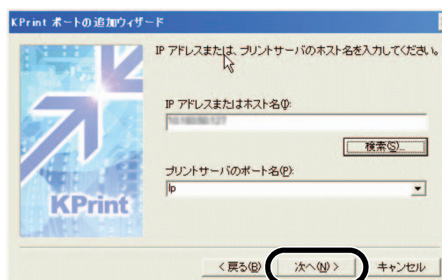


12 ネットワーク上にあるプリンタの一覧が表示されます。本機を選択して OK ボタンをクリックしてください。

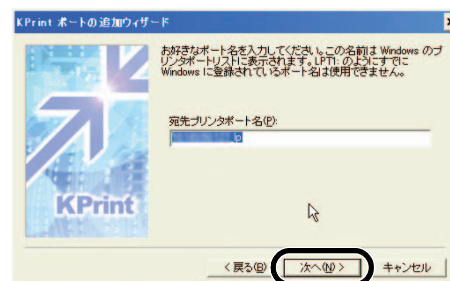


13 **IP アドレスまたはホスト名**に手順 12 で選択した IP アドレスまたはホスト名が表示されます。

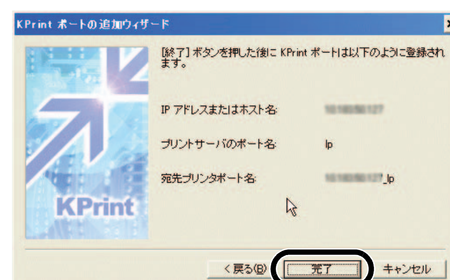
14 プリントサーバのポート名を確認して、**次へ**ボタンをクリックしてください。



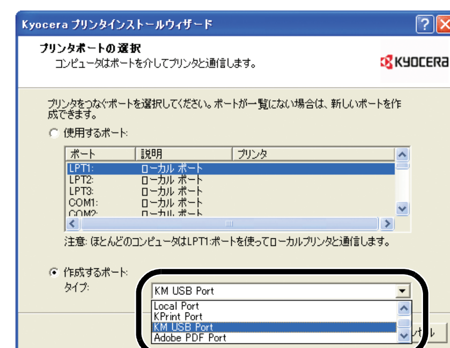
15 宛先プリンタポート名を入力して、**次へ**ボタンをクリックしてください。



16 内容を確認して、**完了**ボタンをクリックしてください。手順 19 に進みます。

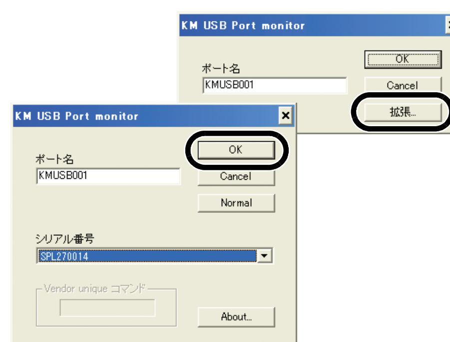


17 **作成するポート**をクリックしてください。**タイプ**には KM USB Port を表示させて、**次へ**ボタンをクリックしてください。



18 **ポート名**を確認してください。**拡張**ボタンをクリックすると**シリアル番号**が確認できますので、OK ボタンをクリックしてください。

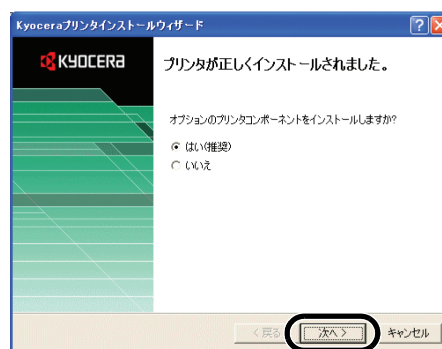
シリアル番号が空欄の場合は USB ポートの認識に失敗しています。インストールを中止し、メインスイッチを OFF（◯）にして、手順 1 からやり直してください。



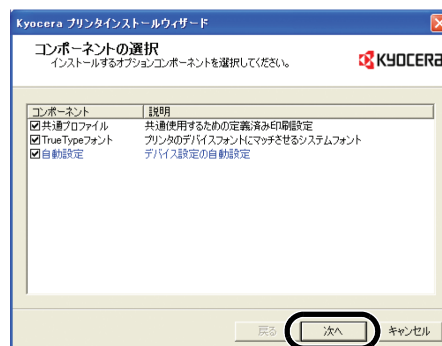
19 **プリンタ名**に本機のモデル名が表示されていることを確認して、**次へ**ボタンをクリックしてください。

あとは表示される画面の指示にしたがって、インストールを行ってください。

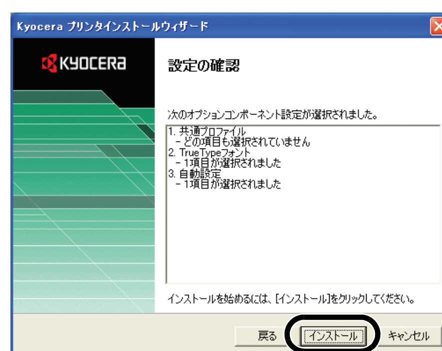
20 プリンタドライバのインストールが完了すると、オプションのプリンタコンポーネントのインストールに進みます。コンポーネントをインストールする場合は**はい**を選択し、**次へ**ボタンをクリックして、次の手順に進みます。インストールしない場合は**いいえ**を選択し、**次へ**ボタンをクリックして、手順 23 へ進みます。



21 画面の指示にしたがって、必要な項目を選択し、**次へ**ボタンをクリックしてください。

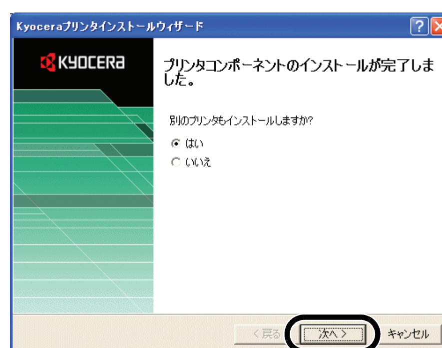


22 選択内容を確認して**インストール**ボタンをクリックしてください。プリンタコンポーネントがインストールされます。



23 インストールを終了する場合は、**いいえ**を選択して、**終了**ボタンをクリックしてください。引き続き別のプリンタドライバをインストールする場合は、**はい**を選択して、**次へ**ボタンをクリックしてください。

以上でプリンタドライバのインストールは終了です。OS によっては、コンピュータを再起動するよう表示されることがあります。その場合は、表示にしたがってコンピュータを再起動してください。



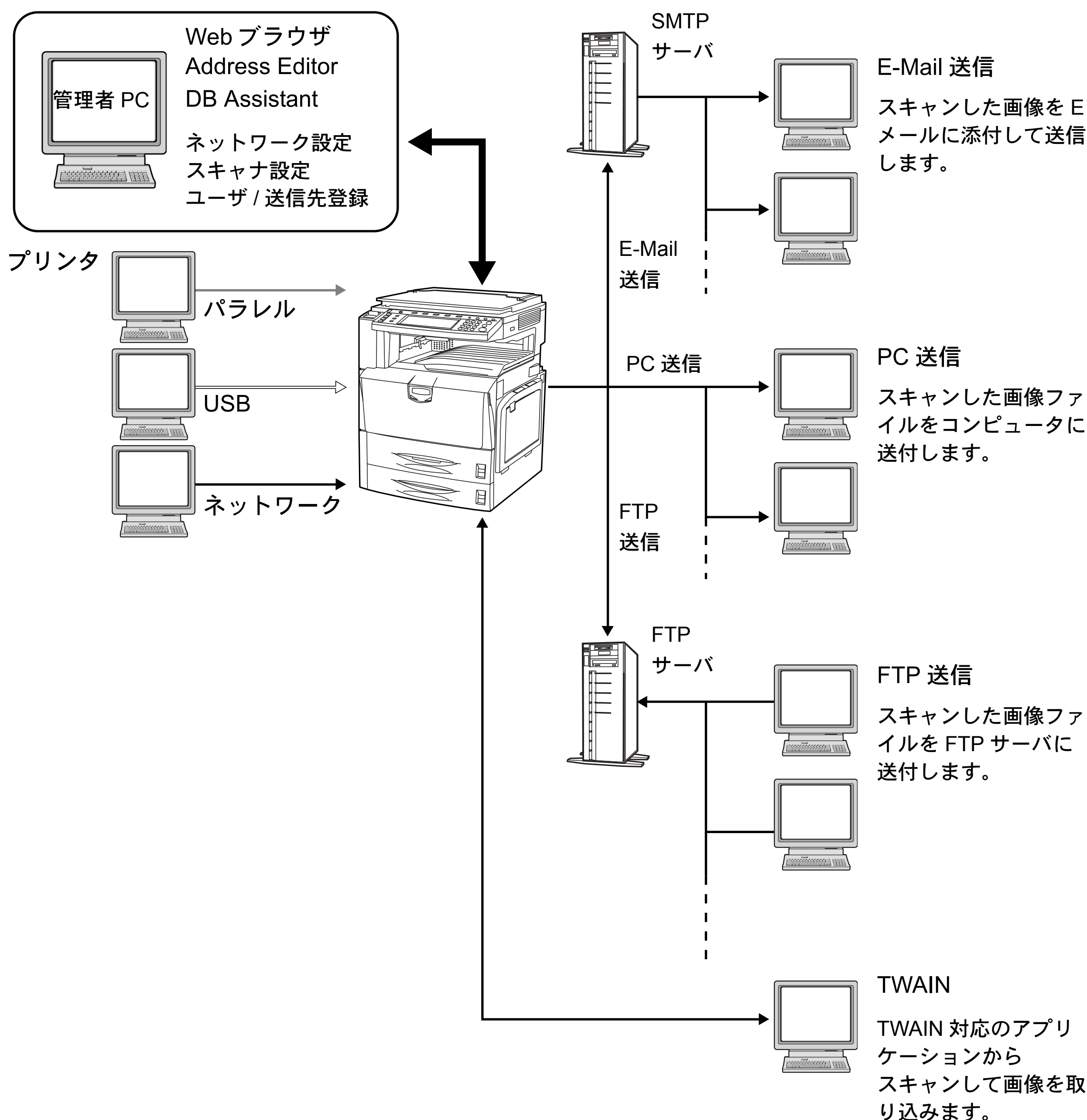
スキャナの準備

本機をスキャナとして使用するために必要な操作を説明します。

本機とコンピュータの接続

接続例

スキャナとコンピュータネットワークをネットワークケーブル（10Base-T または 100Base-TX）で接続します。2-22 ページの**ケーブルの接続**を参照してください。



スキャナ基本設定

スキャナ機能を使用する場合は、本機のネットワークの設定を行う必要があります。設定項目は次のとおりです。

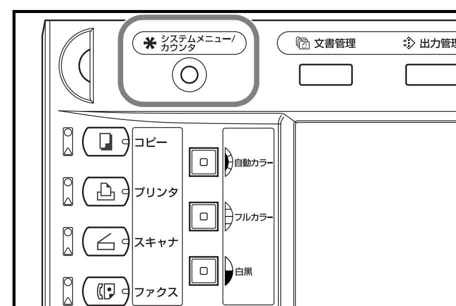
設定項目	説明
ホスト名	スキャナのホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
IP アドレス	スキャナインタフェースの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力してください。
サブネットマスク	スキャナインタフェースのサブネットマスクを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力してください。
デフォルトゲートウェイ	スキャナインタフェースのデフォルトゲートウェイを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力してください。
DHCP/BOOTP	DHCP と BOOTP を［**有効**］と、［**無効**］のどちらにするかの設定をします。初期値は［**有効**］に設定されています。
RARP	RARP を［**有効**］と、［**無効**］のどちらにするかの設定をします。初期値は［**有効**］に設定されています。
DNS サーバ（プライマリ）	DNS サーバが設置された環境で、ホスト名を使ってデータ送信を行う場合には、この欄にプライマリの DNS サーバの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力してください。
DNS サーバ（セカンダリ）	セカンダリの DNS サーバの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力してください。
DNS ドメイン名	ドメイン名を、64 文字以内（半角英数字）で入力してください。
WINS サーバ（プライマリ）	コンピュータ名から IP アドレスの解決に WINS（Windows Internet Name Service）を使用する場合には、プライマリの WINS サーバの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」形式で入力してください。
WINS サーバ（セカンダリ）	この欄にセカンダリの WINS サーバの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」形式で入力してください。
メールサーバ（SMTP）	この欄に SMTP サーバの IP アドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」形式で入力するか、ホスト名を入力してください。
DB Assistant	DB Assistant をインストールしているコンピュータの IP アドレス、またはホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
管理者メールアドレス	管理者の E-Mail アドレスを入力してください。スキャナ状態の Log ファイル、エラーレポート等をこのアドレス先に E-Mail として送信されます。

注意：**メールサーバ（SMTP）**と**管理者メールアドレス**を正しく設定していないと、E-Mail が使えません。

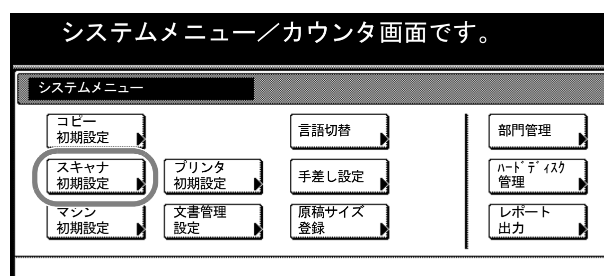
参考：設定する IP アドレスは、運用される環境によって異なります。あらかじめ管理者にご確認ください。

スキャナ基本設定は、Web ブラウザを使ってコンピュータから設定することもできます。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2 ［**スキャナ初期設定**］キーを押してください。



3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

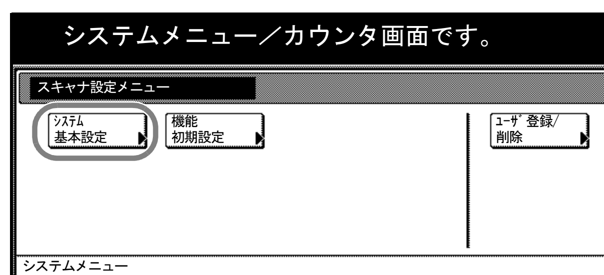
暗証番号が合致すれば、「**スキャナ設定メニュー**」画面が表示されます。

参考：オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

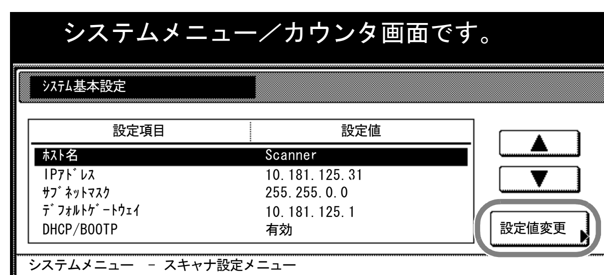
---

4 ［**システム基本設定**］キーを押してください。

参考：「**スキャナが使用できません**」が表示される場合は「**システムメニュー**」画面に戻り、しばらく（約 2 分間）待ってから再度、［**システム基本設定**］キーを押してください。



5 ［▲］または［▼］キーを押して、「**ホスト名**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。



6 ホスト名を入力し、［**入力終了**］キーを押してください。ホスト名が登録され、「**システム基本設定**」画面になります。

7 別の設定項目を設定する場合は、5 ～ 6 の手順を参考に設定を行ってください。

8 設定が完了したら、［**閉じる**］キーを押してください。**「スキャナ設定メニュー」**画面に戻ります。

ユーザ登録

ユーザの登録を行ってください。登録項目は次のとおりです。

設定項目	説明
E-Mail アドレス	E-Mail 送信の場合、メールを受けとった人が返信を行うと、このアドレスに返信されます。また、送信エラー発生時、このアドレスにメールで通知されます。
IP アドレスまたはホスト名	PC 送信で宛先選択の際、**「ユーザ PC に保存」**を選択すると、このアドレスのコンピュータに画像イメージが送信されます。
表示名（登録名）	ユーザ選択時に表示されるユーザ名です。必ず入力してください。
フリガナ（半角）	登録名称のフリガナを入力します。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
ユーザパスワード	ユーザ選択時に入力するパスワードを 8 桁以内（数字のみ）で入力してください。（登録なしでも可能）
保存フォルダ番号	**「ユーザ PC に保存」**を選択したときに、保存先として設定されるフォルダの番号です。Scanner File Utility でこの番号に対応するフォルダを設定してください。番号は 3 桁（001 ～ 100）で入力してください。 保存先フォルダ番号はここでは 1 つしか登録できません。

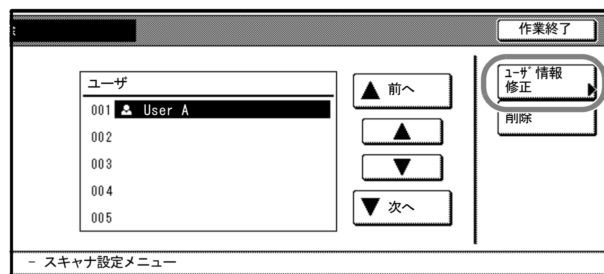
1 2-33 ページの**スキャナ基本設定**の手順 1 ～ 3 まで行ってください。

2 ［**ユーザ登録 / 削除**］キーを押してください。



3 ［▲］または［▼］キーを押して、登録するユーザ番号を選択し、［**ユーザ情報修正**］キーを押してください。

すでに入力されたユーザ登録の修正を行う場合は［▲］または［▼］キーを押して、修正をしたいユーザ名を選択し、［**ユーザ情報修正**］キーを押してください。



ユーザパスワードを設定している場合はパスワードを入力してください。

参考：ユーザ登録を削除する場合は［▲］または［▼］キーを押して、削除したいユーザ名を選択し、［**削除**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、設定する項目を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

以下、画面にしたがって入力してください。

ユーザ情報修正
登録リスト:ユーザリスト
設定項目 設定値
E-Mailアドレス （設定しない）
IPアドレスまたはホスト名 （設定しない）
表示名（登録名） （設定しない）
フリガナ（半角） （設定しない）
ユーザパスワード （設定しない）
▲
▼
設定値変更
情報
ユーザ番号 ： 2

共通アドレス帳編集

共通アドレス帳に宛先を登録してください。

E-Mail 共通アドレス帳－ E-Mail に添付して送信する時、使用するアドレス帳

PC 送信共通アドレス帳－直接相手先コンピュータに送信する時、使用するアドレス帳

FTP 共通アドレス帳－ FTP サーバに送信する時、使用するアドレス帳

参考：アドレスの新規登録もできます。

共通アドレス帳の登録は、Web ブラウザからも登録が可能です。

Address Editor で E-Mail 共通アドレス帳と PC 送信共通アドレスの登録が可能です。

「E-Mail 共通アドレス帳」、「PC 送信共通アドレス帳」の登録項目は次のとおりです。

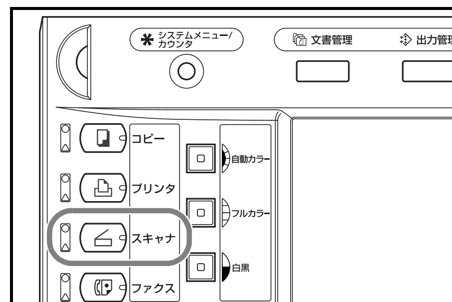
設定項目	説明
E-Mail アドレス	E-Mail 送信の場合、このアドレスに画像イメージを添付して、メールを送ります。
IP アドレスまたはホスト名	PC 送信の場合、このアドレスのコンピュータに画像イメージが送信されます。
表示名（登録名）	アドレス帳に表示される宛先名（登録名）を設定します。
フリガナ（半角）	宛先名（登録名）のフリガナを設定します。
保存フォルダ番号	PC 送信の場合、宛先として設定されるフォルダ番号です。宛先のコンピュータの Scanner File Utility で、この番号に対応するフォルダを設定してください。
構成員追加	グループ登録する場合、共通アドレス帳からグループ登録する宛先を追加します。

「FTP 共通アドレス帳」の登録項目は次のとおりです。

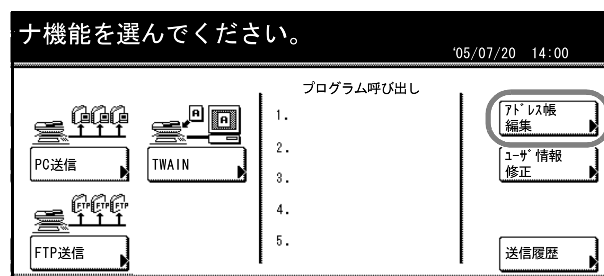
設定項目	説明
IP アドレスまたはホスト名	このアドレスの FTP サーバに画像イメージが送信されます。
表示名（登録名）	アドレス帳に表示される宛先名（登録名）を設定します。
フリガナ（半角）	宛先名（登録名）のフリガナを設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力してください。（通常は 21）
パス	アップロードしたいフォルダのパスを入力してください。例えば、ホームディレクトリ内の ScanData フォルダに保存する場合であれば、ScanData と入力してください。何も入力しない場合は、ホームディレクトリに保存されます。

設定項目	説明
ユーザ名とパスワード	FTP サーバにログインするためのユーザ名とパスワードを入力してください。この設定は、**認証情報入力の省略**を［**する**］に設定しているときに表示します。
認証情報入力の省略	［**する**］を選択すると送信時にユーザ名とパスワードの入力を省略することができます。［**する**］を設定する場合は、**ユーザ名とパスワード**を登録してください。

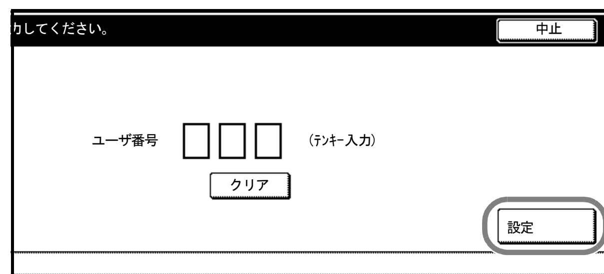
1 ［**スキャナ**］キーを押してください。



2 ［**アドレス帳編集**］キーを押してください。



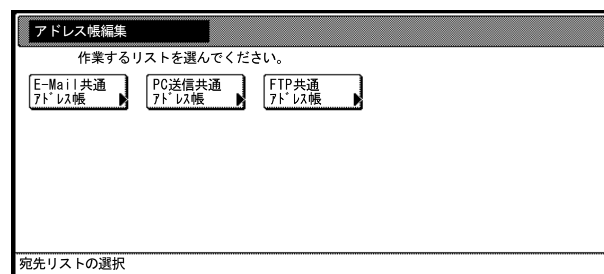
3 送信元（ユーザ）のユーザ番号を入力し、［**設定**］キーを押してください。



参考：ユーザ番号は、ユーザ登録の手順で登録した時のユーザ番号を入力してください。たとえば、2-35 ページ手順 3 の画面上で見ると、「**User A**」のユーザ番号は、「001」になります。

ユーザ登録時にパスワードを設定していれば、パスワード入力が必要となります。

4 編集する共通アドレス帳を選択してください。



5 宛先登録する場合は、［**新規宛先登録**］キーを押して、手順 6 に進みます。

グループ登録する場合は、［**新規グループ登録**］キーを押して、手順 7 に進みます。

すでに入力された宛先の修正を行う場合やグループに宛先を追加する場合は、［▲］または［▼］キーを押して、修正したい宛先を選択し、［**宛先情報修正**］キーを押して修正してください。

宛先を削除する場合は、［▲］または［▼］キーを押して、削除したい宛先を選択し、［**削除**］キーを押してください。

6 （宛先登録）

［▲］または［▼］キーで設定する項目を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。設定値変更画面が表示されます。画面にしたがって入力してください。最後に［**登録終了**］キーを押すと、宛先が登録されます。

7 （グループ登録）

［**情報**］キーを押し、［▲］または［▼］キーを押して、設定する項目を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。設定値変更画面が表示されます。画面にしたがって入力してください。

［**構成員**］キーを押し、［**構成員追加**］キーを押してください。構成員追加画面が表示されます。［▲］または［▼］キーを押して、追加したい構成員を選択し、［**追加**］キーを押してください。

最後に［**登録終了**］キーを押すと、グループが登録されます。

参考：宛先登録を行ってからグループ登録を行ってください。宛先登録を行っていないと、構成員のリストが表示されません。

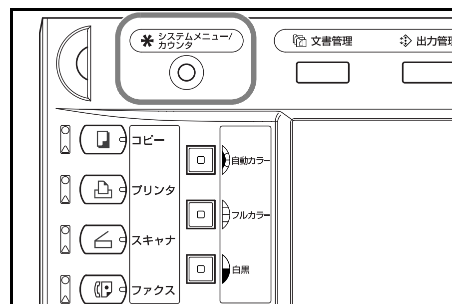
FTP 送信では、グループ登録できません。

日付 / 時刻、時差の設定

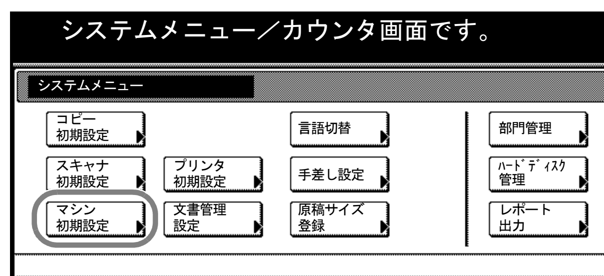
E-Mail 送信機能で必要な地域情報を設定します。

スキャナから E-Mail 送信が行なわれた時刻が送信時刻として E-Mail のヘッダに記録されます。ご使用の地域での日付、現在の時刻と、GMT（世界標準時）からの時差を次の手順にしたがって設定してください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。



2 ［**マシン初期設定**］キーを押してください。



3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「マシン初期設定」**画面が表示されます。

参考：オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

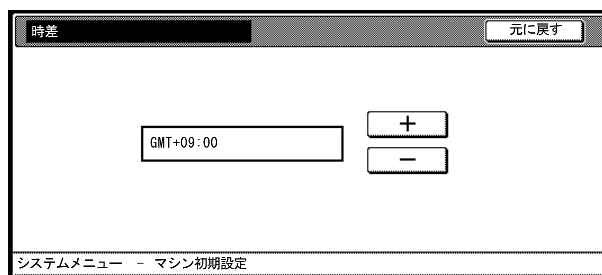
---

4 ［▲］または［▼］キーを押して、**「時差」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。



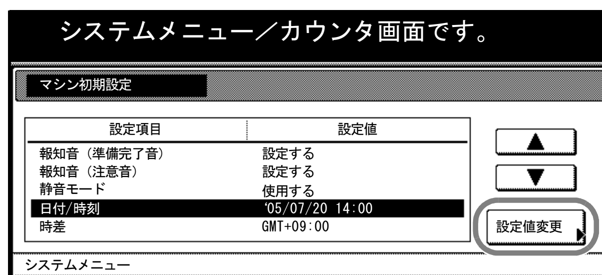
5 ［+］または［−］キーを押して、時差を設定してください。

【例】時差：日本（東京、大阪、札幌）GMT+9:00

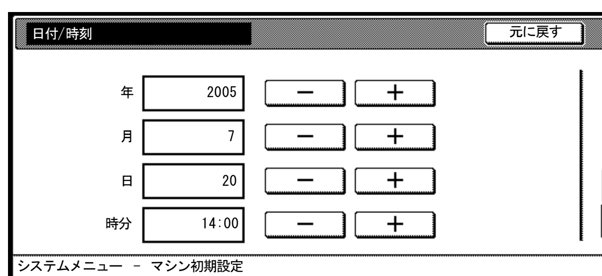


6 **［閉じる］**キーを押してください。設定が確定します。

7 ［▲］または［▼］キーを押して、**「日付 / 時刻」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。



8 ［+］または［−］キーを押して、日付 / 時刻を設定してください。



参考：時差を設定してから日付 / 時刻を設定してください。

サマータイムと日付 / 時刻を同時に変更すると、サマータイムの設定は無効になります。

9 **［閉じる］**キーを押してください。設定が確定します。

スキャナ用ユーティリティのインストール

本スキャナシステムには次のようなユーティリティが CD-ROM に納められています。

- Scanner File Utility
- アドレス帳 for Scanner
- Address Editor（管理者用ツール）
- DB Assistant（管理者用ツール）
- TWAIN Source

次の手順では Windows XP でのインストールを例にしていますが、他の Windows OS でも同様の手順でインストールできます。

1 Windows を起動させてください。

他に起動中のアプリケーションがあれば、それらをすべて終了させてください。

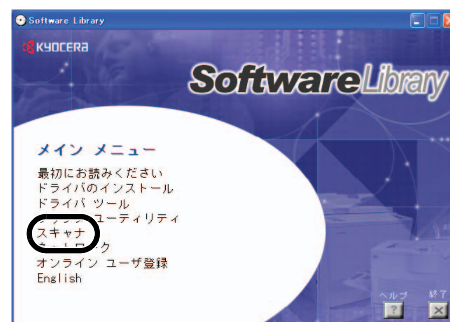
2 付属の Software Library CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。

使用許諾についての説明が表示されます。契約条件に同意する場合は、**同意する**ボタンをクリックしてください。**メインメニュー**画面が表示されます。

CD-ROM をセットしても画面が表示されない場合は、CD-ROM を開き、ウインドウにある setup.exe をダブルクリックしてください。



3 画面上の**スキャナ**をクリックしてください。



4 インストールを行うユーティリティの名称をクリックしてください。

各ユーティリティのインストール画面に変わります。画面の表示にしたがってインストールを行ってください。

Scanner File Utility を使用するには

Scanner File Utility を使って PC 送信を行うために必要なソフトのインストールと設定方法について説明します。

Scanner File Utility のインストール

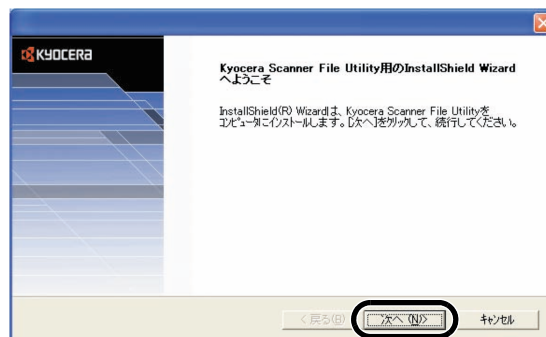
Scanner File Utility のインストールについて説明します。

1 2-40 ページの**スキャナ用ユーティリティのインストール**の手順 1 ～ 3 を参照して、**スキャナ**画面を表示させてください。

2 Scanner File Utility をクリックしてください。



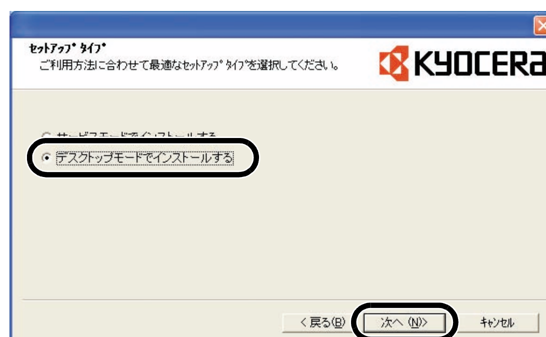
3　**次へ**ボタンをクリックしてください。



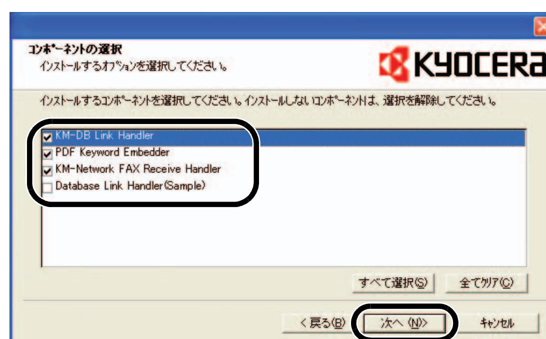
4　インストール先のフォルダを確認して、**次へ**ボタンをクリックしてください。



5　**デスクトップモードでインストールする**を選択し、**次へ**ボタンをクリックしてください。



6　インストールするコンポーネントを選択し、**次へ**ボタンをクリックしてください。



7　**次へ**ボタンをクリックしてください。

8　**完了**ボタンをクリックしてください。



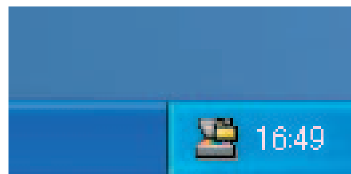
ファイル保存先フォルダの登録

スキャンしたデータを保存するためのフォルダを Scanner File Utility に登録します。

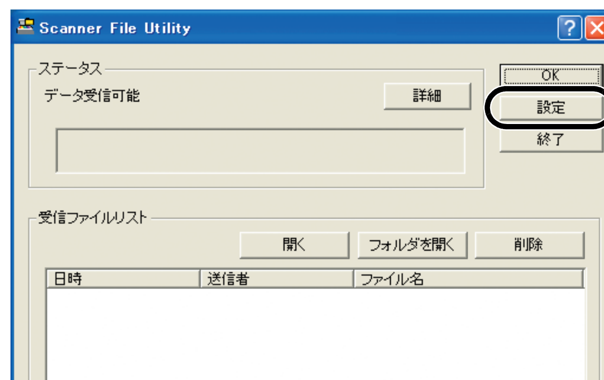
参考：次の説明は、Scanner File Utility をデスクトップモードでインストールした場合の手順です。

1　**スタート**メニューから**すべてのプログラム**→ Scanner User Software → Scanner File Utility をクリックし、Scanner File Utility を起動させてください。

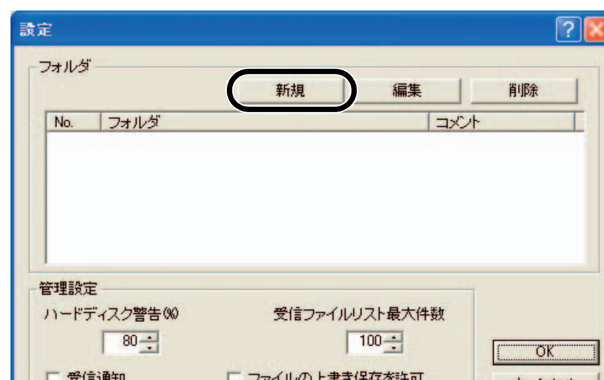
2　タスクバーに表示されている Scanner File Utility のアイコンをダブルクリックして、スタートダイアログボックスを表示させてください。



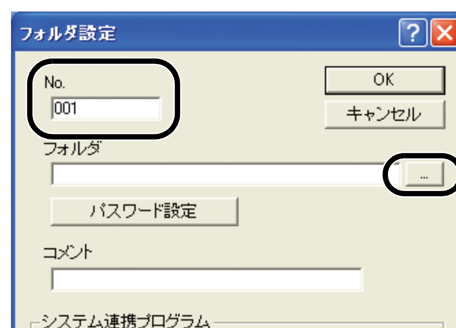
3　**設定**ボタンをクリックしてください。



4　**新規**ボタンをクリックしてください。



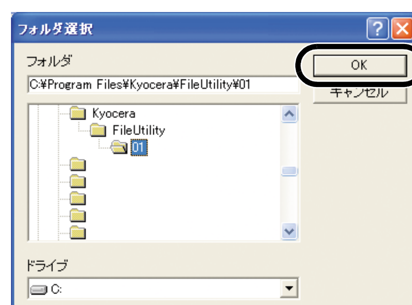
5 No. 欄に保存先フォルダ番号を入力して、... ボタンをクリックしてください。



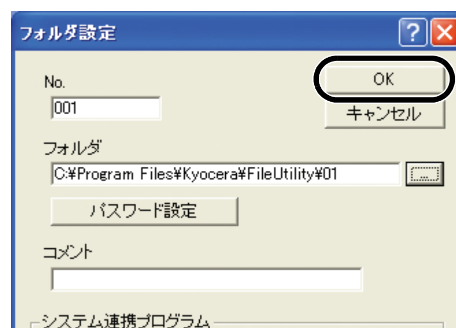
参考：No. 欄の保存先フォルダ番号には、任意の数字（1-100）を入力してください。

No. 欄の保存先フォルダ番号（画面では「001」）を、2-45 ページの **Web ブラウザからの設定**の手順 5 で**保存先番号**に入力します。

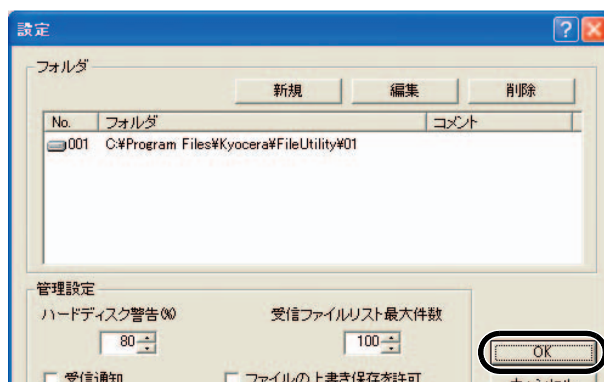
6 任意のフォルダを選択して OK ボタンをクリックしてください。



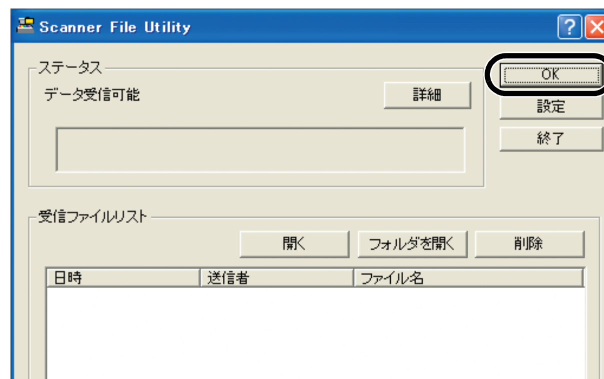
7 OK ボタンをクリックしてください。



8 保存するフォルダが登録されます。OK ボタンをクリックしてください。



9 OK ボタンをクリックしてください。



Web ブラウザからの設定

Web ブラウザで本体にユーザ登録します。

参考：この設定を行う前に、本体のネットワーク設定が完了している必要があります。管理者に確認してください。

スキャン中は設定できません。設定を行う前にスキャナ機能が使用されていないか確認してください。

1 Internet Explorer などの Web ブラウザを起動させてください。

2 Web ブラウザのアドレス欄に本体の IP アドレスを入力し、キーボードの Enter キーを押してください。



参考：本体の IP アドレスは管理者に確認してください。

スキャナ機能で設定する IP アドレスとプリンタ機能で設定する IP アドレスは異なりますのでご注意ください。

3 **送信元リスト**をクリックしてください。



4 送信元（ユーザ）リストの登録する番号をクリックしてください。

5 **フリガナ**、**登録名称**、**個人アドレス帳 PC アドレス**、**保存先番号**を入力してください。

参考：**個人アドレス帳 PC アドレス**には Scanner File Utility をインストールしたコンピュータのアドレスを入力してください。

保存先番号には、2-43 ページの**ファイル保存先フォルダの登録**の手順 5 で No. 欄に入力した保存先フォルダ番号（画面では「001」）を入力してください。

---

6 **登録**ボタンをクリックしてください。

参考：**登録**ボタンを必ずクリックしてください。**登録**ボタンを押さずに画面を切り替えたり、閉じたりすると設定は更新されません。

以上の設定を完了すると、PC 送信でユーザ PC（送信元リストで登録したコンピュータ）にスキャンした画像を送信することができます。

ユーザ PC 以外に送信する場合は、Web ブラウザ、Address Editor またはアドレス帳 for Scanner で送信先を登録してください。

3　基本的な操作

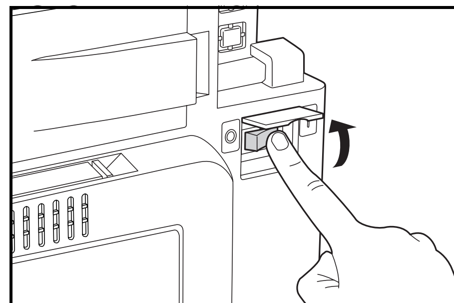
この章では次の操作について説明します。

基本的なコピーのしかた

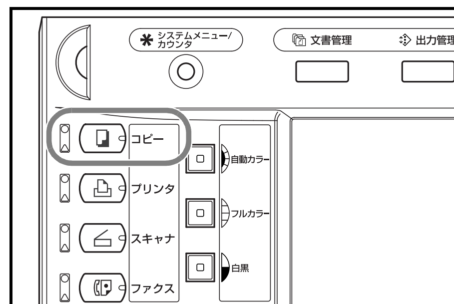
基本的なコピーのしかたについて説明します。

1 メインスイッチカバーを開けて、メインスイッチを ON（ | ）にしてください。

ウォームアップが完了すると、［**スタート**］キーの**スタート**表示が緑色に点灯します。

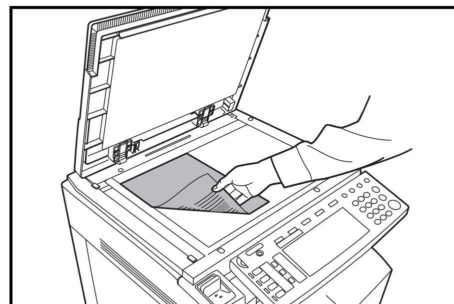


2 ［**コピー**］キーを押してください。

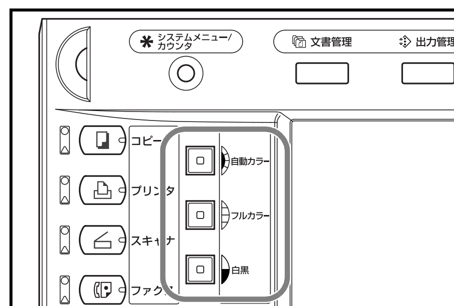


3 原稿をセットしてください。

参考：原稿をセットする方法は、2-18 ページの**原稿のセット**を参照してください。

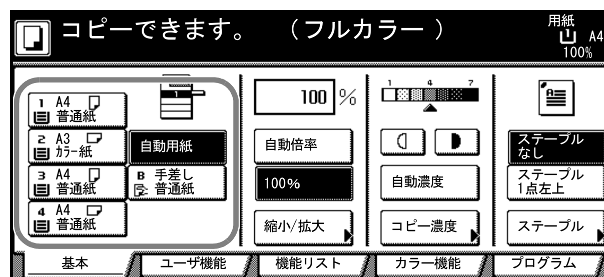


4 ［**自動カラー**］、［**フルカラー**］または［**白黒**］キーを押して、カラーモードを選択してください。

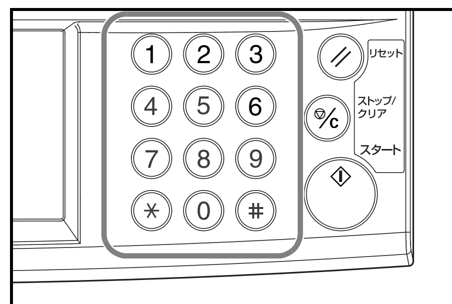


カラーモード	説明
自動カラーモード	カラー原稿、白黒原稿を自動的に判別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿は白黒でコピーします。
フルカラーモード	フルカラーでコピーします。
白黒モード	白黒でコピーします。

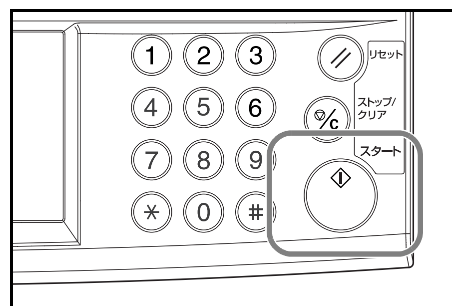
5 ［**自動用紙**］が選択されていることを確認してください。原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。用紙サイズを変更する場合は、用紙サイズを押して給紙元を選択してください。



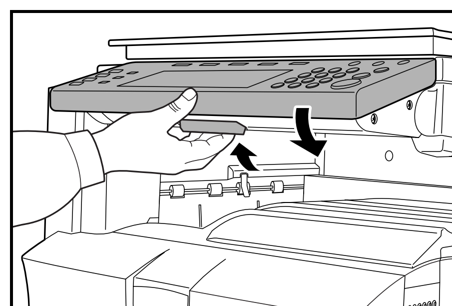
6 テンキーでコピー枚数を設定してください。999 枚までセットできます。



7 ［**スタート**］キーを押してください。

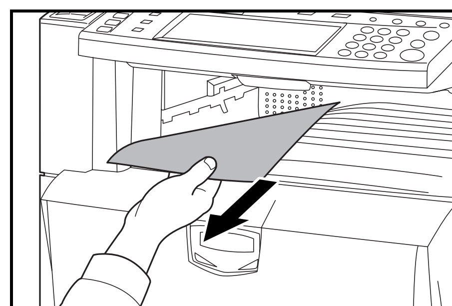


参考：操作パネル下レバーを引くと、操作パネルの角度を変更できます。



8 仕上がったコピーを排紙トレイから取り出してください。

排紙トレイの収納枚数は普通紙（80 g/m²）で 250 枚までです。ただし、使用用紙の状態により収納枚数は変わります。



メインスイッチを切る場合



操作パネル上の［電源］キーを押して、［電源］表示が消灯したことを確認してから、メインスイッチを切ってください。［電源］キーを切らずにメインスイッチを切った場合、本製品搭載のハードディスクが破損する可能性があります。

オプションのファクスキットを装着している場合、メインスイッチが OFF（○）のときは FAX 送信 / 受信を行いません。電源を OFF にする場合は、操作パネル上の［電源］キーを押してください。

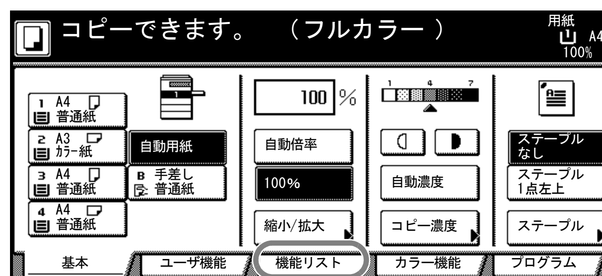
画質の選択

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。

画質	説明
文字 + 写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
印画紙写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
印刷写真	雑誌など印刷された写真原稿に適しています。
文字	書類など文字が多い原稿に適しています。
地図	地図原稿に適しています。

1 原稿をセットしてください。

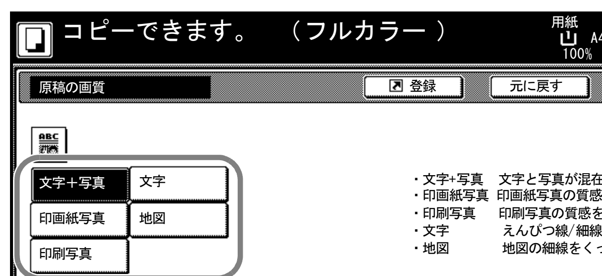
2 ［機能リスト］キーを押してください。



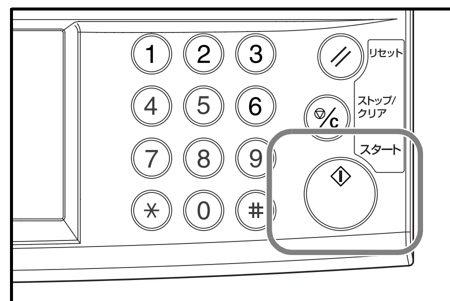
3 ［原稿の画質］キーを押してください。



4 画質を選択してください。



5 ［スタート］キーを押してください。コピーが開始されます。

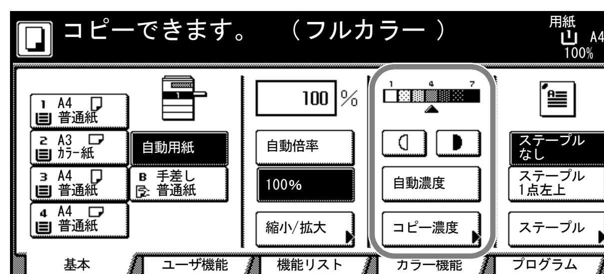


濃度調整

濃度調整は自動または手動で行うことができます。工場出荷時は手動濃度モードに設定されています。手動濃度モードの場合は次のように設定します。

1 原稿をセットしてください。

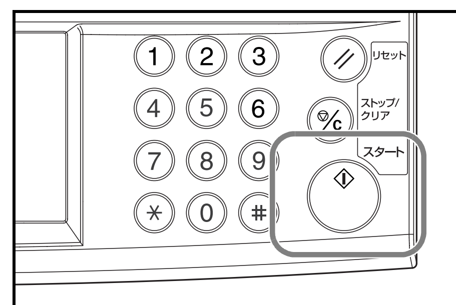
2 濃度調整キー（◐/◑）を押してください。



自動濃度モードを使用する場合は **［自動濃度］** キーを押してください。原稿の濃度を検知して、最適なコピー濃度をセットします。自動濃度モードから手動濃度モードに戻す場合は、濃度調整キー（◐/◑）を押してください。

参考：自動濃度モードは白黒コピー時のみ使用できます。また、自動カラーモード時にフルカラーと判別された場合は、手動濃度モードでコピーされます。

3 **［スタート］** キーを押してください。コピーが開始されます。



参考：**［コピー濃度］** キーを押すと、**「コピー濃度」** 画面が表示されます。この画面でも上記と同様な濃度調整ができます。

縮小 / 拡大コピー

倍率を変更して、縮小 / 拡大コピーします。

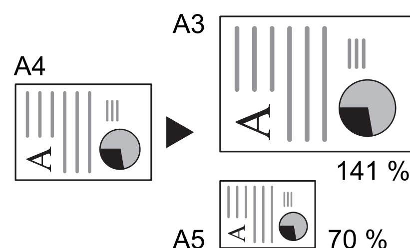
縮小 / 拡大コピーには次のモードがあります。

- **自動倍率**－原稿を、選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大コピーできます。
- **ズームコピー**－ 25 ～ 400 % の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。
- **固定変倍**－あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小 / 拡大コピーができます。
- **たてよこ独立変倍**－たて、よこ別々に倍率を変更することができます。倍率は 25 ～ 400 % の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。

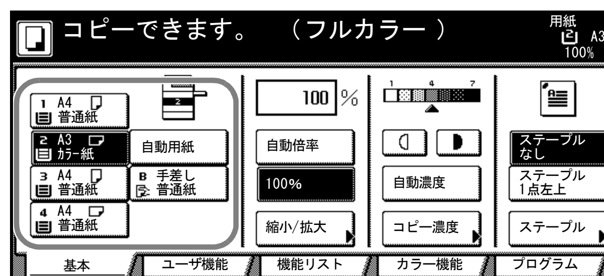
自動倍率

原稿を、選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大コピーします。

自動倍率の操作手順は次のとおりです。

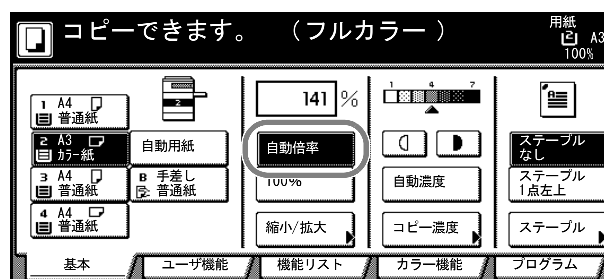


1 原稿をセットし、用紙サイズを押してください。

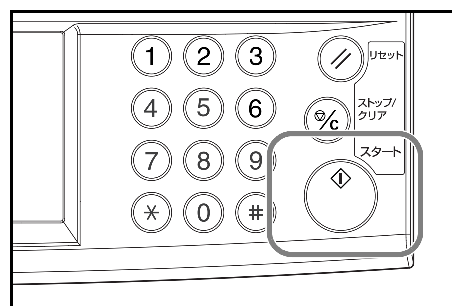


2 ［**自動倍率**］キーを押してください。

コピー倍率が表示されます。

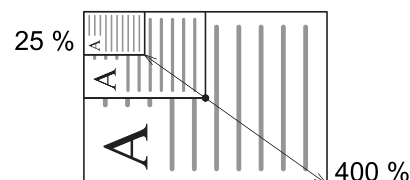


3 ［**スタート**］キーを押してください。自動的に用紙サイズに縮小または拡大されてコピーします。



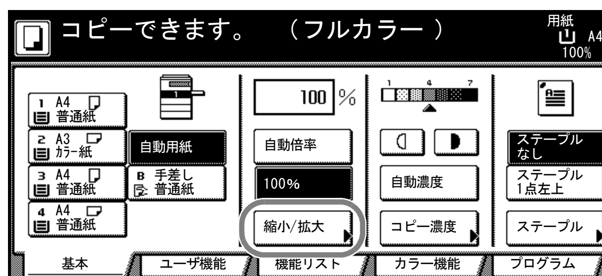
ズームコピー

25 ～ 400 % の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。



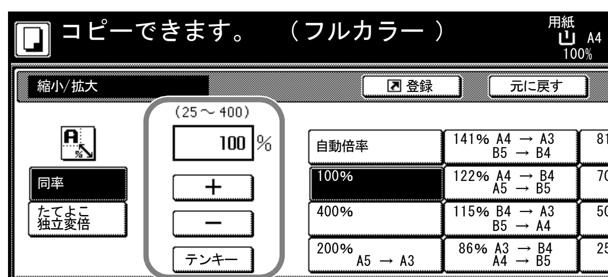
ズームコピーの操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットし、［**縮小 / 拡大**］キーを押してください。

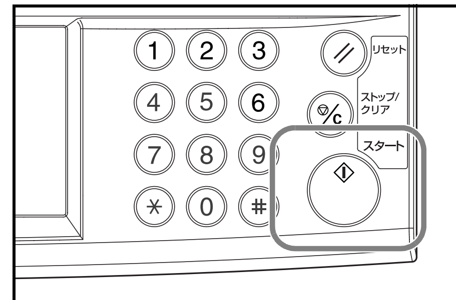


2 ［+］または［−］キーで、表示されている倍率を変更してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。



3 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。



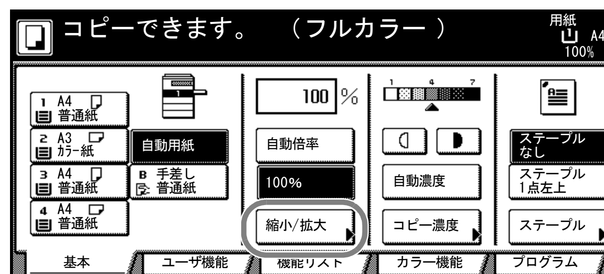
固定変倍

あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小 / 拡大コピーします。

200 %（A5 → A3）
141 %（A4 → A3、B5 → B4）
122 %（A4 → B4、A5 → B5）
115 %（B4 → A3、B5 → A4）
86 %（A3 → B4、A4 → B5）
81 %（B4 → A4、B5 → A5）
70 %（A3 → A4、B4 → B5）

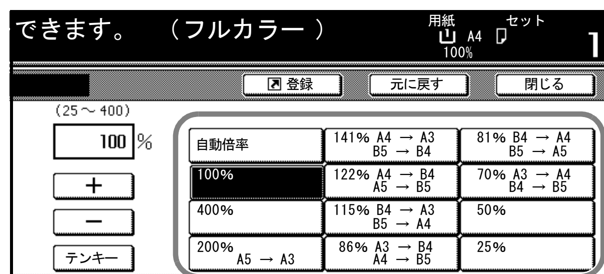
固定変倍の操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットし、**［縮小 / 拡大］**キーを押してください。

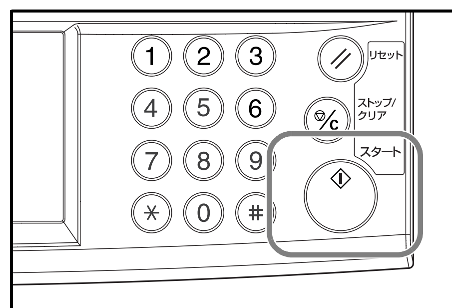


2 倍率を選択してください。

参考：選択した倍率から［+］または［−］キーを押して、1 %刻みで倍率を変更することができます。



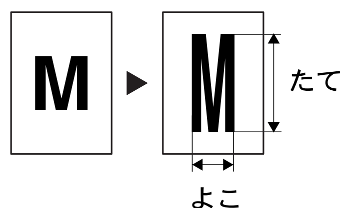
3 **［スタート］**キーを押してください。コピーが開始されます。



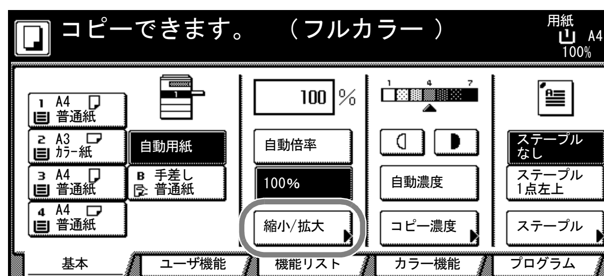
たてよこ独立変倍

たて、よこ別々に倍率を変更することができます。倍率は 25 〜 400 % の範囲で、1 % 刻みで倍率を変えることができます。

たてよこ独立変倍の操作手順は次のとおりです。



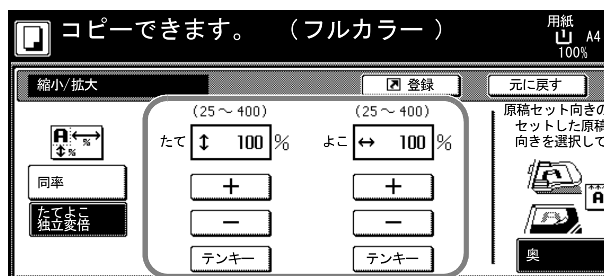
1 原稿をセットし、［**縮小 / 拡大**］キーを押してください。



2 ［**たてよこ独立変倍**］キーを押してください。

3 ［+］または［−］キーで、表示されている「**たて**」と「**よこ**」の倍率を変更してください。

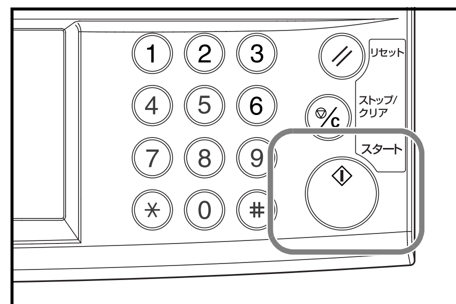
［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。



4 「**原稿セット向きの設定**」から［**奥**］または［**左**］を選択してください。

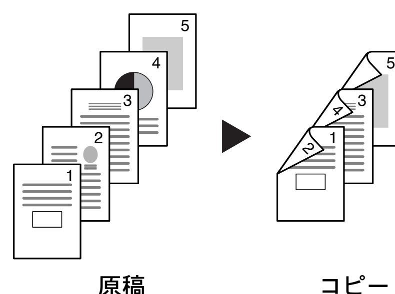


5 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。



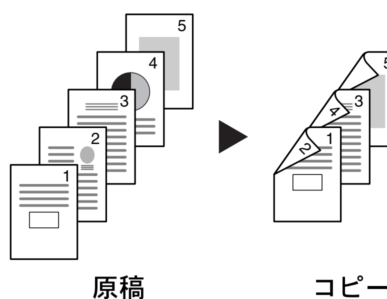
両面コピー

用紙の両面にコピーします。見開き原稿や両面原稿からも両面コピーができます。



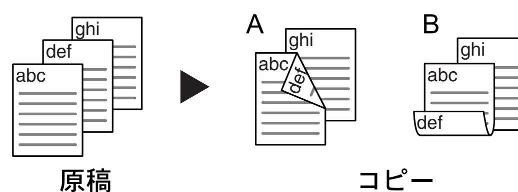
片面→両面

片面原稿をうらおもてに両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。



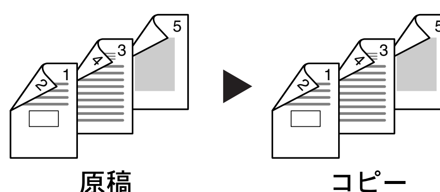
とじ方法を次の 2 とおりから設定できます。

- 原稿左 / 右とじ→仕上がり左 / 右とじ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。...A
- 原稿左 / 右とじ→仕上がり上とじ：うら面のコピーをおもて面に対して 180 度回転させてコピーします。仕上がったコピーを上で綴じると、各見開きのページが同じ方向になります。...B



両面→両面

両面の原稿を両面コピーします。

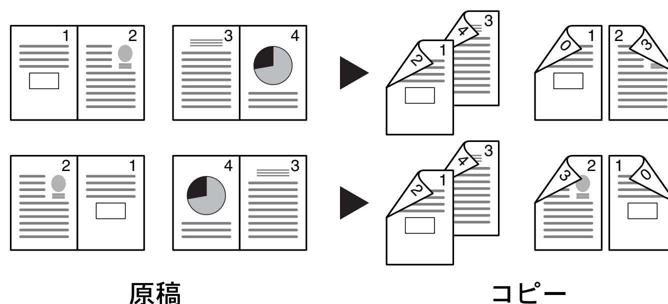


参考：オプションの原稿送り装置が必要です。

両面→両面に使用できる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2" です。

見開き→両面

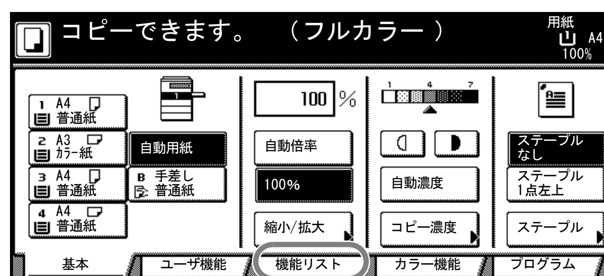
雑誌や本などの見開き 2 ページを、用紙の両面にコピーします。



参考：見開き→両面に使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11 × 17"、8 1/2 × 11"、8K に限られます。

両面コピーの操作手順は次のとおりです。

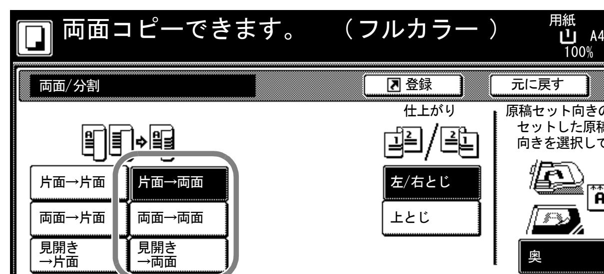
1 ［**機能リスト**］キーを押してください。



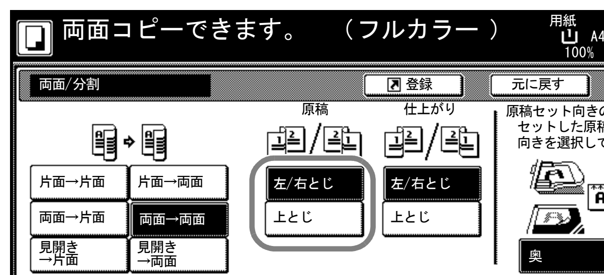
2 ［**両面 / 分割**］キーを押してください。



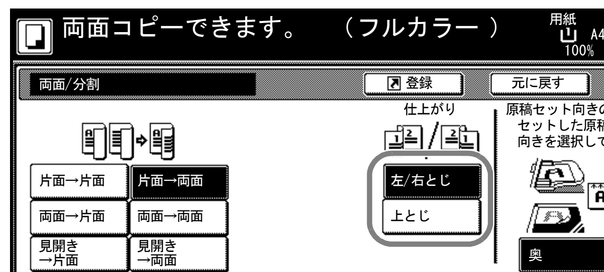
3 両面コピーのモードを選択してください。



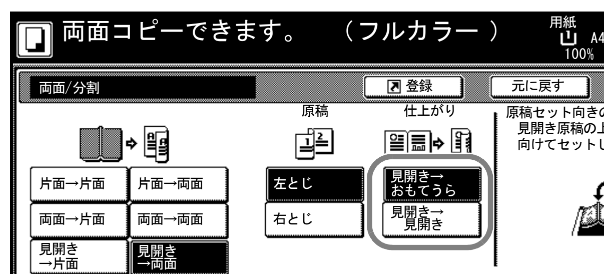
4 ［**両面→両面**］または［**見開き→両面**］を選択したときは、「**原稿**」からとじ方向を選択してください。



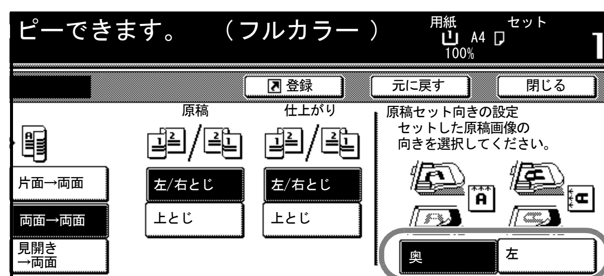
［**片面→両面**］または［**両面→両面**］を選択したときは、「**仕上がり**」からとじ方向を選択してください。



［**見開き→両面**］を選択したときは、「**仕上がり**」からコピーのページ順を選択してください。



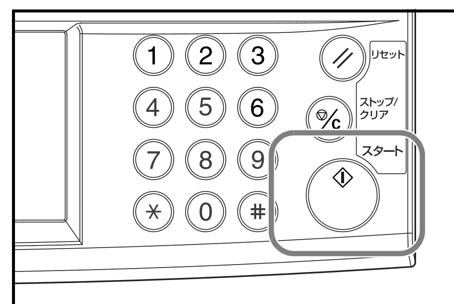
「**片面→両面**」または「**両面→両面**」を選択したときは、「**原稿セット向きの設定**」から［**奥**］または［**左**］を選択してください。



5 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、「**次原稿を読み込みます。**」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。



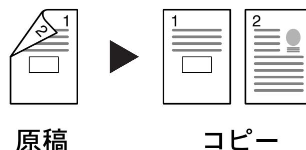
次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

分割コピー

分割コピーは両面原稿や本などの見開き原稿を、次のように 1 ページずつコピーします。

両面→片面

両面原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。



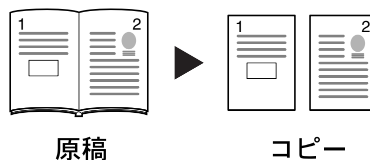
参考：オプションの原稿送り装置が必要です。

とじ方法を次の 2 とおりから設定できます。

- 左 / 右とじ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- 上とじ：うら面のコピーをおもて面に対して 180 度回転させてコピーします。

見開き→片面

見開き 2 ページの原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。



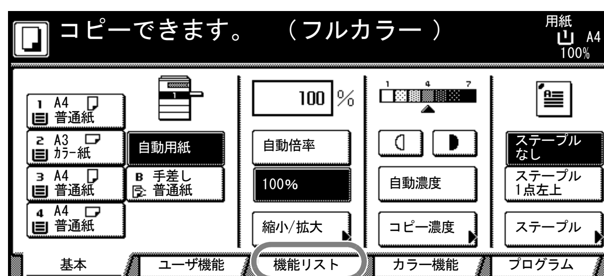
とじ方法を次の 2 とおりから設定できます。

- 左とじ：見開き原稿の左ページ、次に右ページの順でコピーします。
- 右とじ：見開き原稿の右ページ、次に左ページの順でコピーします。

参考：分割コピーに使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11 × 17"、8 1/2 × 11"、8K、また用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

分割コピーの操作手順は次のとおりです。

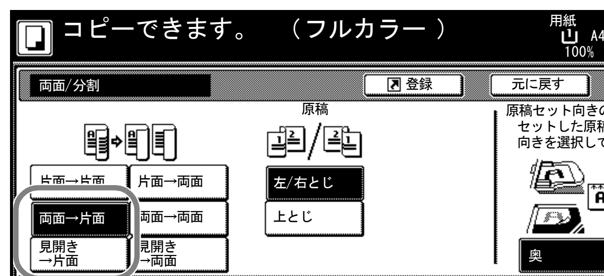
1 ［機能リスト］キーを押してください。



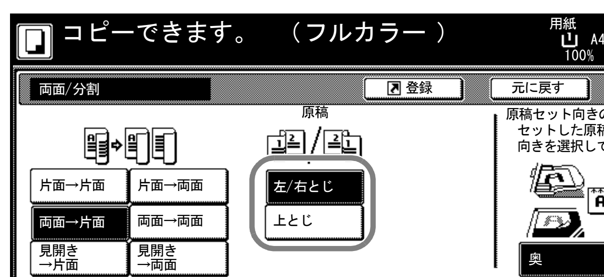
2 ［**両面 / 分割**］キーを押してください。



3 分割コピーのモードを選択してください。



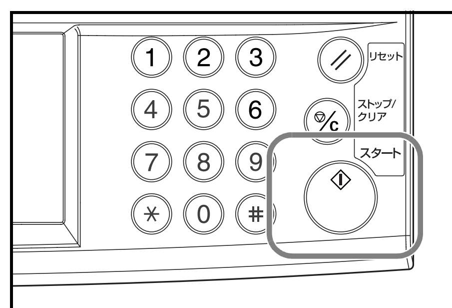
4 「**原稿**」からとじ方向を選択してください。



5 ［**両面→片面**］を選択したときは、「**原稿セット向きの設定**」から［**奥**］または［**左**］を選択してください。



6 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。



オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

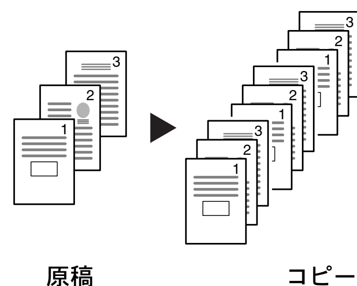
コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、「**次原稿を読み込みます。**」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

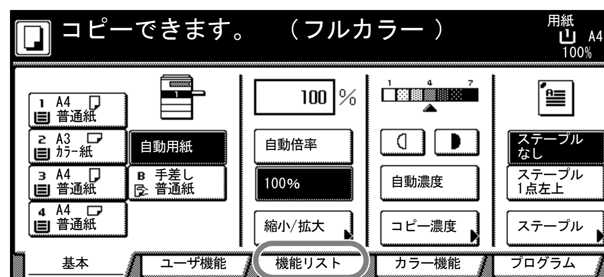
ソートコピー

複数枚の原稿から 1 部ずつページ順に並び替えたコピーを、必要部数作成できます。

ソートコピーの操作手順は次のとおりです。



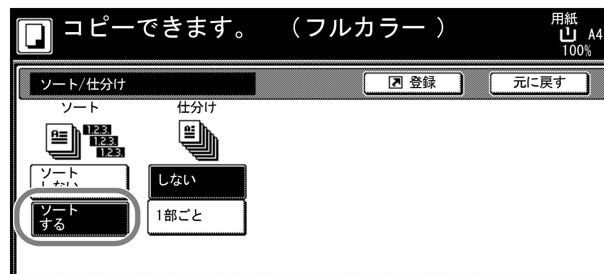
1 ［機能リスト］キーを押してください。



2 ［ソート / 仕分け］キーを押してください。

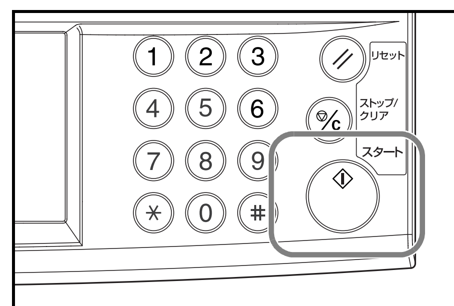


3 ［ソートする］キーを押してください。



4 テンキーを使って、コピー部数を設定してください。

5 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。



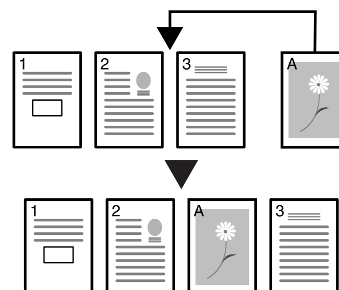
オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、**「次原稿を読み込みます。」**が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

コピーされた用紙は 1 部ずつ、ページ順に並んだ状態で排紙トレイに排出されます。

割り込みコピー

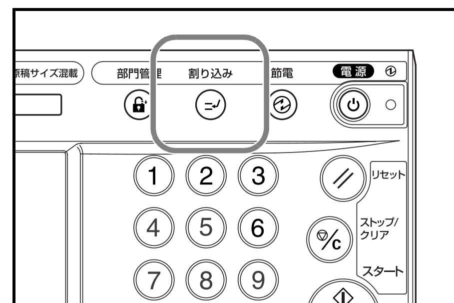


コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーしたいときは、割り込みコピーが便利です。割り込んだコピーの後に、中断されたコピーを同じ設定で再開することができます。また、コピーやプリンタの出力をいったん中止して、緊急のコピーを先に行うこともできます。

割り込みコピーの操作手順は次のとおりです。

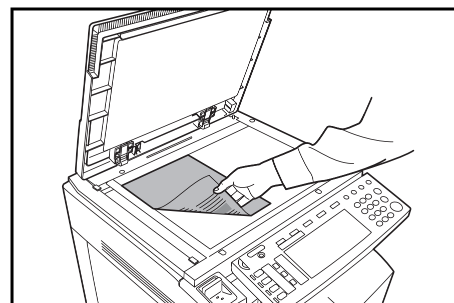
1 ［**割り込み**］キーを押してください。

「**割り込みコピーできます。**」が表示されます。

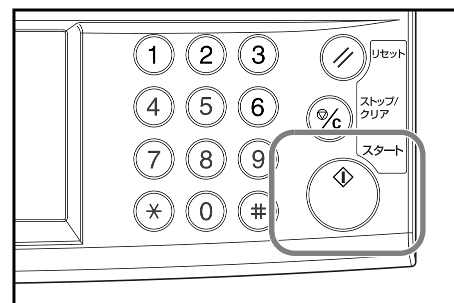


2 コピー中の原稿をいったん取り出してください。

3 割り込みコピーする原稿をセットしてください。



4 割り込みコピーするコピー機能を設定して、［**スタート**］キーを押してください。



5 割り込みコピーが終了したら原稿を取り除き、［**割り込み**］キーを押してください。

割り込みコピー前の設定に戻ります。出力中の場合は、元の出力が再開されます。

6 元の原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してコピーを再開してください。

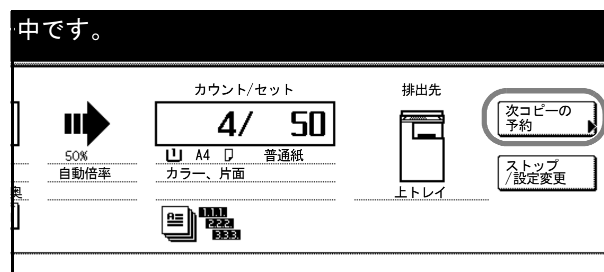
予約コピー

コピーまたはプリンタの出力中に、原稿を読み込んで次のコピーを予約することができます。現在の出力が終了すると、予約したコピーの出力を開始します。また、オプションのファクスを使用しているときは、ファクス受信データの出力中にも予約コピーができます。

予約コピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**次コピーの予約**］キーを押してください。

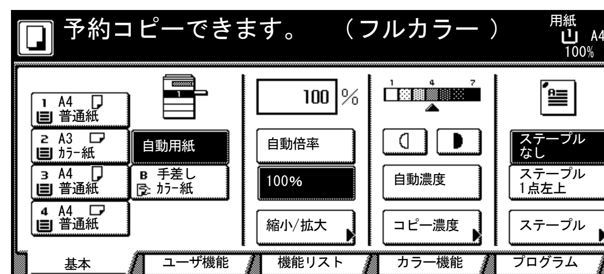
「予約コピーできます。」が表示されます。



2 予約コピーする原稿をセットしてください。

3 予約コピーに使用する機能を設定してください。

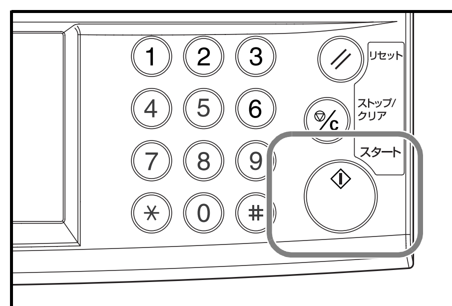
予約コピーを中止するときは［**予約コピー終了**］キーを押してください。



4 ［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み込みを開始します。

原稿の読み込みをすべて完了すると出力中の画面に戻ります。

出力が終了すると予約したコピーの出力を開始します。



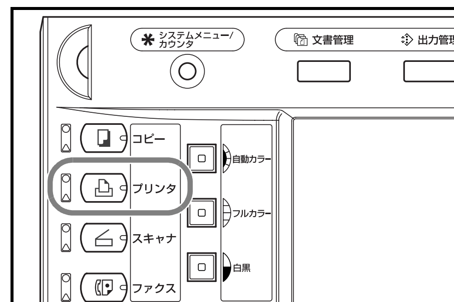
プリントジョブのキャンセルのしかた

印刷を中止し、データをクリアする場合は、次の手順で行ってください。

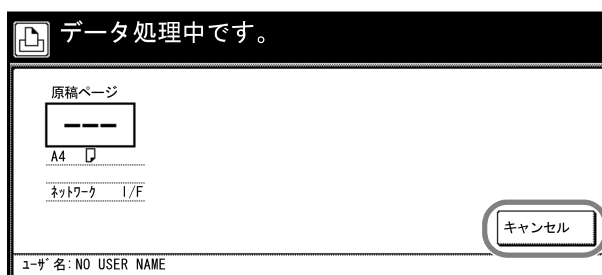
データ処理中のプリントをキャンセルする

データ受信中はプリンタ画面でプリントをキャンセルできます。

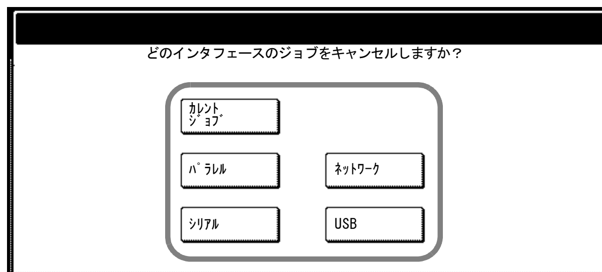
1 ［プリンタ］キーを押してください。



2 ［キャンセル］キーを押してください。



3 印刷をキャンセルするインタフェースを選択してください。



4 印刷をキャンセルします。

スキャナの操作方法

基本的なスキャナの操作方法について説明します。原稿を読み込む方法は、次の 5 とおりあります。

E-Mail 送信の画像読み込み

E-Mail 送信は、読み取った原稿のイメージを任意の宛先に E-Mail の添付ファイルとして送信させる方法です。

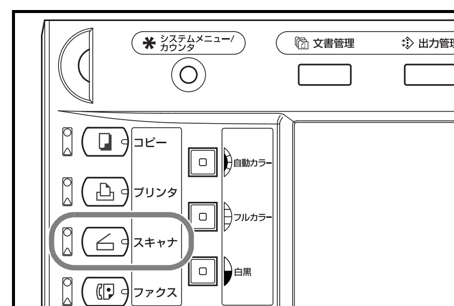
E-Mail 送信を行う前に

スキャナへの SMTP サーバの設定が必要です（2-33 ページの**スキャナ基本設定**参照）。また、送信先の登録名称と E-Mail アドレスの登録が必要です（2-35 ページの**ユーザ登録**参照）。

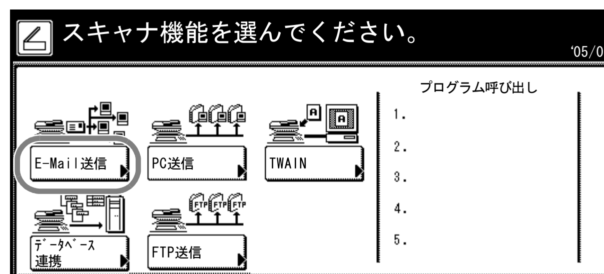
参考：本体操作部から共通アドレス帳を登録する手順は、2-36 ページの**共通アドレス帳編集**を参照してください。

E-Mail 送信の画像読み込み方法

1 ［スキャナ］キーを押してください。



2 ［E-Mail 送信］キーを押してください。



3 送信元（ユーザ）を選択してください。直接番号キーを押すか、テンキーでユーザ番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

参考：スキャナ初期設定の「**送信元（ユーザ）選択の省略**」が［**設定する**］の場合、自動的にユーザ番号 001 の送信元（ユーザ）を選択します。

ユーザ登録時にパスワードを入力していればパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、［**設定**］キーを押してください。正しいパスワードであれば、スキャン設定画面が表示されます。

4 メールアドレスを入力する場合は、［**アドレス入力**］キーを押してください。

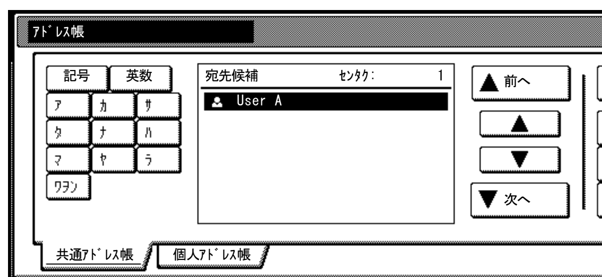
5 宛先（受信者）のメールアドレスを入力してください。入力後、［**入力終了**］キーを押すと、送信方法を選択する画面が表示されます。

6 ［To:］、［CC:］、［BCC:］から該当する送信方法を選択し、［**設定**］キーを押してください。

7 個人アドレス帳、共通アドレス帳を使用する場合は、［**アドレス帳**］キーを押します。

8 ［**共通アドレス帳**］キーか、［**個人アドレス帳**］キーを押すと、画面に選択したアドレス帳の宛先が表示されます。ここでは共通アドレス帳から宛先を選びます。

［▲］または［▼］キーを押して、宛先を選択し、［To:］、［CC:］、［BCC:］から該当する送信方法を選択してください。



「**宛先候補**」「**センタク**」右に宛先追加した件数が、追加した宛先に ☒ が表示されます。

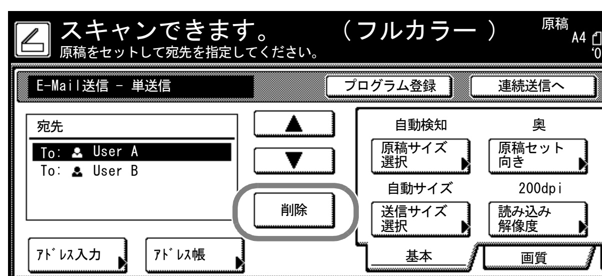
参考：個人アドレス帳は送信元（ユーザ）のコンピュータでアドレス帳 for Scanner が起動していない場合は表示されません。

---

9 宛先を決定し、［**閉じる**］キーを押してください。

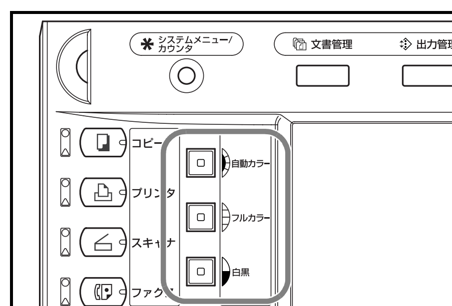
続けて宛先を入力する場合は、手順 4 に戻ります。

10 宛先を確認します。［▲］または［▼］キーを押して、宛先が希望どおり選択されているか確認してください。不要な宛先が選択されていた場合は、［**削除**］キーを押してください。



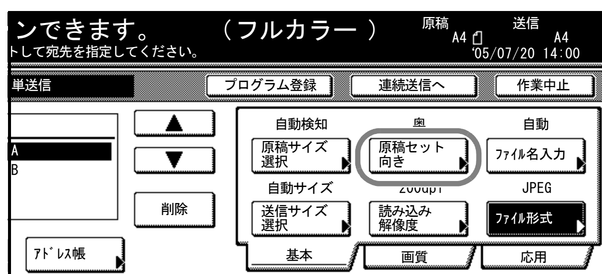
スキャン設定

11 ［**自動カラー**］、［**フルカラー**］または［**白黒**］キーを押して、カラーモードを選択してください。

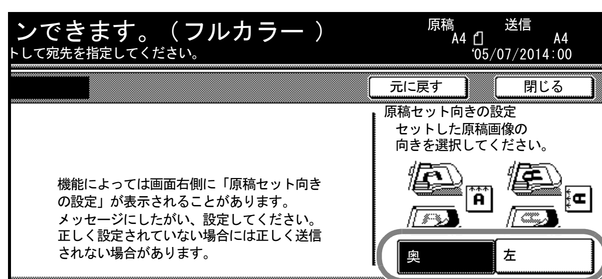


12 画面右にスキャン設定画面が表示されています。各種設定を行うときは該当のボタンを押して設定してください。ここでは例として、［**原稿セット向き**］の設定手順を説明します。

［**原稿セット向き**］キーを押してください。



13 原稿の上辺を奥にセットした場合は［**奥**］、左側にセットした場合は［**左**］を選択してください。［**閉じる**］キーを押すと、変更した設定となり、［**元に戻す**］キーを押すと前の設定のまま、手順 10 の画面に戻ります。



参考：原稿セット向きが正しく設定されていない場合には正しくスキャンされないことがあります。スキャン設定を行う場合は、必ず原稿セット向きを確認してください。

14 各種設定を確認して、原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

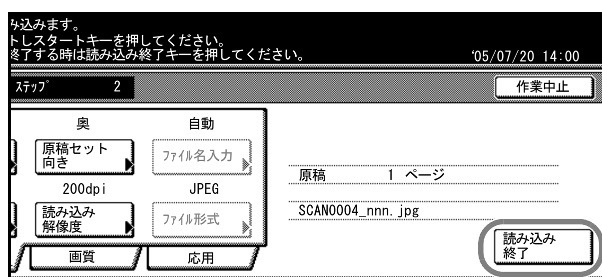
原稿の読み込みを開始します。

連続読み込みを設定している場合は手順 15 へ、連続送信を設定している場合は手順 16 へ進んでください。



15 スキャン設定画面の［**応用**］キーの［**連続読み込み**］を［**設定する**］に設定している場合は、読み込み終了後に、読み込みを継続するか終了するか選択する画面が表示されます。

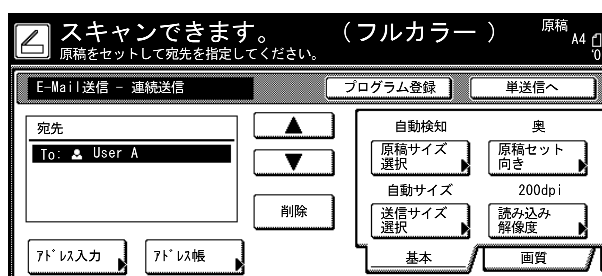
読み込みを継続する場合、次の原稿をセットし、必要に応じて、スキャン設定を選択して［**スタート**］キーを押してください。



原稿の読み込みを終了する場合は、［**読み込み終了**］キーを押してください。

16 スキャン設定画面で［**連続送信**］を設定している場合は、一度送信が終了すると、その前に行った送信と同じ設定状態で、スキャン設定画面に戻ります。

作業を継続する場合、次の原稿をセットし、必要に応じて、スキャン設定を選択して［**スタート**］キーを押してください。



作業を終了する場合は、［**作業中止**］キーを押してください。

PC 送信の画像読み込み

PC 送信は、読み取った原稿のイメージを任意のコンピュータのフォルダの中にファイルとして保存させる方法です。Scanner File Utility を該当するコンピュータにインストールして使用してください。

PC 送信を行う前に

Scanner File Utility を使う際は、まず次の設定を行ってください。

1 Scanner File Utility を送信先のコンピュータにインストールします。

2 Scanner File Utility を起動し、画像ファイルの保存先フォルダを登録します。

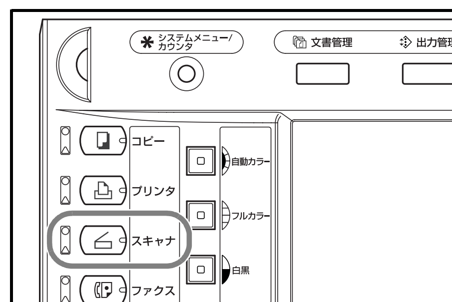
3 本体操作部で保存先コンピュータの IP アドレス、登録名称と保存先番号を登録します。

保存先番号入力欄に Scanner File Utility で登録した保存先フォルダの NO（001~100）と同じ番号を入力します。

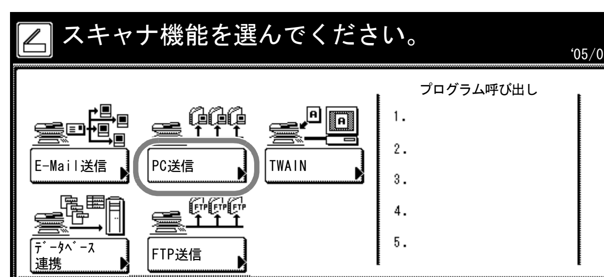
参考：本体操作部から共通アドレス帳を登録する手順は、2-36 ページの**共通アドレス帳編集**を参照してください。

PC 送信の画像読み込み方法

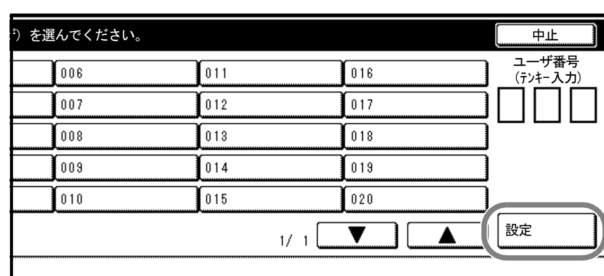
1 ［スキャナ］キーを押してください。



2 ［PC 送信］キーを押してください。



3 送信元（ユーザ）を選択してください。直接番号キーを押すか、テンキーでユーザ番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

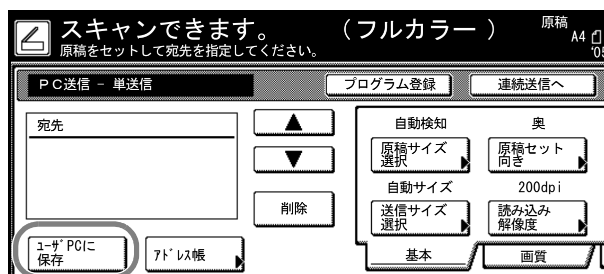


参考：スキャナ初期設定の**「送信元（ユーザ）選択の省略」**が**［設定する］**の場合、自動的にユーザ番号 001 の送信元（ユーザ）を選択します。

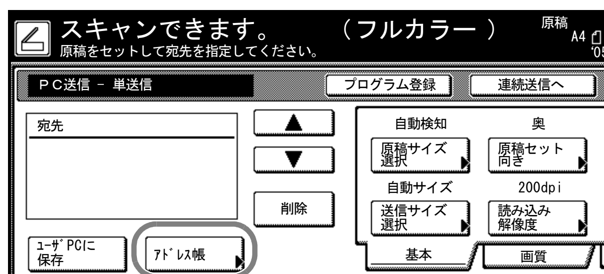
ユーザ登録時にパスワードを入力していればパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、**［設定］**キーを押してください。正しいパスワードであれば、スキャン設定画面が表示されます。

4 送信元（ユーザ）に保存する場合は、**［ユーザ PC に保存］**キーを押してください。

宛先欄に送信元（ユーザ）を表示します。

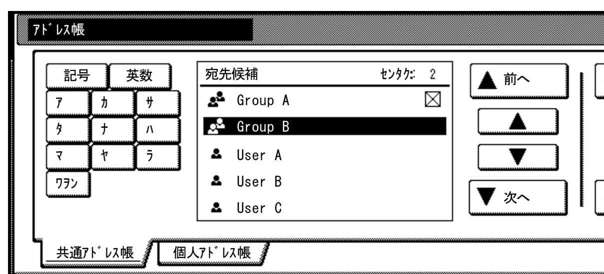


5 個人アドレス帳、共通アドレス帳を使用する場合は、**［アドレス帳］**キーを押します。



6 **［共通アドレス帳］**キーか、**［個人アドレス帳］**キーを押すと、画面に選択したアドレス帳の宛先が表示されます。ここでは共通アドレス帳から宛先を選びます。

［▲］または**［▼］**キーを押して、宛先を選択し、**［宛先追加］**キーを押してください。



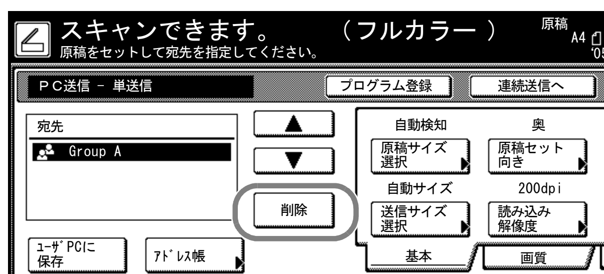
「宛先候補」「センタク」右に宛先追加した件数が、追加した宛先に ☒ が表示されます。

参考：個人アドレス帳は送信元（ユーザ）の PC でアドレス帳 for Scanner が起動していない場合は表示されません。

7 宛先を決定し、**［閉じる］**キーを押してください。

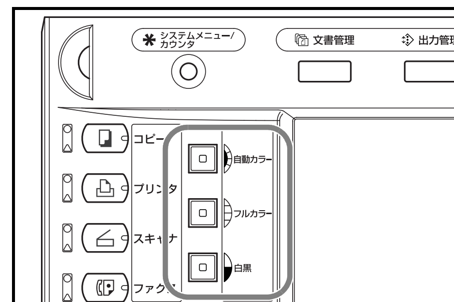
続けて宛先を入力する場合は、手順 5 に戻ります。

8 宛先を確認します。**［▲］**または**［▼］**キーを押して、宛先が希望どおり選択されているか確認してください。不要な宛先が選択されていた場合は、**［削除］**キーを押してください。



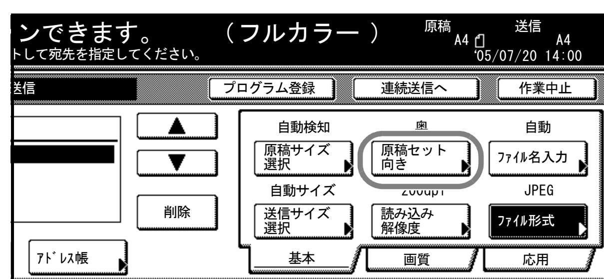
スキャン設定

9 **［自動カラー］**、**［フルカラー］** または **［白黒］** キーを押して、カラーモードを選択してください。

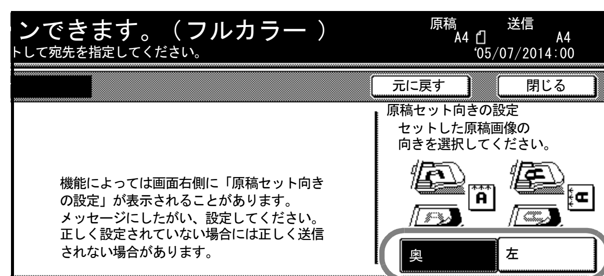


10 画面右にスキャン設定画面が表示されています。各種設定を行うときは該当のボタンを押して設定してください。ここでは例として、**［原稿セット向き］** の設定手順を説明します。

［原稿セット向き］ キーを押してください。



11 原稿の上辺を奥にセットした場合は **［奥］**、左側にセットした場合は **［左］** を選択してください。**［閉じる］** キーを押すと、変更した設定となり、**［元に戻す］** キーを押すと前の設定のまま、手順 8 の画面に戻ります。



参考：原稿セット向きが正しく設定されていない場合には正しくスキャンされないことがあります。スキャン設定を行う場合は、必ず原稿セット向きを確認してください。

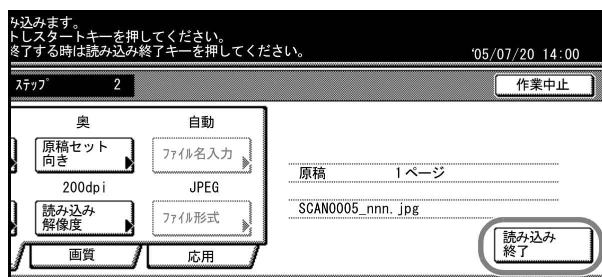
12 各種設定を確認して、原稿をセットし、**［スタート］** キーを押してください。

原稿の読み込みを開始します。

連続読み込みを設定している場合は手順 13 へ、連続送信を設定している場合は手順 14 へ進んでください。



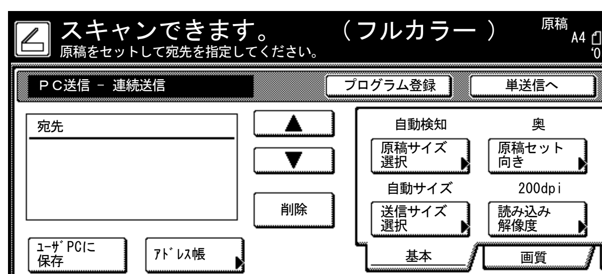
13 スキャン設定画面の［**応用**］キーの［**連続読み込み**］を［**設定する**］に設定している場合は、読み込み終了後に、読み込みを継続するか終了するか選択する画面が表示されます。



読み込みを継続する場合、次の原稿をセットし、必要に応じて、スキャン設定を選択して［**スタート**］キーを押してください。

原稿の読み込みを終了する場合は、［**読み込み終了**］キーを押してください。

14 スキャン設定画面で［**連続送信**］を設定している場合は、一度送信が終了すると、その前に行った送信と同じ設定状態で、スキャン設定画面に戻ります。



作業を継続する場合、次の原稿をセットし、必要に応じて、スキャン設定を選択して［**スタート**］キーを押してください。

作業を終了する場合は、［**作業中止**］キーを押してください。

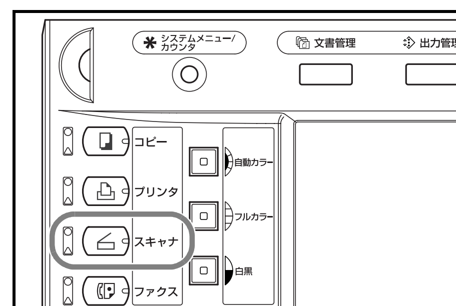
参考：Scanner File Utility の「**ファイルの上書き保存を許可**」にチェックした状態で、ファイルを送信すると、同じ名称のファイルは上書きされます。連続送信時にファイル名を入力して送信する場合は、注意してください。

TWAIN での画像読み込み

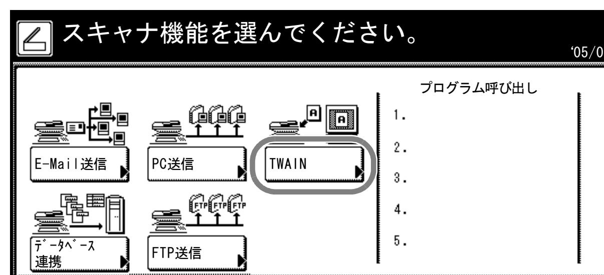
TWAIN 対応のアプリケーションからアプリケーションの手順に従ってスキャナを呼び出して使用する方法です。使用するアプリケーションとともにインストールしてください。ここでは TWAIN を使用したときの本体設定のみ説明します。

本体から操作を始める場合

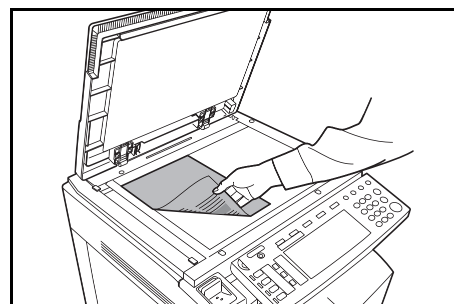
1 ［**スキャナ**］キーを押してください。



2 ［TWAIN］キーを押してください。



3 原稿をセットしてください。



4 アプリケーションから TWAIN Source を起動してください。

TWAIN Source のメインダイアログボックスが表示されます。

5 **スキャナ設定**ボタンをクリックし、本スキャナが選択されているか確認してください。

本スキャナが選択されていない場合は、**編集**ボタンをクリックし、**スキャナアドレス**に使用するスキャナの IP アドレスまたはホスト名を入力して、OK ボタンをクリックしてください。

6 OK ボタンをクリックしてください。

7 各種設定を行い、ダイアログボックスの**接続**ボタンをクリックして、スキャナに接続してから、**スキャン**ボタンをクリックします。スキャンを開始します。

コンピュータから操作を始める場合

1 アプリケーションから TWAIN Source を起動してください。

TWAIN Source のメインダイアログボックスが表示されます。

2 **スキャナ設定**ボタンをクリックし、本スキャナが選択されているか確認してください。

本スキャナが選択されていない場合は、**編集**ボタンをクリックし、**スキャナアドレス**に使用するスキャナの IP アドレスまたはホスト名を入力して、OK ボタンをクリックしてください。

3 OK ボタンをクリックしてください。

4 各種設定を行い、**「スキャン待ち」**をチェックします。

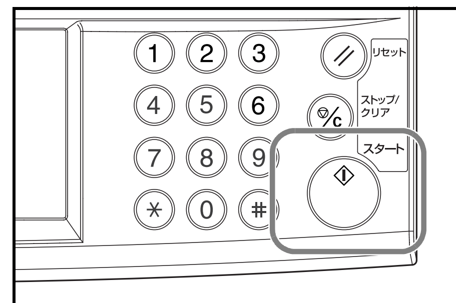
参考：［**スキャン待ち**］にチェックすると本体の［**スタート**］キーを押すことで、スキャンを開始します。

5 メインダイアログボックスの［**接続**］ボタンをクリックして、スキャナに接続してから、［**スキャン**］ボタンをクリックします。

本体が起動中、または動作中の場合は接続できないことがあります。この場合は、スキャナ機能画面から［TWAIN］キーを押して、TWAIN モードにしてください。

6 本体に原稿をセットして、［**スタート**］キーを押すとスキャンを開始します。

参考：本体の操作部で各種設定ができます。必要に応じて設定を変更してください。コンピュータと本体の操作部両方で設定を行った場合、本体のタッチパネルの設定が有効になります。



データベース連携の設定

データベース連携は、読み取った原稿をデータにする際に、文書情報を追加して任意のコンピュータのフォルダの中に保存させる方法です。画像の送信方法は PC 送信と同じです。

データベース連携を行う前に

データベース連携を行う場合は、まず次の設定を行ってください。

1 DB Assistant を管理者のコンピュータにインストールします。

2 DB Assistant を起動し、データベース連携を設定します。

3 保存先のコンピュータで、Scanner File Utility を起動し、データベース連携の設定をします。

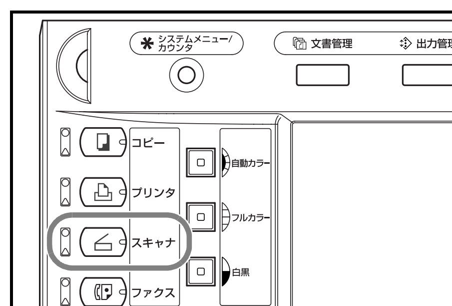
保存先番号入力欄に Scanner File Utility で登録した保存先フォルダの NO（001~100）と同じ番号を入力します。

事前に DB Assistant をインストールしたコンピュータと、Scanner File Utility をインストールしたコンピュータを Web ブラウザ、または本体操作部で登録しておく必要があります。

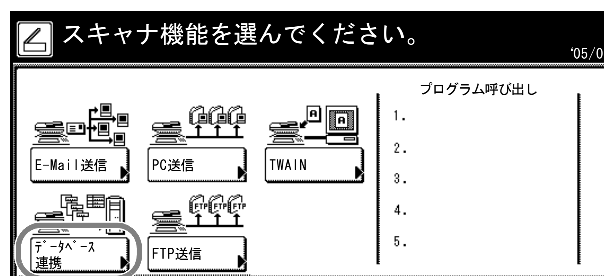
ここでは主に KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報として、キーワードを追加する機能）の設定方法を説明します。

データベース連携の設定方法

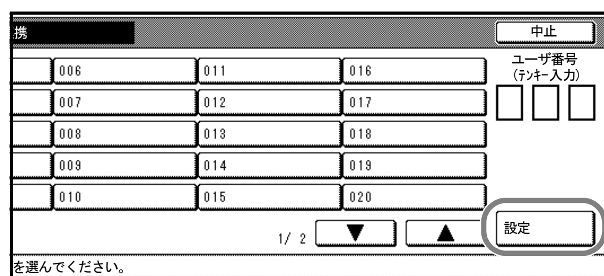
1 ［スキャナ］キーを押してください。



2 ［データベース連携］キーを押します。



3 送信元（ユーザ）を選択してください。直接番号キーを押すか、テンキーでユーザ番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

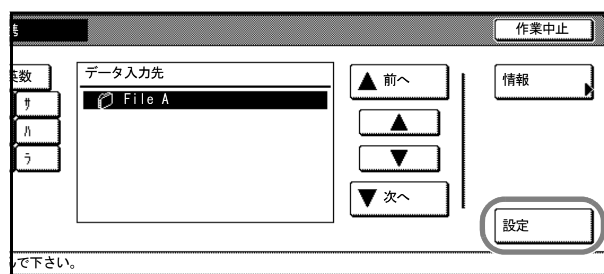


参考：スキャナ初期設定の「**送信元（ユーザ）選択の省略**」が［**設定する**］の場合、自動的にユーザ番号 001 の送信元（ユーザ）を選択します。

ユーザ登録時にパスワードを入力していればパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、［**設定**］キーを押してください。

4 データ入力先を選択します。［▲］または［▼］キーを押して、データ入力先を選択し、［**設定**］キーを押してください。

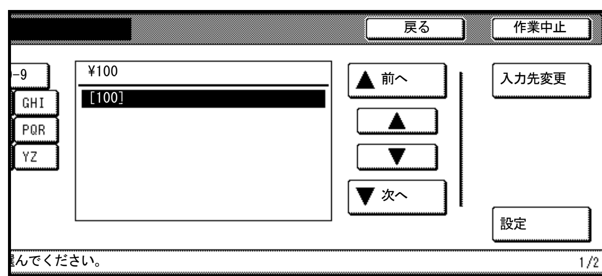
ここでは KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報として、キーワードを追加する機能）の選択方法を説明します。



参考：データ入力先詳細を確認するときは、［▲］または［▼］キーを押して、確認したい入力先を選択し、［**情報**］キーを押してください。データ入力先 PC の IP アドレスや、保存先フォルダ番号などが確認できます。

データベースアシスト（スキャンした画像と文書情報として CSV ファイルを作成する機能）を選択した場合で、DB Assistant からパスワードを設定していると、そのパスワードの入力が必要になります。

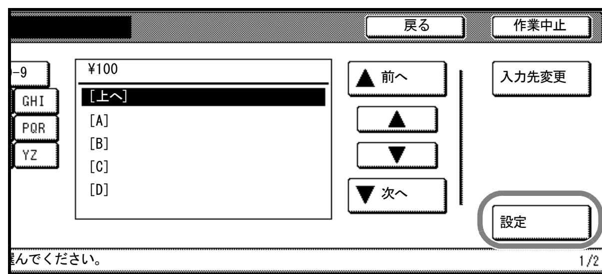
5 画像を保存するフォルダを選択します。フォルダ選択画面で、現在、選択されているフォルダに保存する場合は、［**設定**］キーを押してください。文書情報画面が表示されます（この場合、手順 7 に進みます)。指定フォルダよりも下の階層のフォルダに保存する場合は、［**入力先変更**］キーを押してください。指定フォルダ内が表示されます。



参考：保存先フォルダ名にピリオド（.）が含まれている場合、保存先フォルダの選択画面において、フォルダ名称が正常に表示されないことがあります。

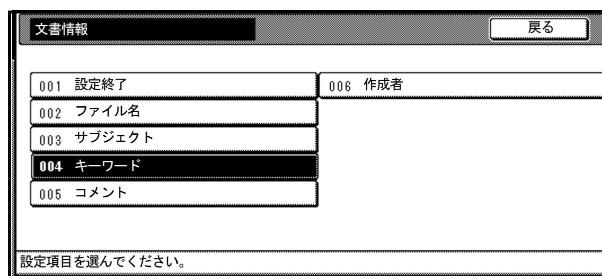
データベースアシスト機能は、入力先を変更できません。

6 ［▲］または［▼］キーを押して、保存したいフォルダを選択し、［**設定**］キーを押してください。



参考：1 つ上のフォルダに移動したい場合は［**上へ**］を選択してから、［**設定**］キーを押してください。Scanner File Utility で指定したフォルダより上の階層に入力先を設定することはできません。

7 登録したい項目を選択し、［**設定**］キーを押してください。選択した項目の設定画面が表示されます。ここでは例として、「**キーワード**」を選択します。

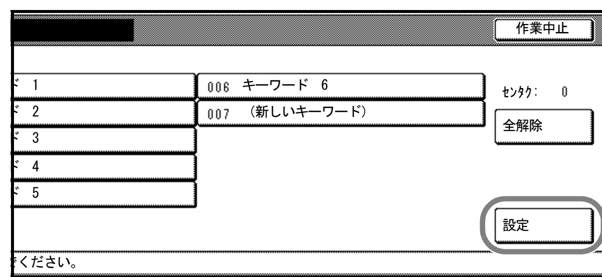


参考：「**ファイル名**」では、スキャンした画像のファイル名を変更することができます。

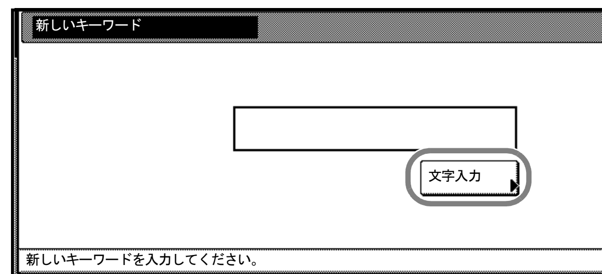
「**キーワード**」、「**サブジェクト**」、「**作成者**」、「**コメント**」は、すべて文書情報のキーワードとして登録されます。

データベースアシスト機能を選択した場合は、設定項目が異なります。

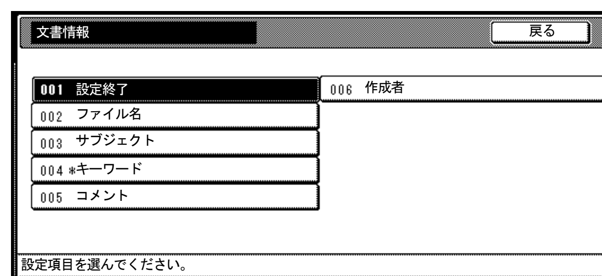
8 追加したいキーワードを選択し、**［設定］**キーを押してください。



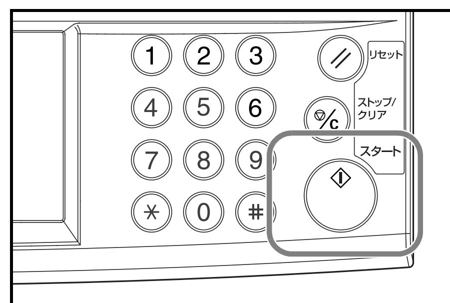
DB Assistant で登録したキーワード以外に、新しいキーワードを入力したい場合は、項目最後にある**「（新しいキーワード）」**を選択し、**［設定］**キーを押してください。新しいキーワードを入力することができます。文字を入力したい場合は**［文字入力］**キーを押してください。



9 変更を行った項目には、**「＊」**が表示されます。これでよければ**「設定終了」**を選択し、**［設定］**キーを押してください。



10 本体に原稿をセットして、**［スタート］**キーを押すとスキャンを開始します。

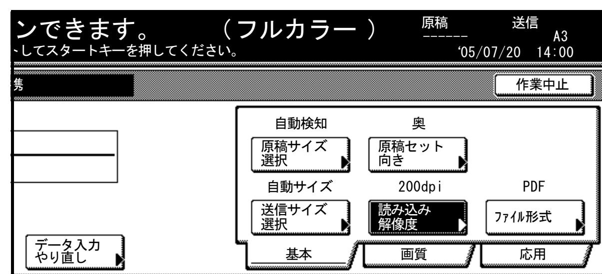


参考：本体の操作部で各種設定ができます。必要に応じて設定を変更してください。

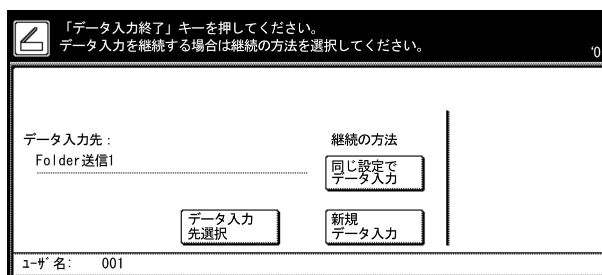
コンピュータと本体の操作部両方で設定を行った場合、本体のタッチパネルの設定が有効になります。

文書データ入力を再度設定したい場合は、**［データ入力やり直し］**キーを押してください。

作業を終了する場合は、**［作業中止］**キーを押してください。



11 スキャンを終了すると次の画面を表示します。原稿の読み込みを終了する場合は、［**データ入力終了**］キーを押してください。



KM-DB アシスト機能の場合は、スキャンした画像に先程登録した文書情報（キーワード）を追加して、指定フォルダに保存します。

データベースアシスト機能の場合は、スキャンした画像に登録した、文書情報を CSV ファイルにして、指定フォルダに保存します。

参考：再度、データベース連携を使用する場合は、［**データ入力先選択**］キーを押してください。3-31 ページの手順 4 から作業を行うことができます。

再度、同じ設定でデータベース連携を使用する場合は、［**同じ設定でデータ入力**］キーを押してください。3-33 ページの手順 6 から作業を行うことができます。

再度、同じ指定アシスト機能でデータベース連携を使用する場合は、［**新規データ入力**］キーを押してください。3-32 ページの手順 5 から作業を行うことができます。

FTP 送信の画像読み込み

FTP 送信機能は、本機でスキャンした原稿データを PDF または TIFF のフォーマットに変換して、FTP サーバに直接アップロードする機能です。

アップロード先の FTP サーバは、最大 10 件まで登録しておくことができ、その登録した 10 箇所の FTP サーバへ同時にアップロードすることもできます。

FTP サーバが稼動している環境であれば、新しくソフトウェアをインストールする必要はありません。

注意：ネットワークの環境や構成によっては、LAN 外のサーバへ接続できない場合があります。

FTP 送信を行う前に

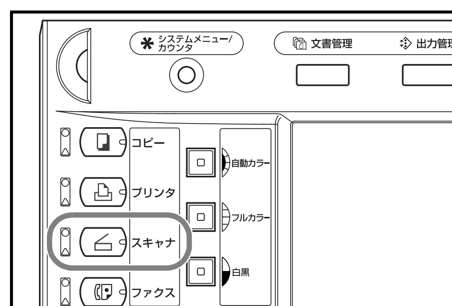
FTP サーバにアクセスするために、各 FTP サーバの情報を管理者に確認し、本機に登録する必要があります。

- ユーザ名
- パスワード
- FTP サーバのホスト名または IP アドレス
- ポート番号（通常は 21）
- パス（FTP サーバのホームディレクトリから保存するフォルダまでのパス）

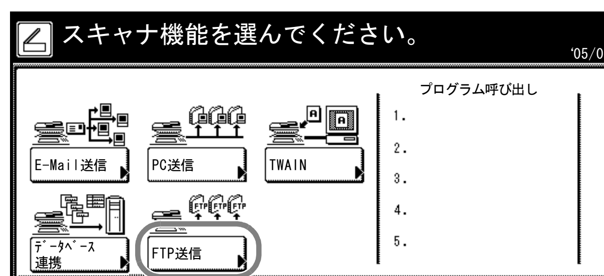
参考：本体操作部から共通アドレス帳を登録する手順は、2-36 ページの**共通アドレス帳編集**を参照してください。

FTP 送信の画像読み込み方法

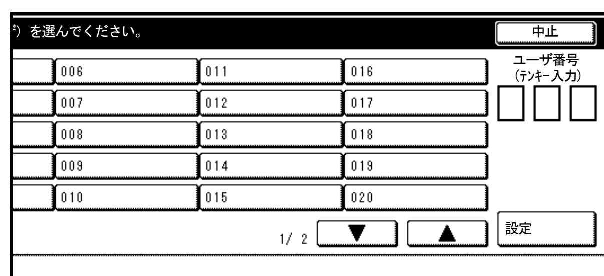
1 ［**スキャナ**］キーを押してください。



2 ［**FTP 送信**］キーを押してください。



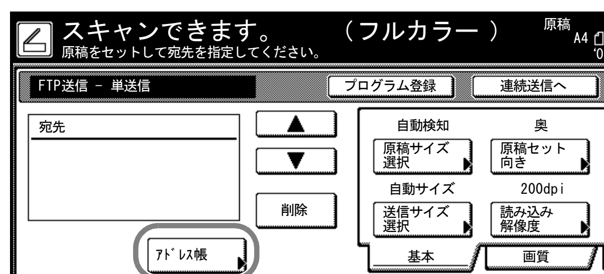
3 送信元（ユーザ）を選択してください。直接番号キーを押すか、テンキーでユーザ番号を入力して［**設定**］キーを押してください。



参考：スキャナ初期設定の「**送信元（ユーザ）選択の省略**」が［**設定する**］の場合、自動的にユーザ番号 001 の送信元（ユーザ）を選択します。

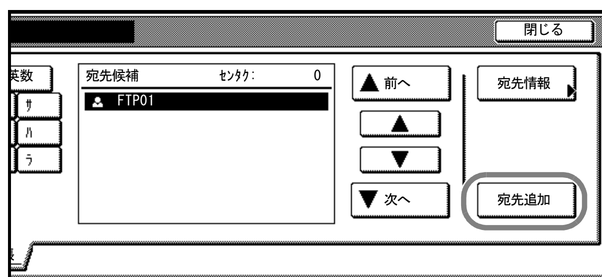
ユーザ登録時にパスワードを入力していればパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、［**設定**］キーを押してください。

4 ［**アドレス帳**］キーを押してください。

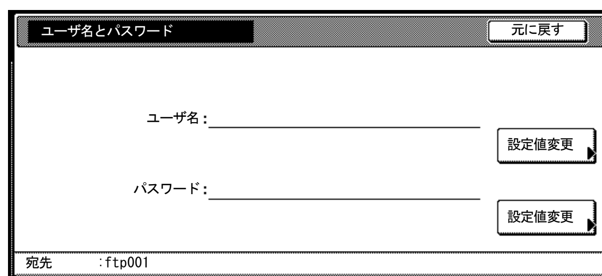


5 ［▲］または［▼］キーを押して、送信先 FTP サーバを選択し、**［宛先追加］**キーを押してください。送信先 FTP サーバにログインします。

「宛先候補」「センタク」右に宛先追加した件数が、追加した宛先に ☒ が表示されます。



6 2-36 ページの**共通アドレス帳編集**で、**認証情報入力の省略**を**［しない］**に設定している送信先 FTP サーバを選択した場合は、次の手順でユーザ名とパスワードを入力して**［閉じる］**を押してください。



ユーザ名の入力

1 ユーザ名の**［設定値変更］**を押してください。

2 ユーザ名を入力してください。

3 **［入力終了］**キーを押してください。

パスワードの入力

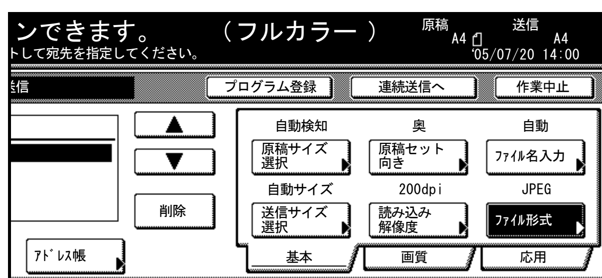
1 パスワードの**［設定値変更］**を押してください。

2 パスワードを入力してください。

3 **［入力終了］**キーを押してください。

7 **［閉じる］**キーを押してください。

8 スキャン設定を行ってください。

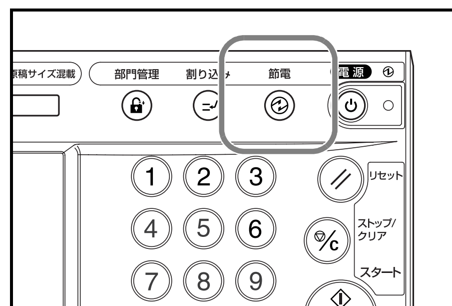


9 原稿をセットし、**［スタート］**キーを押してください。原稿の読み込みを開始します。

読み込みが完了すると、本機は送信先 FTP サーバにスキャンデータをアップロードします。



低電力モード



［節電］キーを押すと、本機は低電力モードになります。

操作パネル上の**節電**表示、**電源**表示、主電源表示が点灯し、他は消灯します。

低電力モード中に印刷データを受信すると自動的に復帰し、出力を開始します。オプションのファクスを使用している場合は、ファクスの受信時にも自動的に復帰し、出力を開始します。

コピーを再開するときは、次のいずれかの操作を行ってください。コピー可能状態に復帰します。

- 操作パネル上のいずれかのキーを押す。
- 原稿押さえまたはオプションの原稿送り装置を開ける。
- オプションの原稿送り装置に原稿をセットする。

コピー可能状態までの復帰時間は 10 秒以下です。

自動低電力モード

自動低電力モードは、一定時間操作がないと自動的に低電力モードに移行する機能です。工場出荷時は 15 分に設定されています。

スリープモード



［電源］キーを押すと、本機はスリープモードになります。

操作パネル上の主電源表示だけが点灯し、他は消灯します。消費する電力は低電力モードよりさらに少なくなります。

スリープモード中に印刷データを受信すると、操作パネルは消灯したまま出力を開始します。オプションのファクスを使用している場合は、ファクスの受信時にも、操作パネルは消灯したまま出力を開始します。

コピーを再開するときは、もう一度［電源］キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は 45 秒以下です。

オートスリープモード

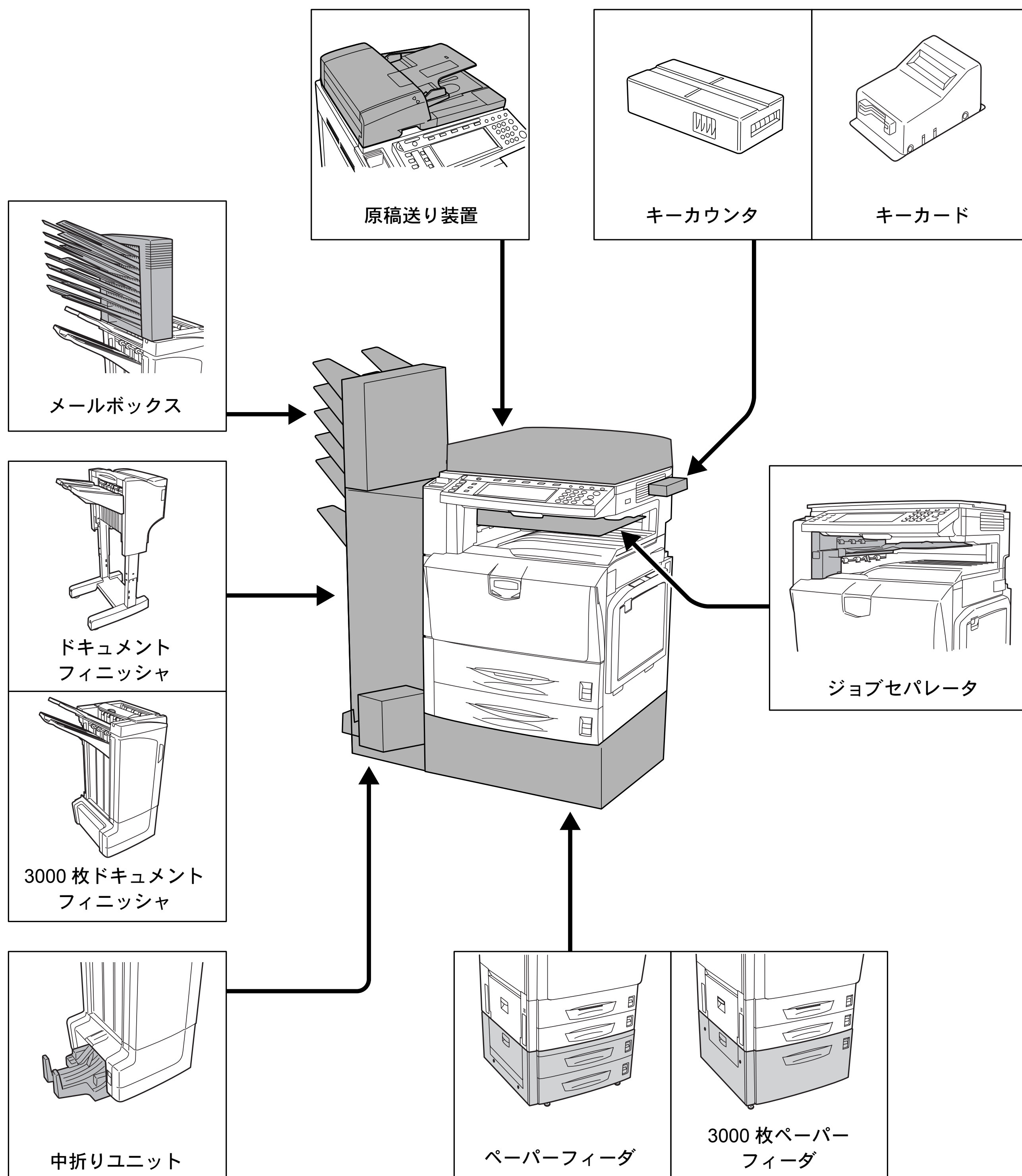
オートスリープモードは、一定時間操作がないと自動的にスリープモードに移行する機能です。工場出荷時は 60 分に設定されています。

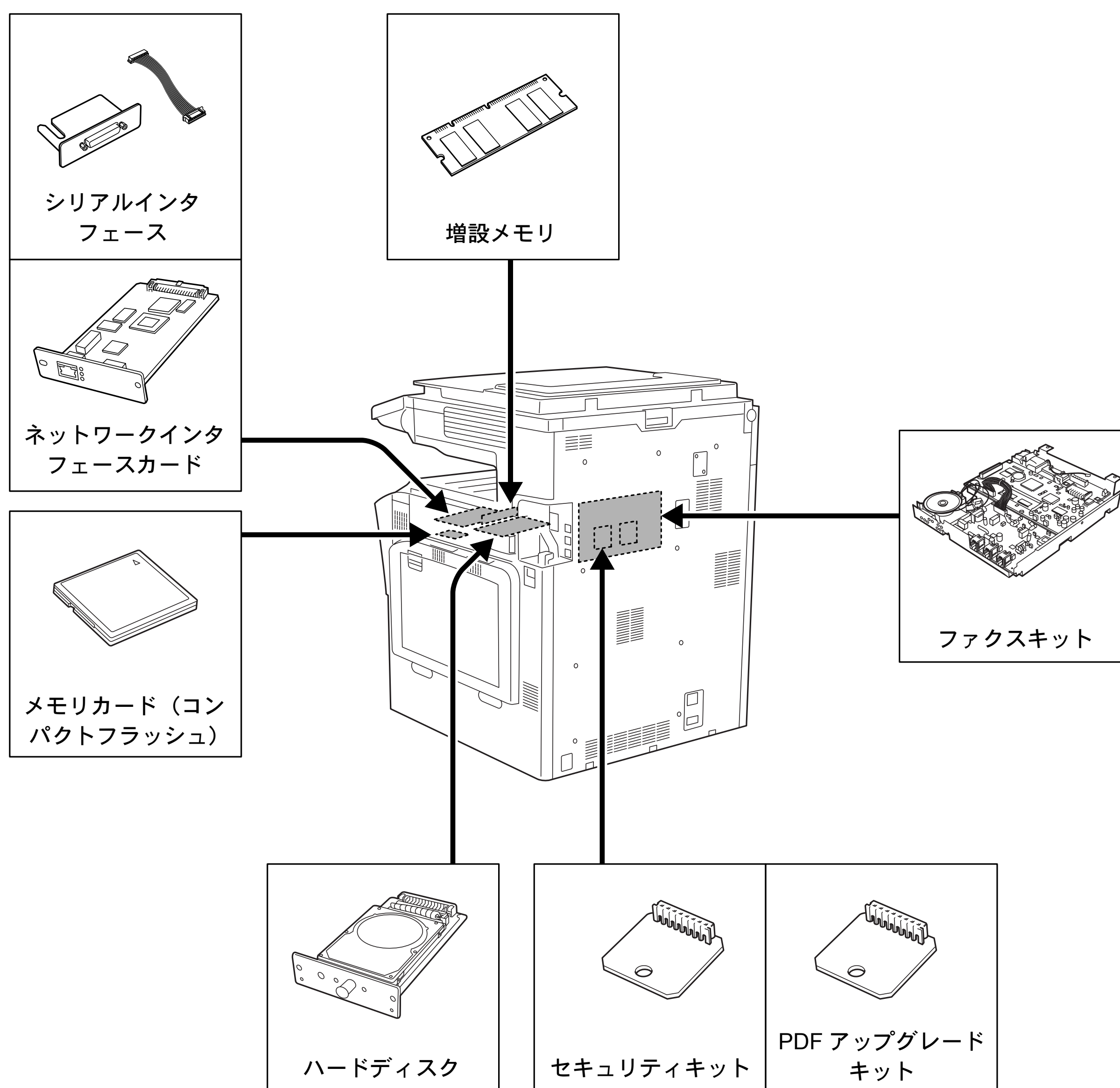
4　オプションについて

この章では、本製品で使用できる便利なオプション機器を紹介します。

オプション構成

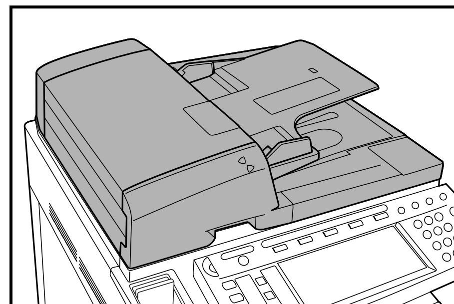
本機では、次のオプションが使用できます。




シリアルインタフェース
増設メモリ
ネットワークインタフェースカード
メモリカード（コンパクトフラッシュ）
ファクスキット
ハードディスク
セキュリティキット
PDF アップグレードキット

原稿送り装置

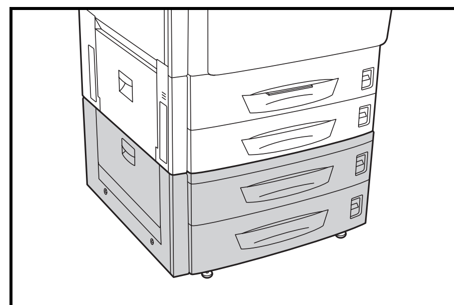
片面原稿を 1 枚ずつ自動的に原稿を読み取る装置です。また、両面原稿も自動的に反転させて、両面コピーや分割コピーを行うことができます。原稿送り装置の使用方法は、2-20 ページの**原稿送り装置（オプション）への原稿のセット**を参照してください。



ペーパーフィーダ

本体のカセット 2 と同じものを 2 段増設することができます。セットできる枚数および用紙のセットのしかたはカセット 1、2 と同じです。2-3 ページの**カセット 1、2 への補給**を参照してください。

参考：紙づまりが発生したときに用紙を取り除くために、ペーパーフィーダの左側に左カバー 3 があります。

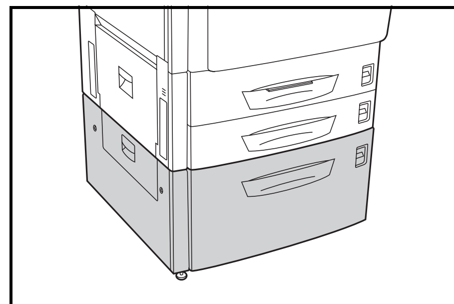


3000 枚ペーパーフィーダ

本体のカセットに加えて、A4 または B5 の用紙を 3,000 枚収納できる 3,000 枚ペーパーフィーダを増設することができます。

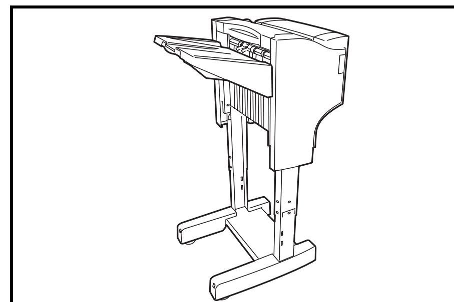
用紙の補給方法は、2-5 ページの **3000 枚ペーパーフィーダへの補給**を参照してください。

参考：紙づまりが発生したときに用紙を取り除くために、3,000 枚ペーパーフィーダの左側に左カバー 3 があります。



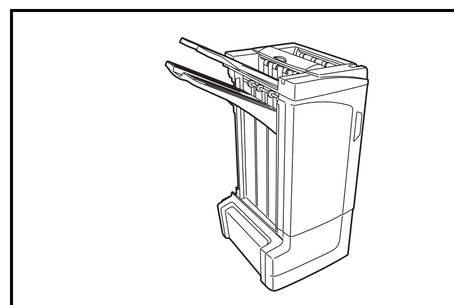
ドキュメントフィニッシャ

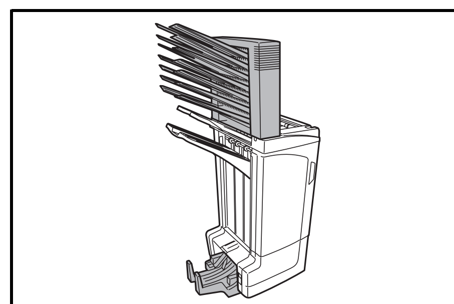
大量の出力紙を収納し、かつ多部数の出力紙を 1 部ずつシフトして仕分けすることができる装置です。仕分けした出力紙にステープルすることもできます。詳細はドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。



3000 枚ドキュメントフィニッシャ

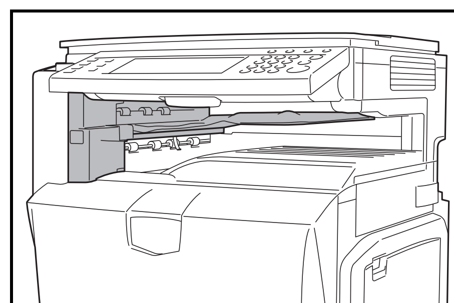
大量の出力紙を収納し、かつ多部数の出力紙を 1 部ずつシフトして仕分けすることができる装置です。仕分けした出力紙にステープルやパンチ穴（オプション）を開けることもできます。詳細は 3000 枚ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。さらにオプションとして、メールボックスと中折りユニットがあります。（下図）





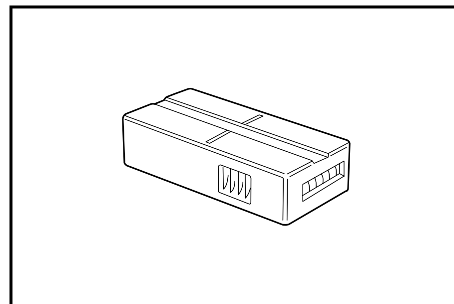
ジョブセパレータ

用紙の排出先を区分して、仕分けをしやすくする装置です。コピーまたは印刷する際に、排出先として指定してください。また、コピーおよびオプションのファクスでは、初期設定モードでの排出先に指定できます。



キーカウンタ

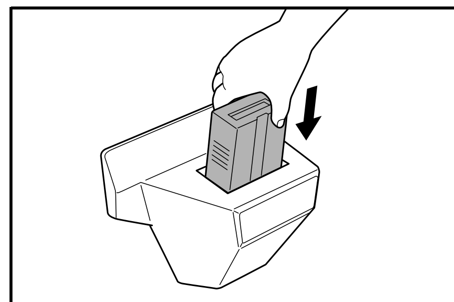
キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。会社内などで、各部署別のコピー使用量を集中管理する場合に役立ちます。



キーカウンタのセット方法

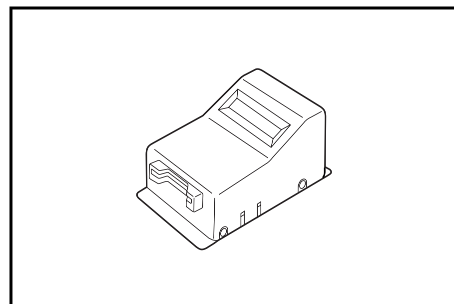
キーカウンタ差し込み口に、キーカウンタを確実にセットしてください。

参考：キーカウンタを使用する場合は、キーカウンタを本機にセットしない限り、コピーがとれませんのでご注意ください。キーカウンタが確実に挿入されていないときは、**「キーカウンタをセットしてください。」**が表示されます。



キーカード

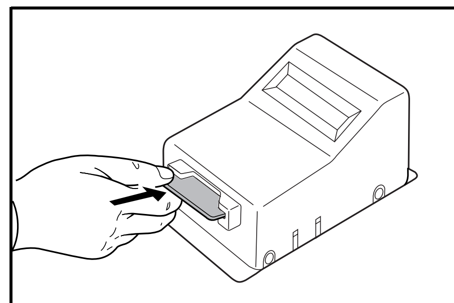
キーカードを使用すると、専用の部門カードを使ってコピーの使用量を確認することができます。会社内などで、各部署別のコピー使用量を集中管理する場合に役立ちます。



キーカードのセット方法

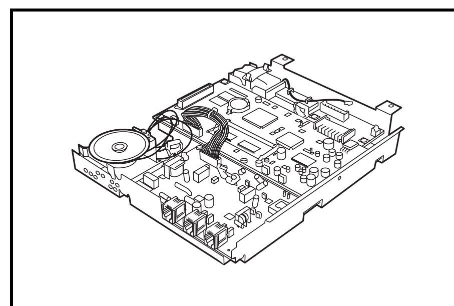
専用の部門カードを本体のカード挿入口にしっかり奥まで挿入してください。

参考：キーカードを使用する場合は、部門カードを本体に挿入しない限りコピーがとれませんのでご注意ください。部門カードが確実に挿入されていないときは**「キーカードをセットしてください。」**が表示されます。



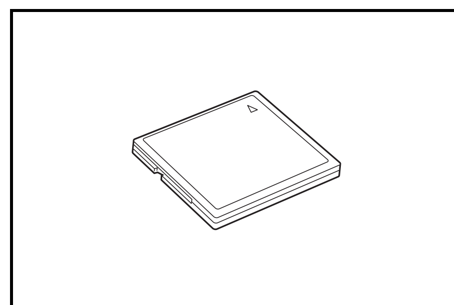
ファクスキット

ファクスキットを装着すると、ファクスの送受信ができます。また、コンピュータを使用し、ネットワークファクスをすることもできます。詳しくはファクスキットの**使用説明書**を参照してください。



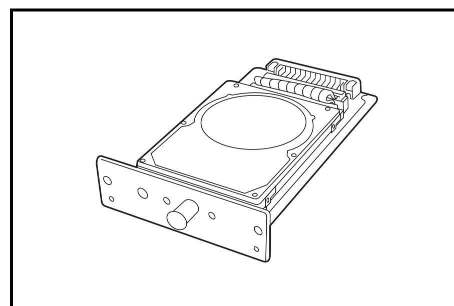
メモリカード（コンパクトフラッシュ）

オプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。本機右側のメモリカードスロットに差し込みます。



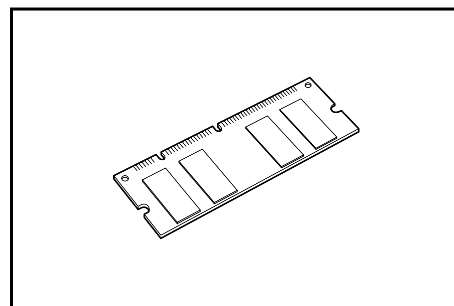
ハードディスク

ハードディスクはプリンタの印刷データの保存に使います。また、すべての e-MPS 機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。

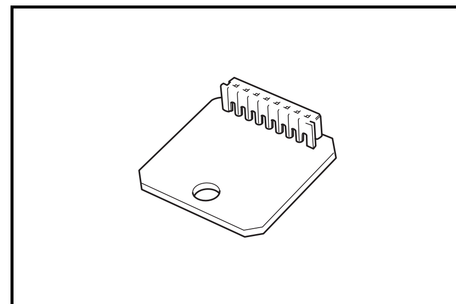


増設メモリ

プリンタ用にメモリを増設することができます。メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。増設できるメモリは 128 MB、256 MB、512 MB です。



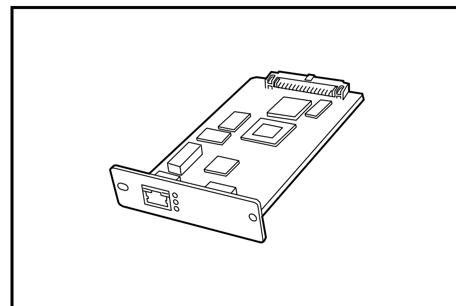
セキュリティキット



本機は、読み込んだ原稿を一時的にハードディスク内にデータとして保存し、そのデータを出力します。出力が終わったデータは本機からは認識されなくなりますが、ハードディスクの記録領域にはデータが存在し、別のデータがその記録領域に上書きされるまで残ります。そのため、特殊なツールで直接記録領域を読み取られると、データを復元されてしまうおそれがあります。

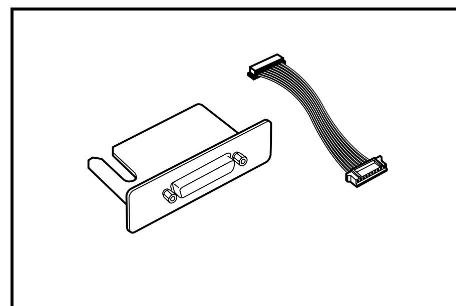
セキュリティキットは、これを防ぐために不要になったデータに上書き処理を行い、データの記録領域をすべて書き換えて、復元できないようにします。

ネットワークインタフェースカード



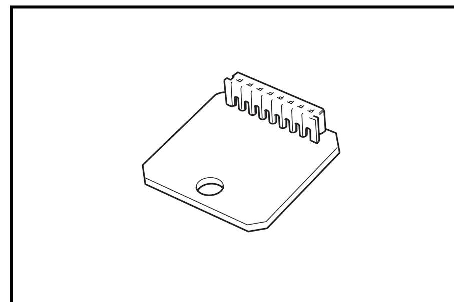
ネットワークインタフェースカードは、本体標準のネットワークインタフェース同様、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、EtherTalk プロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

シリアルインタフェース



シリアルポートをプリンタのインタフェースに使用する場合に装着します。RS-232C のシリアルインタフェースをサポートしています。

PDF アップグレードキット



スキャナで原稿を読み込んで PDF ファイルで保存する際に、高圧縮 PDF の作成と PDF の暗号化ができるようになります。

PDF ファイルの暗号化では、パスワードにより使用権限を細かく設定することができます。

5　日常のメンテナンス

この章では、本機の清掃とトナーコンテナの交換方法について説明します。

清掃

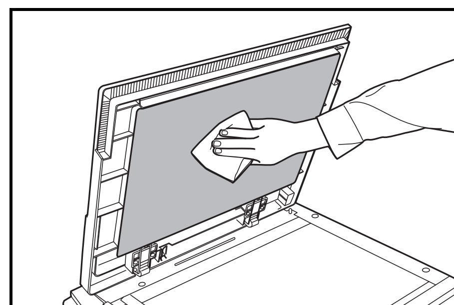
最適な印刷品質を保つために、定期的に本機を清掃してください。

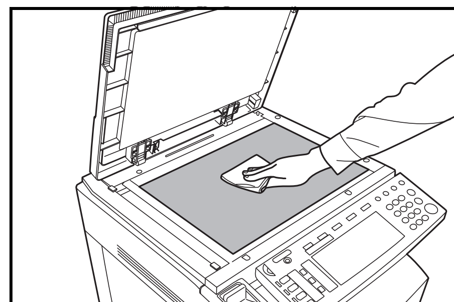
注意：本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

原稿押さえとコンタクトガラス

原稿押さえを開けて、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿押さえのうら面とコンタクトガラスを拭いてください。

注意：シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。

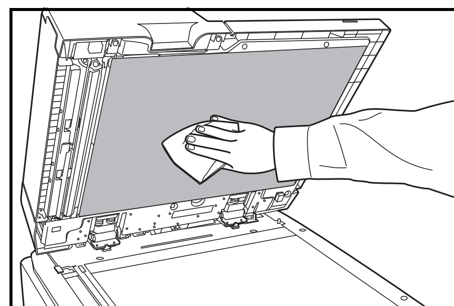


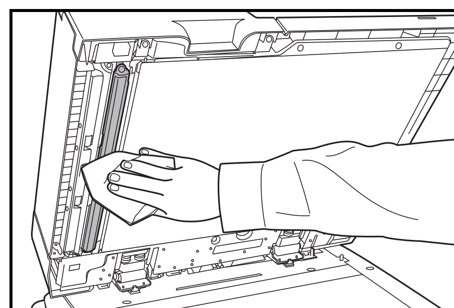


原稿送り装置（オプション）

原稿送り装置を開けて、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿送り装置のうら面と白いローラ部分を拭いてください。

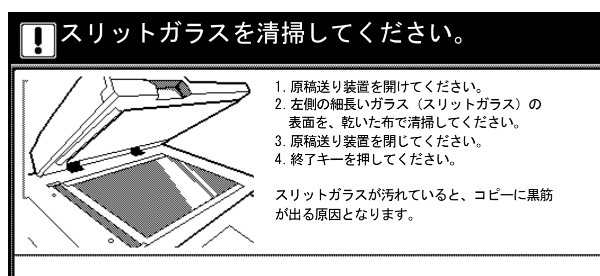
注意：シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。





スリットガラス

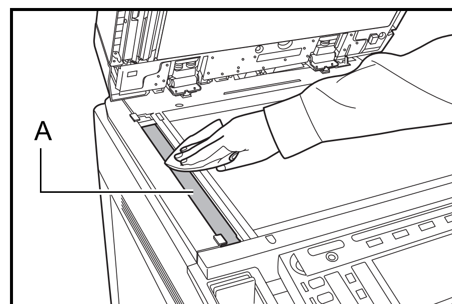
オプションの原稿送り装置使用時に、コピーに黒すじなどの汚れが写る場合は、付属の清掃用布でスリットガラスを清掃してください。スリットガラスの清掃が必要になったら**「スリットガラスを清掃してください。」**が表示される場合があります。清掃後は［**終了**］キーを押してください。



注意：スリットガラスは軽く乾拭きしてください。糊やインクなどが付いている場合はアルコールを含ませた布で軽く拭いてください。水、シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。

1 清掃用布ケースから清掃用布を取り出してください。

2 原稿送り装置を開けて、スリットガラス（A）を拭いてください。



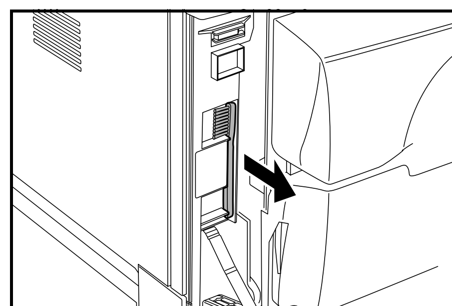
セパレータ部

出力用紙にしわが出るときは、セパレータ部を清掃してください。

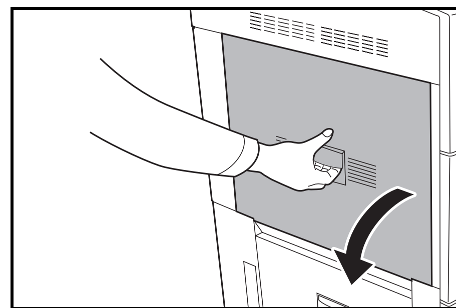
1 前カバーを開けてください。



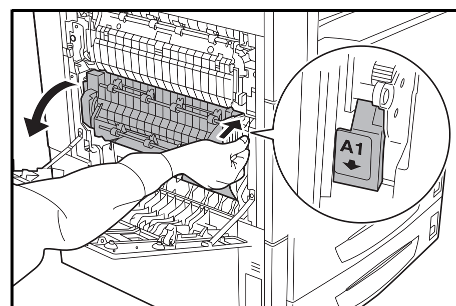
2 清掃ブラシを取り外してください。



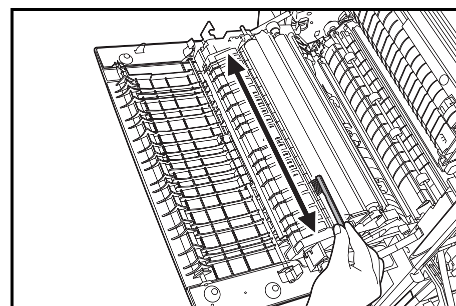
3 左カバー 1 を開けてください。



4 両面ユニット A1 を開けてください。



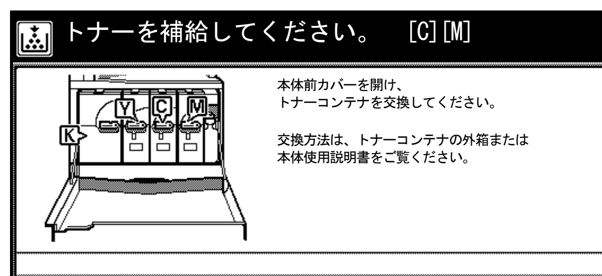
5 図のようにブラシをセパレータ部に沿って左右に動かし、セパレータ部の汚れを取り除いてください。



6 両面ユニット A1、左カバーを閉じてください。

7 清掃ブラシを元の位置に戻して、前カバーを閉めてください。

トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換



本機はシアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y)、ブラック（K）の4種類のトナーを使用しています。タッチパネルに**「トナーを補給してください。[C]、[M]、[Y]、[K]」**が表示されたときは、表示された色のトナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されたら、すぐにトナーコンテナを交換してください。また、トナーコンテナの交換時は、合わせて廃棄トナーボックスも交換してください。

トナーコンテナの交換は、メッセージが表示されたときのみ行ってください。

参考：**［トナー補給］**キーを押すと、タッチパネル上に交換手順の説明が表示されます。

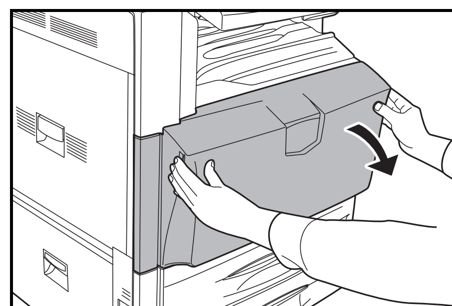
ここでは例としてブラックのトナーを交換します。

注意：トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

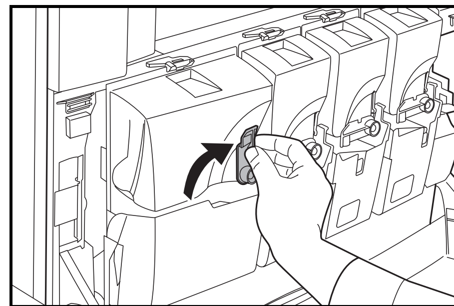
注意：トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

参考：本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

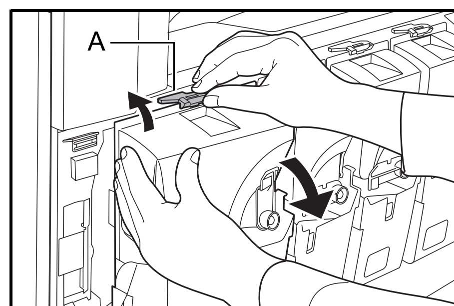
1 前カバーを開けてください。



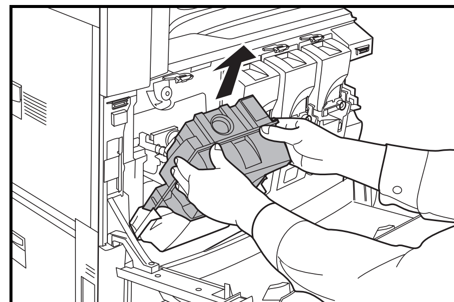
2 トナーコンテナロックレバーを回して縦にしてください。



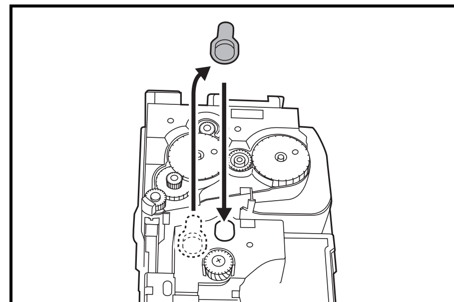
3 トナーコンテナ上部のクリップ（A）を押し上げて、トナーコンテナを手前に倒してください。



4 トナーコンテナを上に引き出してください。



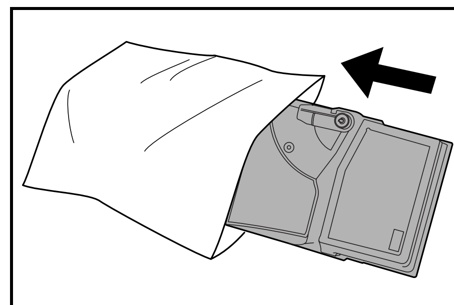
5 古いトナーコンテナのうら側に付いているキャップで回収口をふさいでください。



注意：トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

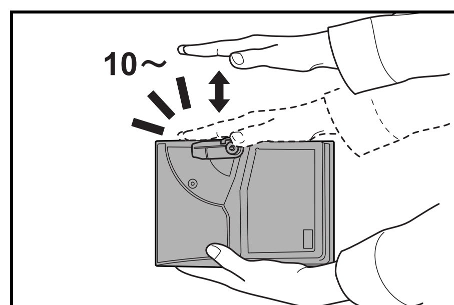
注意：トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

6 古いトナーコンテナを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。



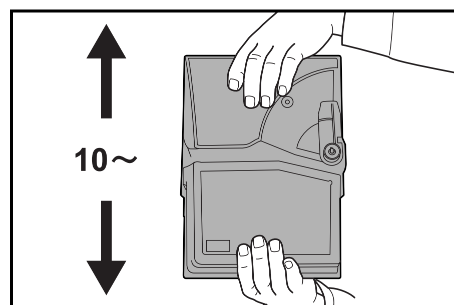
7 新しいトナーコンテナを箱から取り出してください。

8 トナーコンテナロックレバーが上側になるようにトナーコンテナを持ち、水平にして、上の側面を 10 回以上叩いてください。

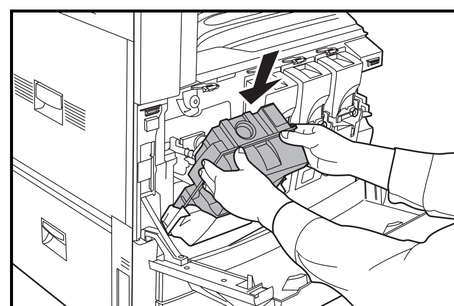


9 トナーコンテナを両手に持ち、縦にして上下に 10 回以上強く振ってください。

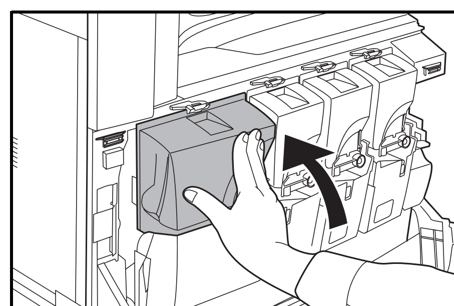
注意：トナーコンテナを十分に振らずに機械にセットした場合は、トナー補給不足によりエラーが発生することがあります。



10 新しいトナーコンテナをセットしてください。

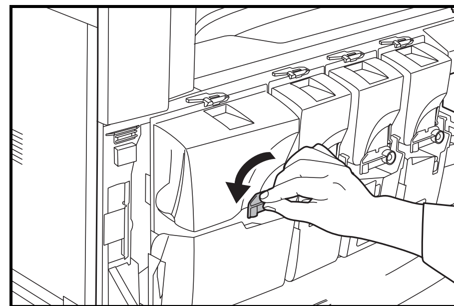


11 トナーコンテナ上部を押し込んでください。正しい位置にセットされるとカチッと音がしてロックされます。



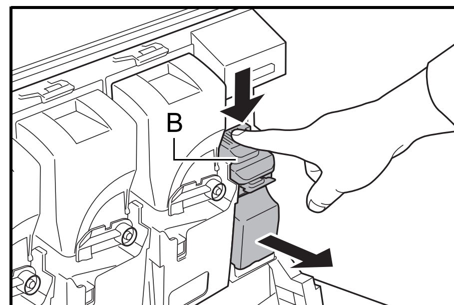
12 トナーコンテナロックレバーを回して、元の位置に戻してください。

他の色のトナーも、同様の手順で交換してください。

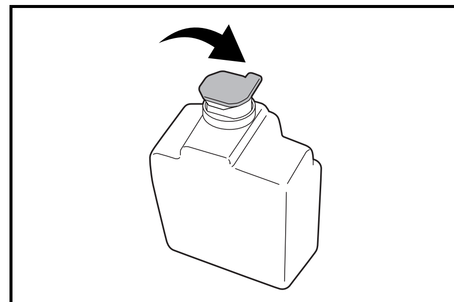


13 廃棄トナーボックスの解除レバー（B）を押して、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り出してください。

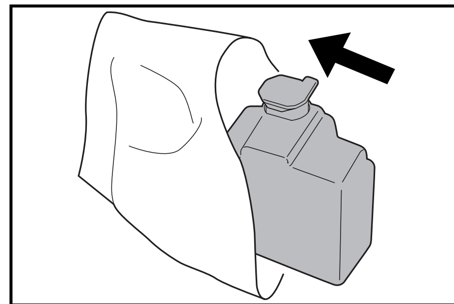
参考：取り出した古い廃棄トナーボックスは、逆さまにしないでください。



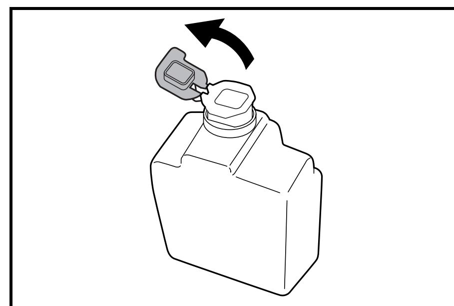
14 古い廃棄トナーボックスに、イラストのようにキャップをしてください。



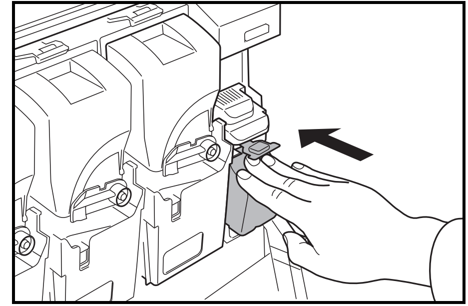
15 古い廃棄トナーボックスを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。



16 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けてください。



17 新しい廃棄トナーボックスをセットしてください。



18 前カバーを閉めてください。

使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

6　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

トラブルが発生した場合

次の表は一般的なトラブルが発生したときの対処方法をまとめたものです。

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べください。それでも直らない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチを ON（｜）にしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
［スタート］キーを押してもコピーが排出されない。	タッチパネルにメッセージが表示されていませんか。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	6-5 ページ
原稿サイズが正しく検知されない。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	2-18 ページ
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	2-20 ページ
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
白紙が排出される。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	2-18 ページ
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	2-20 ページ
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
印刷がうすい。	手動濃度モードですか。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	3-6 ページ
	トナーコンテナのかくはんは十分ですか。	トナーコンテナを 10 回程度上下に振ってください。	5-5 ページ
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーコンテナを交換してください。	5-5 ページ
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	2-2 ページ
印刷がこい。	手動濃度モードですか。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	3-6 ページ
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。	原稿は印刷された写真ですか。	画質を［**印刷写真**］にしてください。	3-5 ページ
印刷が鮮明でない。	原稿の種類に合った画質を選択していますか。	適切な画質を選択してください。	3-5 ページ
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	2-2 ページ
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください。	—
印刷が汚れる。	原稿押さえやコンタクトガラスが汚れていませんか。	原稿押さえやコンタクトガラスを清掃してください。	5-2 ページ

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
印刷がぼける。	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	2-2 ページ
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください。	—
印刷がずれる。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	2-18 ページ
		原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	2-20 ページ
	用紙が正しくセットされていますか。	カセットの横ガイドの位置を確認してください。	2-2 ページ
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットし直してください。	2-2 ページ
	用紙の種類や保管状態。	用紙を一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	2-2 ページ
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	2-2 ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか。	つまった用紙を取り除いてください。	6-16 ページ
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	2-2 ページ
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください。	—
オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒いすじが写る。	スリットガラスが汚れていませんか。	スリットガラスを清掃してください。	5-2 ページ
印刷にしわがでる。	セパレータ部が汚れていませんか。	セパレータ部の清掃を行ってください。	5-3 ページ
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	2-2 ページ
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください	—
	用紙のセット方向は正しいですか。	用紙のセット方向を変更してください。	2-2 ページ
印刷できない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
	本体側に電源が入っていますか。	メインスイッチを ON（｜）にしてください。	—
	プリンタケーブルが接続されていますか。	正しいプリンタケーブルを確実に接続してください。	2-22 ページ
	プリンタケーブルを接続時に本体の電源が入っていませんでしたか。	プリンタケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。	2-22 ページ
	オフライン状態になっていませんか。	**［プリンタ］**キーを押し、**［印刷可／解除］**キーを押してオンライン状態にしてください。	—

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
正しい文字がでない。	プリンタケーブルが接続されていますか。	正しいプリンタケーブルを確実に接続してください。	2-22 ページ
	コンピュータ側で正しく設定されていますか。	プリンタドライバまたはアプリケーションソフト側の設定を確認してください。	—
正しく印刷されない。	コンピュータ側で正しく設定されていますか。	プリンタドライバまたはアプリケーションソフト側の設定を確認してください。	—

こんな表示が出たら

タッチパネルに次のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

コピーのエラーメッセージ

コピーモードのタッチパネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
○○カバーを閉じてください。	表示されているカバーが開いていませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
カバーを確認してください。	開いているカバーがありませんか。 メッセージに開いているカバーの指示がありませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
原稿送り装置を閉じてください。	原稿をセットした状態で、原稿送り装置（オプション）が開いていませんか。	原稿送り装置（オプション）を閉じてください。	—
原稿送り装置カバーを閉じてください。	原稿送り装置（オプション）の原稿送り装置カバーが開いていませんか。	原稿送り装置カバーを確実に閉めてください。	6-29 ページ
カセット○をセットしてください。	表示されているカセットがしっかりセットされていますか。	カセットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	—
カセット○を引き出して、機械内部の用紙を確認してください。	—	表示されているカセットを引き出して完全に取り外し、内部の用紙を取り除いてください。	—
給紙ユニットをセットしてください。	給紙ユニットがしっかりセットされていますか。	給紙ユニットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	6-21 ページ
用紙補給してください。カセット○	表示されているカセットの用紙がなくなっていませんか。	用紙を補充してください。別のカセットに同じサイズ、同じ向きの用紙がセットされている場合は、タッチパネル左側の用紙選択キーでそのカセットを選択すると、カセットを変更してコピーを再開することができます。	—
手差しに用紙を補給してください。○○用紙	手差しに設定されたサイズの用紙がセットされていますか。	手差しに設定されたサイズの用紙をセットしてください。	2-6 ページ
手差しに用紙がありません。 用紙を補給してください。	手差しの用紙がなくなっていませんか。	手差しに用紙を補充してください。	2-6 ページ
手差しに OHP フィルムをセットしてください。	手差しに OHP フィルムがセットされていますか。	手差しに OHP フィルムをセットしてください。	2-6 ページ
手差しのサイズを変更してください。	設定されたサイズの用紙が、手差しに設定されていますか。	手差しのサイズを設定しなおしてください。	2-11 ページ
適当な用紙がありません。	設定されたサイズの用紙がセットされていますか。	使用可能なサイズの用紙をセットしてください。	—
原稿の向きが違います。	選択した用紙の方向が原稿の向きと合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。そのまま［**スタート**］キーを押すと等倍でコピーします。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
設定用紙サイズと実際の用紙サイズが異なっています。 **確認してください。**	設定されている用紙がセットされていますか。また設定は正しいですか。	設定されている用紙をセットしてください。また設定が間違っている場合は設定を変更してください。	—
原稿と用紙の向きが違います。	選択した用紙の方向と原稿の向きが合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。	—
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
原稿をもう一度セットし直してください。	—	原稿送り装置（オプション）から原稿を取り出し、そろえてからセットし直してください。	2-18 ページ
原稿をもう一度初めからセットしてください。	—	原稿送り装置（オプション）から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットし直してください。	2-18 ページ
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置（オプション）に原稿が残っていませんか。	原稿送り装置（オプション）の原稿を取り除いてください。	—
この用紙種はコピーできません。	設定されているコピー機能で使用できない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
この用紙種はステープルできません。	ステープルできない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
この用紙種はパンチできません。	パンチできない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
このサイズはステープルできません。	ステープルできない用紙サイズをセットしていませんか。詳細はドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。	用紙サイズを変更してください。	—
このサイズはパンチできません。	パンチできない用紙サイズをセットしていませんか。詳細は 3000 枚ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。	用紙サイズを変更してください。	—
ステープルできません。___ 枚：最大ステープル枚数	表示されている最大ステープル枚数を超えていませんか。詳細はドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。	ステープルする枚数を減らして、最大ステープル枚数以下にしてください。	—
上トレイ用紙オーバーです。 **用紙を取り除き、スタートキーを押してください。**	コピー中に、排紙トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	排紙トレイから用紙を取り出して、［**スタート**］キーを押してください。出力を再開します。	—
上トレイ用紙オーバーです。 **用紙を取り除き、継続キーを押してください。**	プリンタ出力中に、排紙トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	排紙トレイから用紙を取り出して、［**継続**］キーを押してください。出力を再開します。	—
フィニッシャ用紙オーバーです。（トレイ○） **用紙を取り除き、スタートキーを押してください。**	コピー中に、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出して、［**スタート**］キーを押してください。出力を再開します。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
フィニッシャ用紙オーバーです。（トレイ〇） **用紙を取り除き、継続キーを押してください。**	プリンタ出力中に、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出して、［**継続**］キーを押してください。出力を再開します。	—
用紙を取り除いてください。フィニッシャトレイ	ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出してください。	—
選ばれたモードは設定できません。	同時に設定できない機能を選択していませんか。	設定を確認してください。	—
キーカウンタをセットしてください。	キーカウンタが正しくセットされていますか。	キーカウンタを奥まで確実にセットしてください。	—
キーカードをセットしてください。	キーカードが正しくセットされていますか。	キーカードを奥まで確実にセットしてください。	
メモリオーバーです。	—	コピーの空きメモリが無くなったか、または原稿制限枚数 999 ページに達したため、現在のコピーを処理できません。次のメッセージが表示されますので、処理方法を選択してください。 ［**作業中止**］：コピーをキャンセルします。 ［**継続**］：読み込みが終了しているページまでをコピーします。	—
トナーが残り少なくなりました。［C］、［M］、［Y］、［K］	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。表示されている色のトナーコンテナを準備してください。	5-5 ページ
コピーできます。 **トナーを補給してください。［C］、［M］、［Y］、［K］**	—	機内のトナーが残り少なくなったので、1 枚ずつの印刷しかできません。交換するトナーコンテナを準備してください。	5-5 ページ
トナーを補給してください。［C］、［M］、［Y］、［K］	—	表示されている色のトナーコンテナを交換してください。	5-5 ページ
トナー補給中です。	—	トナーを補給中です。しばらくお待ちください。	—
しばらくお待ちください。 **定着温度調整中です。**	—	内部の調整を行っています。しばらくお待ちください。	—
廃棄トナーボックスを確認してください。	廃棄トナーボックスがしっかりセットされていますか。	廃棄トナーボックスを確実にセットしてください。	5-5 ページ
廃棄トナーボックスを交換してください。	—	廃棄トナーボックスを交換してください。	5-5 ページ
スリットガラスを清掃してください。	—	付属の清掃用布でスリットガラスを乾拭きしてください。	5-3 ページ
パンチくずボックスをセットしてください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のパンチくずボックスがしっかりセットされていますか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、パンチくずボックスを確実にセットしてください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
パンチくずを捨ててください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のパンチくずボックスがいっぱいになっていませんか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、パンチくずボックス内のパンチくずを取り除いてください。	—
ステープルの針がありません。 針をセットしてください。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の針が無くなっていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、針ケースを交換してください。	—
定期点検の時期です。 定期点検間近です。	—	本機を良好に保つために定期点検が必要です。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
紙づまりです。	—	紙づまりが発生した場合には、紙づまり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。メインスイッチは ON（｜）のまま手順にしたがい、取り除いてください。	6-16 ページ
フィニッシャ内部トレイの用紙を取り除いてください。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイに用紙が残っていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイの用紙をすべて取り除いてください。	—
中折りユニットの用紙を取り除いてください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の中折りユニットに用紙が残っていませんか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、中折りユニット（排出部）の用紙をすべて取り除いてください。	—
ステープル針づまりです。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）でステープルの針がつまっていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、つまった針を取り除いてください。	—
エラーが発生しました。 サービス担当者に連絡してください。	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	表示されている C と数字を書きとめてください。メインスイッチを OFF（○）にして電源コードを抜き、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
このカセットは使用できません。 他のカセットを選んでください。	—	使用しているカセットは故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行うときは、他のカセットを使用してください。	—
システムエラーです。 主電源を OFF/ON してください。	—	システムエラーが発生しています。メインスイッチをいったん OFF にし、再度 ON にしてください。	—
HDD エラーです。 部門管理を設定できません。	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	ハードディスクでエラーが発生しています。サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
しばらくお待ちください。 **リモート編集中です。**	ネットワークに接続されたコンピュータから部門管理の編集を行っていませんか。	編集を行っている間はコピーできません。	—
KMAS を確認してください。	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	KMAS ユニットを確認し、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
セキュリティキーが抜けているため使用できません。	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—

プリンタのエラーメッセージ

［**プリンタ**］キーを押して、プリンタモードのタッチパネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
用紙を補給してください。 **○○用紙（○○○）**	印刷データと給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致していますか。	給紙元にセットされている用紙を入れ替えてください。 給紙元を変更するときは、タッチパネルで給紙元を選択し、［**印刷可／解除**］キーを押してください。 セットされている用紙で印刷するときは、［**プリンタ**］キーを押し、［**印刷可／解除**］キーを押してください。 印刷をキャンセルするときは、［**プリンタ**］キーを押し、［**キャンセル**］キーを押してください。	2-2 ページ
代用給紙します。 **解除を押してください。**	—	給紙元を変更したときに表示されます。［**印刷可／解除**］キーを押してください。	—
手差しに用紙を入れて解除を押してください。	—	用紙を複数枚セットしていても 1 枚ずつ給紙できるモードです。1 枚給紙するごとに［**印刷可／解除**］キーを押してください。	—
用紙を補給してください。	用紙がなくなっていませんか。	新しい用紙を補充してください。	2-2 ページ
ステープルの針がありません。 **針をセットしてください。**	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の針が無くなっていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、針ケースを交換してください。	—
サービス担当者に電話してください。	—	機械内部で異常が発生しています。サービス担当者またはサービス実施店までご連絡ください。	—
この部門コードは登録されていません。	—	部門コードが一致しません。ドライバで登録した部門コードを確認してください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
エラーが発生しています。プリンタ画面に切替え確認してください	—	プリンタモード以外の表示になっている時に、プリンタエラーが発生すると表示されます。[プリンタ] キーを押してプリンタ画面にすると、具体的なエラーメッセージが表示されます。	—
オプションインタフェースエラー コード：##	オプションインタフェースを装着するスロットが間違っていませんか。	メインスイッチを OFF にして正しいスロットに装着してください。	—
ファイルエラー／解除を押してください。	—	ファイルエラーです。[印刷可／解除] キーを押してください。	—
メモリ不足のため印刷が簡素化されました。	—	メモリ不足のため現在設定されている解像度では印刷できません。プリンタにメモリを増設するか解像度を変更してください。	—
プリントオーバーラン／解除を押してください。	—	メモリ不足のため、オーバーランが発生しました。 [プリンタ] キーを押し、プリンタモードにしてください。 [印刷可／解除] キーを押すと印刷を継続します。 [キャンセル] キーを押すと印刷をキャンセルします。 自動継続時の復帰時間を設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。このエラーメッセージが表示された後、ページ保護モードが自動的に [On] になります。	—
メモリオーバーフロー／解除を押してください。	—	プリンタの空きメモリが無くなったため、現在の印刷を処理できません。 [プリンタ] キーを押し、プリンタモードにしてください。 [印刷可／解除] キーを押すと、印刷を継続します。処理されているところまでを出力し、残りを次のページに印刷します。 [キャンセル] キーを押すと印刷をキャンセルします。 RAM ディスク機能を使用している場合は RAM ディスクのサイズを下げてください。頻繁に発生する場合は、プリンタのメモリを増設することをお勧めいたします。プリンタのメモリ増設については、サービス担当者またはサービス実施店にご相談ください。自動継続時の復帰時間を設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
インタフェース使用中です。	選択したインタフェースは現在使用中ですか。	しばらく待って再度操作を行ってください。	—
オプション ROM エラー／解除を押してください。	—	オプション ROM の読み込みでエラーが発生しています。[**プリンタ**] キーを押し、プリンタモードにしてから [**印刷可／解除**] キーを押してください。エラーが解除されます。	—
パンチくずボックスを確認してください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のパンチくずボックスがしっかりセットされていますか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、パンチくずボックスを確実にセットしてください。	—

スキャナのエラーメッセージ

[**スキャナ**] キーを押して、スキャンモードのタッチパネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
スキャナが使用できません。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルを正しく接続してください。スキャナの起動直後すぐであれば、しばらく（約 2 分）待ってから使用してください。	—
すでに同じ名称が登録されています。 **再度名称を入力してください。**	—	登録名称を変更して再度登録してください。	—
同じ番号が使用されています。再度番号を入力してください。	—	登録番号を変更して再度登録してください。	—
登録件数がいっぱいです。これ以上登録できません。	—	不要な登録を削除してから新規登録してください。	—
E-Mail 送信サイズの制限を超えました。	—	送信枚数を減らすか、解像度を落して再度送信してください。	—
入力番号は登録されていません。再度番号を入力してください。	—	該当する番号がありません。 もう一度、番号を確かめてから選択してください。	—
SMTP サーバが見つかりません。管理者に連絡してください。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルが正しく接続してください。スキャナの起動直後であれば、しばらく（約 2 分）待ってから使用してください。	2-22 ページ
	SMTP サーバが正しく起動していますか。	システム管理者等に確認してください。	—
SMTP 認証エラーが発生しました。 **管理者に連絡してください。**	SMTP 認証で使用するログインアカウント名とパスワードが、正しく設定されていますか。	システム管理者等に確認してください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
個人アドレス帳 PC が見つかりません。 **PC を確認してください。**	アドレス帳 for Scanner がコンピュータ上で起動していますか。	アドレス帳 for Scanner を起動してください。	—
	使用中のコンピュータがネットワークに正しく接続されていますか。	コンピュータをネットワークに正しく接続してください。	—
	スキャナネットワークインタフェースにネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	スキャナネットワークインタフェースにネットワークケーブルを正しく接続してください。	2-22 ページ
ネットワークスキャナでシステムエラーが発生しました。	—	本体を再度、立ち上げてください。	—
通信エラーが発生しました。	PC 送信の場合： 送信先のコンピュータの状態。	再度送信してください。	—
	E-Mail 送信の場合： SMTP サーバが正しく起動していますか。	システム管理者に確認してください。	—
	データベース連携の場合： 保存先のコンピュータの状態。	DB Assistant からサポート外の応答を受信しました。DB Assistant がインストールされているコンピュータを確認してください。	—
送信先 PC でエラーが発生しました。	送信先のコンピュータの状態。	再度送信してください。	—
ファイルが保存できませんでした。 **送信先 PC を確認してください。**	送信先 PC の Scanner File Utility で設定したハードディスクの制限容量を超えていませんか。	空き容量を増やしてから、再度送信してください。	—
	複数のスキャナから同時に同じファイル名で送信していませんか。	しばらく待ってから再度送信するか、ファイル名を変更してください。	—
送信先 PC が使用中です。しばらくしてからやり直してください。	—	送信先 PC とスキャナが接続中です。しばらくしてから再度送信してください。	—
個人アドレス帳 PC のバージョンが異なります。 **管理者に連絡してください。**	アドレス帳 for Scanner のバージョンが異なりませんか。	システム管理者等に確認してください。	—
個人アドレス帳 PC が使用中です。 **しばらくしてからやり直してください。**	—	指定のアドレス帳 for Scanner とスキャナが接続中です。しばらくしてから、再度選択してください。	—
送信元（ユーザ）が登録されていません。 **管理者に連絡してください。**	本スキャナ、送信元（ユーザ）リストの、ユーザ番号 001 に送信元（ユーザ）が登録されていますか。	ユーザ番号 001 に新規登録するか、スキャナ初期設定の［**送信元（ユーザ）選択の省略**］の設定を［**設定なし**］にしてから、別の送信元（ユーザ）を選択してください。	2-35 ページ
送り先が登録されていません。	指定の送り先が登録されていますか。	新規登録するか、別の送り先を選択してください。	—
パスワードが違います。	—	正しいパスワードを入力してください。	—
ドメイン名、ホスト名を確認してください。	スキャナのドメイン名、ホスト名が設定されていません。	ドメイン名、ホスト名を設定しているか確認してください。	2-33 ページ

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
原稿枚数オーバーです。 読み取り終了分まで送信しました。	1 度に送信できる原稿制限枚数 999 ページに達しました。	超過分は分けて送信してください。 両面、ブック原稿などの設定によっては、998 ページで送信する場合があります。	—
DB Assistant PC を確認してください。 管理者に連絡してください。	—	DB Assistant が認識できません。DB Assistant がインストールされている PC で DB Assistant が正しく起動しているか確認してください。	—
DB Assistant のバージョンが異なります。 管理者に連絡してください。	DB Assistant のバージョンが異なりませんか。	システム管理者等に確認してください。	—
DB Assistant PC でエラーが発生しました。 管理者に連絡してください。	—	DB Assistant または、DB Assistant がインストールされている PC でエラーが発生したため通信を継続できません。DB Assistant がインストールされている PC を確認してください。	—
DB Assistant PC が使用中です。 しばらくしてからやり直してください。	—	DB Assistant とその他のスキャナが接続中です。しばらくしてから再度接続してください。	—
FTP サーバが見つかりません。 管理者に連絡してください。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルを正しく接続してください。	2-22 ページ
	FTP サーバが正しく起動していますか。	サーバ管理者等に確認してください。	—
FTP サーバにログインできません。	—	FTP サーバへのログインに失敗しました。ユーザ名、パスワードが正しく設定されているか確認してください。	2-36 ページ
保存しようとしたパスが存在しません。	—	保存先フォルダが無い、または保存先フォルダへのパスが間違っています。FTP サーバ内の保存先フォルダと本機で登録しているパスの設定があっているか確認してください。	2-36 ページ
FTP サーバでエラーが発生しました。 管理者に連絡してください。	—	FTP サーバから予期せぬ応答があり保存できませんでした。ログインしているユーザアカウントの書き込みが許可されているかなど、サーバ管理者等に確認してください。	—
POP3 サーバが見つかりません。 管理者に連絡してください。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルを正しく接続してください。	2-22 ページ
	POP3 サーバが起動していますか。	POP3 サーバを起動してください。	—

スキャナのエラーコード

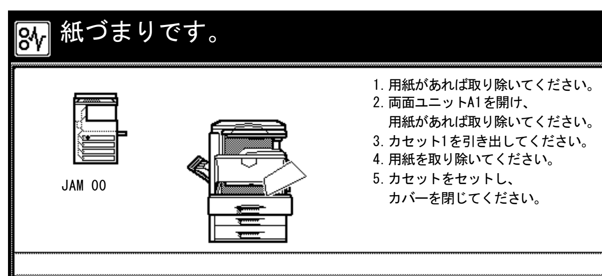
スキャナの送信履歴に表示されるエラーコードとその処置方法は次のとおりです。

エラーコード	詳細内容	処理方法	参照ページ
E001	送信中にユーザがキャンセルを行った。	—	—
E010	データ送信中に送信先 PC が認識できなくなった（E011 以後のエラーで分類できないエラーが発生している）。または、アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動している PC が認識できなくなった。	・ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。 ・送信先 PC が正常に起動しているか確認してください。	2-22 ページ
E011	画像データの送信でデータ自体に問題があり送信が中止された。	再度操作をやり直してください。	—
E012	本体が画像送信時にアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）のデータにアクセスした際、回線異常が発生したためにアクセスできなかった。	アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動している PC が正常に接続されているかを確認してください。	—
E020	スキャナ本体が E-Mail 送信を開始する際に、SMTP サーバが認識できなくなった。	ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。その他の場合は SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。	2-22 ページ
E022	SMTP サーバが認識できない E-Mail アドレスが含まれている。	E-Mail 送信先のアドレスが正しく入力されているか確認してください。	—
E023	SMTP サーバが正しく動作していない。	SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。	—
E030	送信先 PC が認識できなくなった。 Scanner File Utility が起動していない、またはすでに他のスキャナと接続している。	・送信先 PC で Scanner File Utility が正しく起動しているか、または別のスキャナと接続していないか確認してください。 ・ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。	2-22 ページ
E031	スキャナ本体が画像送信を開始する際に、設定されているパスワードが送信先 PC と一致しなかった。	送信先 PC のパスワードを確認してください。	—
E032	PC 送信時に送信先 PC のハードディスクが制限容量を越えた。	送信先 PC で使用しているハードディスクの空き容量を増やしてから、再度送信してください。	—
E033	Scanner File Utility のバージョンが異なっている。	Scanner File Utility のバージョンを確認してください。	—
E034	Scanner File Utility が他のスキャナと接続中のため、送信できなかった。	他のスキャナとの接続が解除された後、PC 送信を開始してください。	—
E035	グループ送信時に Scanner File Utility のフォルダ番号が一致しなかった。送信操作中に設定が変更された。	Scanner File Utility の設定を確認してください。	—

エラーコード	詳細内容	処理方法	参照ページ
E036	読み込んだ画像データを圧縮する際、圧縮後のデータがメモリ容量をオーバーした。	次の処理を行ってデータ容量を減らし、もう一度送信してください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ 画質を OCR に設定してください。 ・ 一度に読み込む原稿枚数を減らしてください。	—
E039	PC 送信中に PC から受信したコマンドが正常なコマンドでない。送信先 PC に予期しないトラブルが発生している。	・ 送信先 PC の Scanner File Utility が正常に起動しているかを確認してください。 ・ 送信先 PC に Scanner File Utility 以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。 ・ 送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。	—
E059	PC から受信したコマンドが正常なコマンドでない。アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動している PC でトラブルが発生している。	・ 送信先 PC のアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）が正常に起動しているか確認してください。 ・ 送信先 PC にアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。 ・ 送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。	—
E061	E-Mail 送信、PC 送信で送信先にグループを選択していたときに、そのグループのメンバー（構成員）に何らかのトラブルが発生した。	グループのメンバー（構成員）の PC を確認し、トラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。	—
E080	ネットワークケーブルが正しく接続されていない。	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、FTP サーバが正しく起動しているか、サーバ管理者等に確認してください。	2-22 ページ
E081	FTP サーバへのログインに失敗した。	ユーザ名、パスワードが正しく設定されているか確認してください。	2-36 ページ
E082	保存先フォルダが無い、または保存先フォルダへのパスが間違っている。	FTP サーバ内の保存先フォルダと本機で登録しているパスの設定があっているか確認してください。	2-36 ページ
E083	FTP サーバから予期せぬ応答があり保存できない。	ログインしているユーザアカウントの書き込みが許可されているかなど、サーバ管理者等に確認してください。	—
E090	POP3 サーバが見つからない。	・ POP3 サーバが正常に起動しているか確認してください。 ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。	2-22 ページ
E101	送信先を複数選択しているときに、エラーが発生した。	個別のエラーを確認し、エラーを解消してください。	—

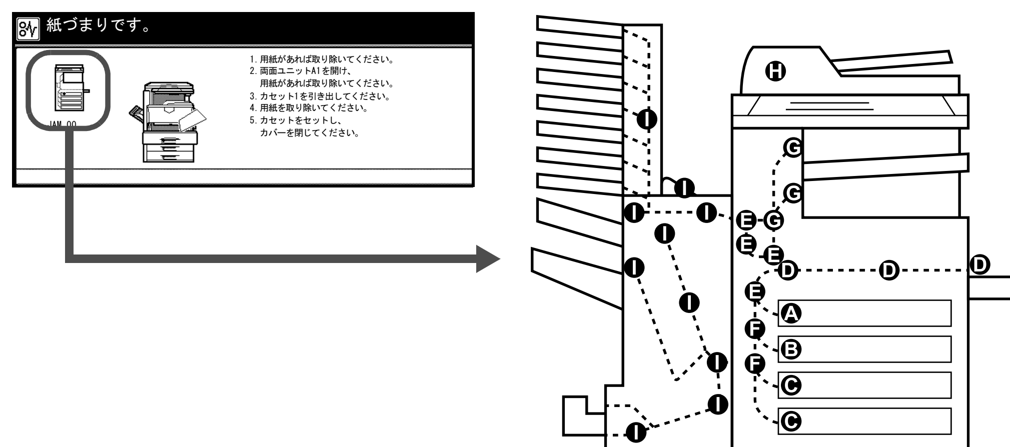
紙づまりが発生したら

紙づまりが発生した場合は、タッチパネルに**「紙づまりです。」**が表示され、コピーを停止します。以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除いてください。



紙づまり位置表示

紙づまりが発生すると、紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。紙づまり位置表示は、下図のように紙づまりが発生している位置を表します。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
A	カセット 1	6-17 ページ
B	カセット 2	6-19 ページ
C	カセット 3、4（オプション）	6-20 ページ
D	手差し	6-21 ページ
E	左カバー 1 内部	6-25 ページ
F	左カバー 2 内部	6-26 ページ
G	定着部	6-27 ページ
H	原稿送り装置（オプション）	6-29 ページ
I	ドキュメントフィニッシャ（オプション）	6-30 ページ

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットしなおされます。

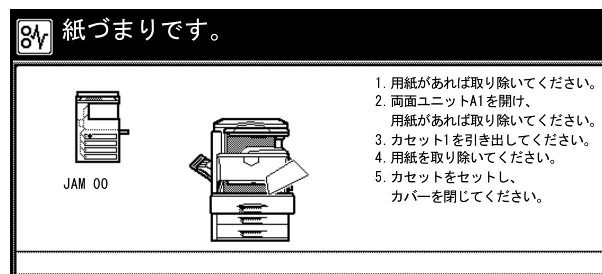
注意事項

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。
- ドキュメントフィニッシャ（オプション）または 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）でつまった用紙は再度出力されますので、ドキュメントフィニッシャのトレイに戻さないでください。

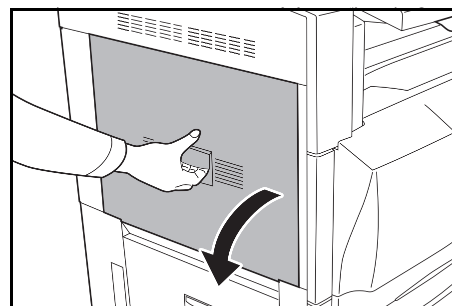
 **注意**：本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

カセット 1

カセット 1 で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

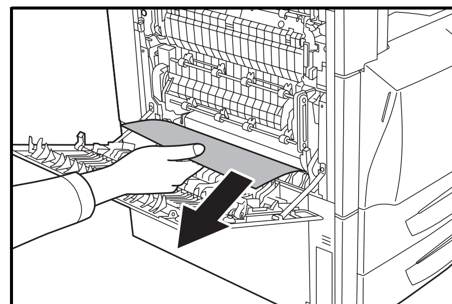


1 左カバー 1 を開けてください。

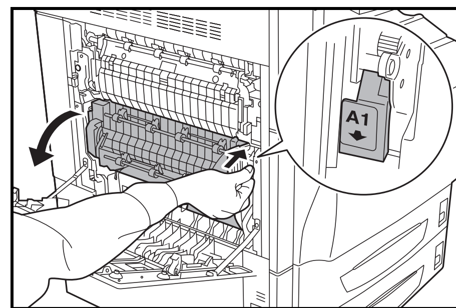


2 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

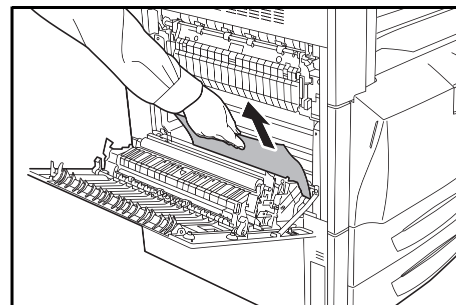


3　両面ユニット A1 を開けてください。

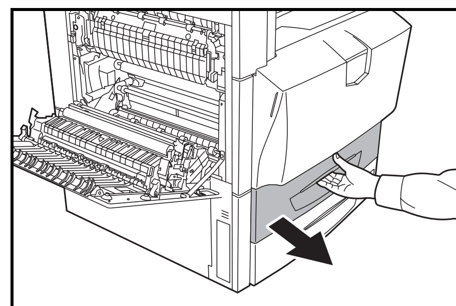


4　つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

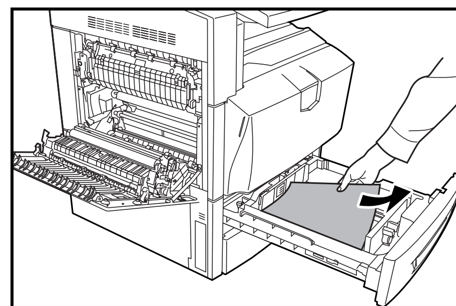


5　カセット 1 を引き出してください。



6　つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

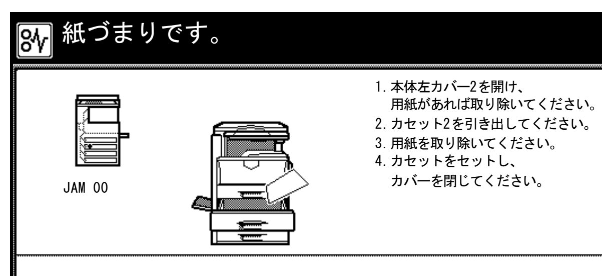


7　カセット 1 を元どおり、確実に押し込んでください。

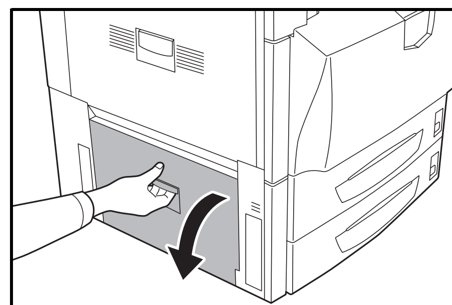
8　両面ユニット A1、左カバー 1 を閉めてください。

カセット 2

カセット 2 で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

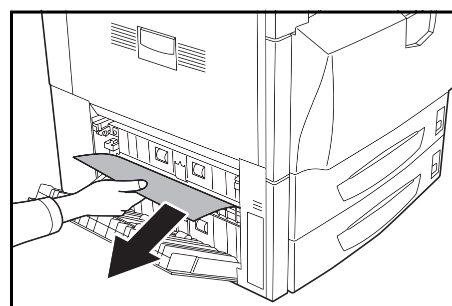


1 左カバー 2 を開けてください。

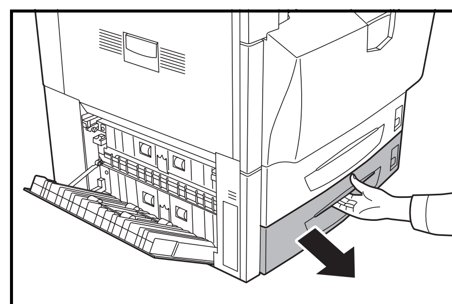


2 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

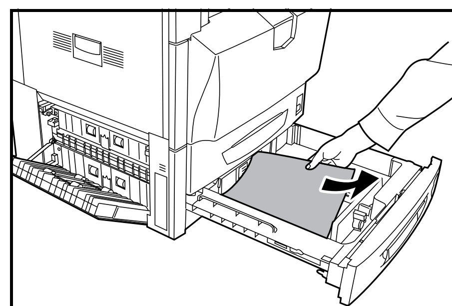


3 カセット 2 を引き出してください。



4 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

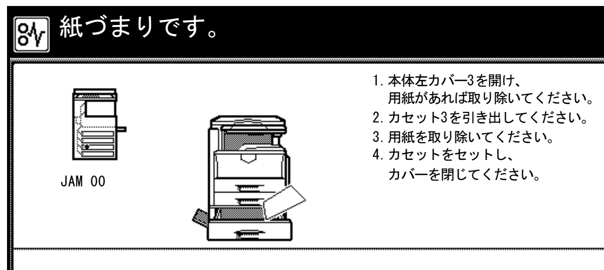


5 カセット 2 を元どおり、確実に押し込んでください。

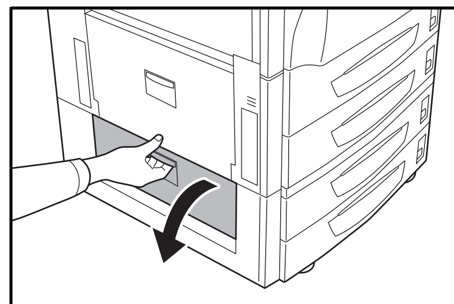
6　左カバー 2 を閉めてください。

カセット 3、4（オプション）

オプションのペーパーフィーダまたは 3000 枚ペーパーフィーダを使用している際に、カセット 3 または 4 で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

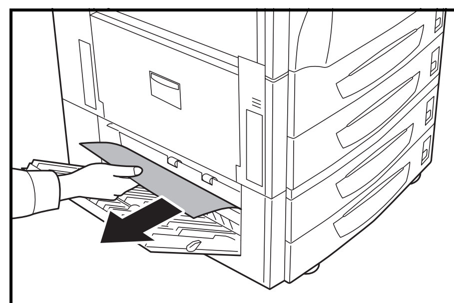


1　左カバー 3 を開けてください。

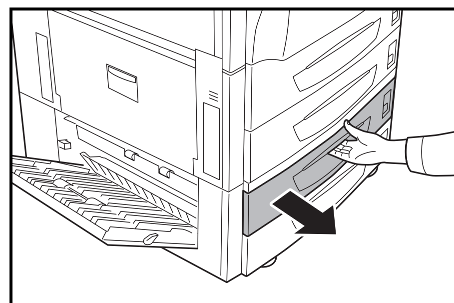


2　つまっている用紙があれば取り除いてください。

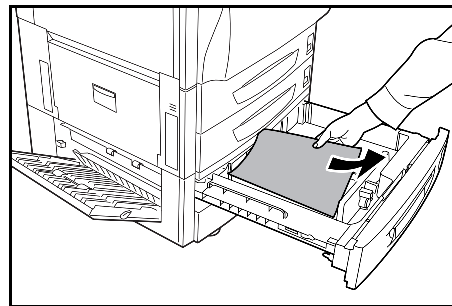
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



3　使用していたカセットを引き出してください。



4 つまっている用紙があれば取り除いてください。

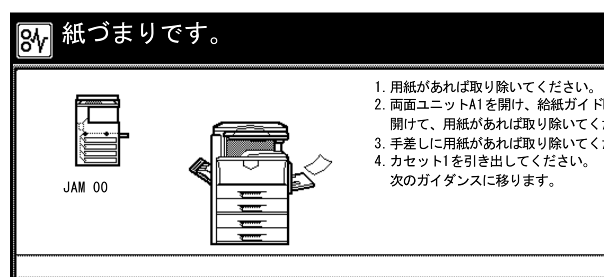


5 カセットを元どおり、確実に押し込んでください。

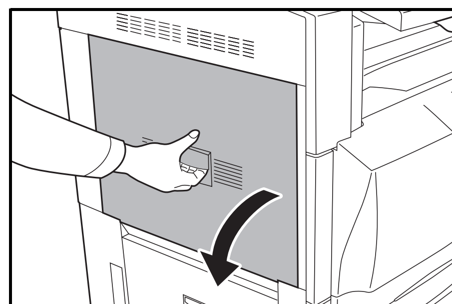
6 左カバー 3 を閉めてください。

手差し

手差しで紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

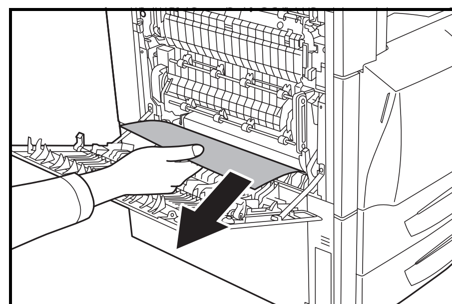


1 左カバー 1 を開けてください。

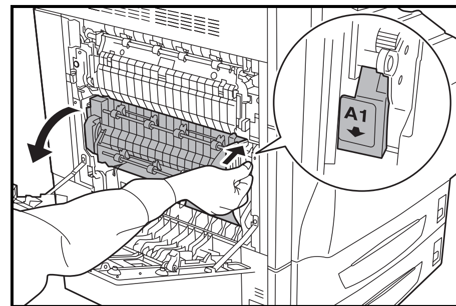


2 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

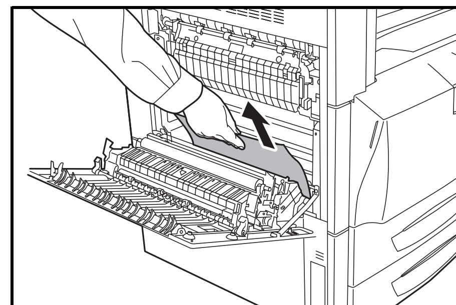


3 両面ユニット A1 を開けてください。

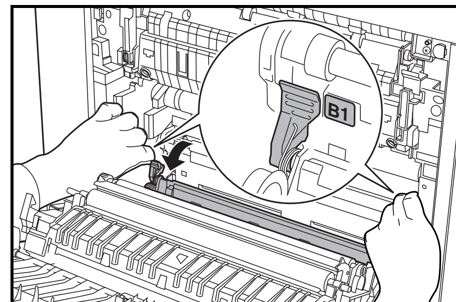


4 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



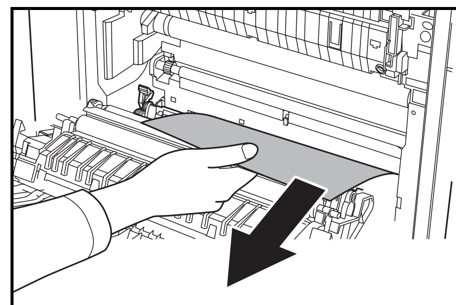
5 給紙ガイド B1 を開けてください。



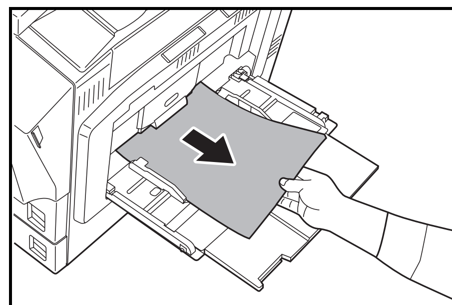
注意：本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

6 つまっている用紙があれば取り除いてください。

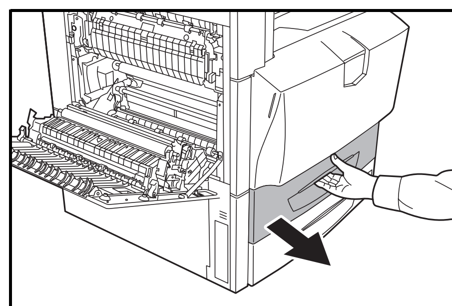
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



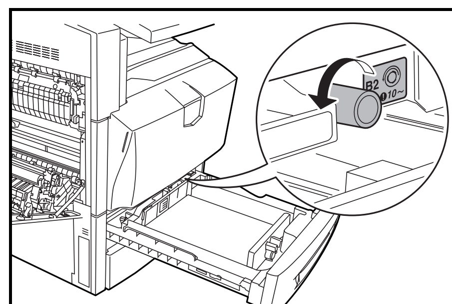
7 手差しの用紙をすべて取り除いてください。



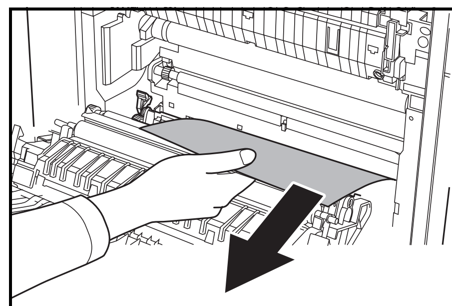
8 カセット 1 を引き出してください。



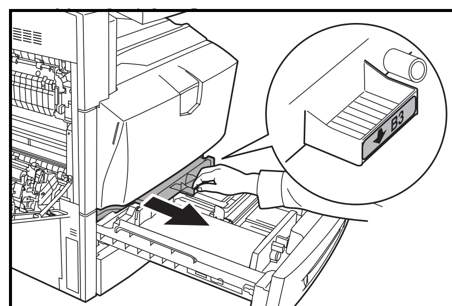
9 ハンドル B2 を左に 10 回以上回してください。つまっている用紙が左カバー内部へ送られます。



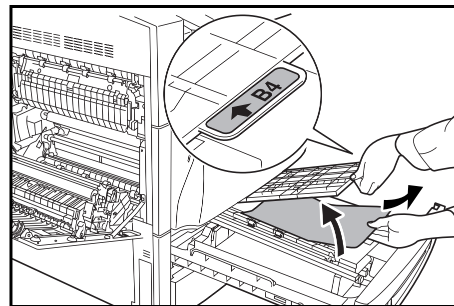
10 つまっている用紙を取り除いてください。用紙が取り除けない場合は、次の手順に進んでください。



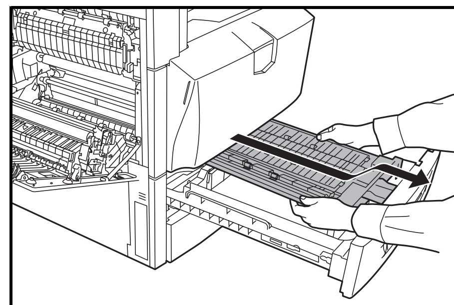
11 給紙ユニット B3 を引き出してください。



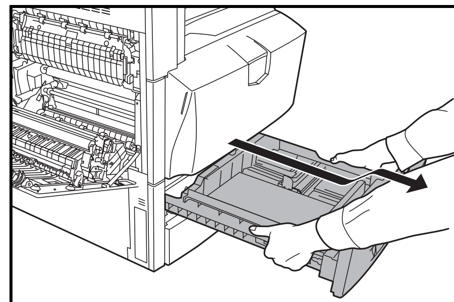
12 カバー B4 を開けて、つまっている用紙を取り除いてください。



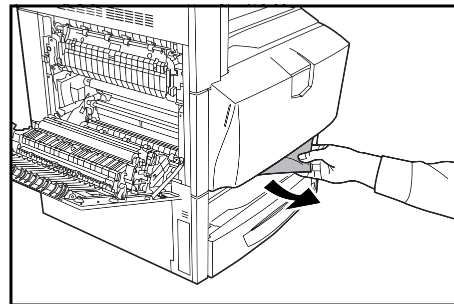
13 用紙が破れている場合は、給紙ユニット B3 をいっぱいに引き出し、少し持ち上げて取り外してください。



14 カセット 1 をいっぱいに引き出し、少し持ち上げて取り外してください。



15 つまっている用紙を取り除いてください。



16 カセット 1 と給紙ユニット B3 を元どおりセットしてください。

17 給紙ガイド B1、両面ユニット A1 および左カバー 1 を閉めてください。

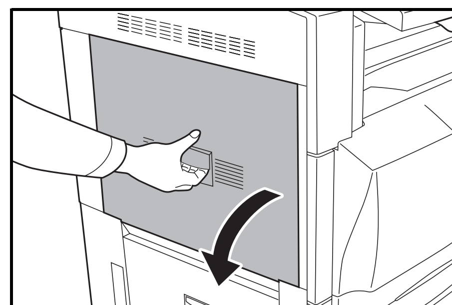
18 手差しに用紙をセットし直してください。

左カバー 1 内部

左カバー 1 内部で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

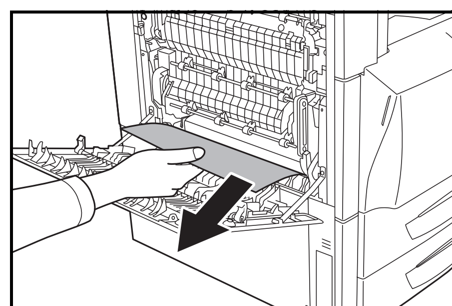


1 左カバー 1 を開けてください。

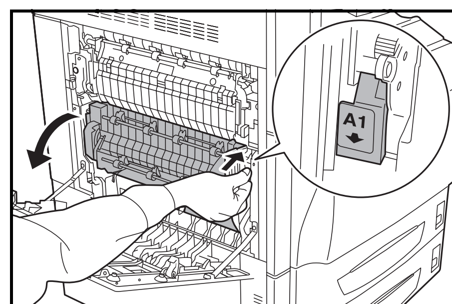


2 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

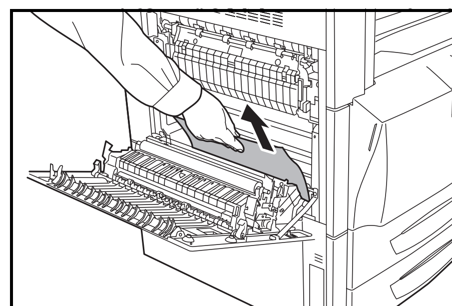


3 両面ユニット A1 を開けてください。



4 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

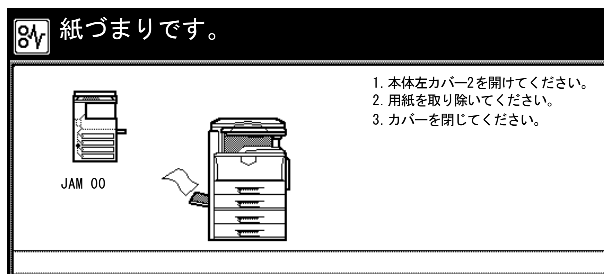


5 両面ユニット A1、左カバー 1 を閉めてください。

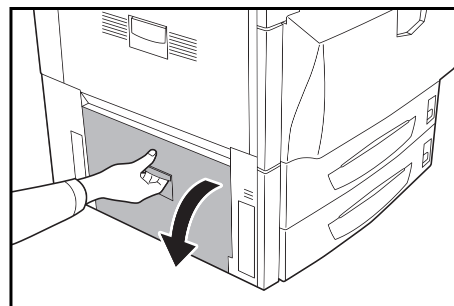
左カバー 2 内部

左カバー 2 内部で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

オプションのペーパーフィーダまたは 3000 枚ペーパーフィーダを使用している際に、左カバー 3 内部で紙づまりが発生したときは、次の手順を左カバー 3 で行ってください。

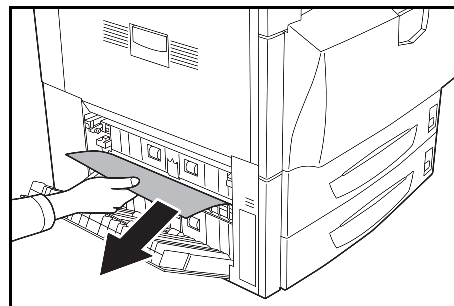


1 左カバー 2 を開けてください。



2 つまっている用紙があれば取り除いてください。

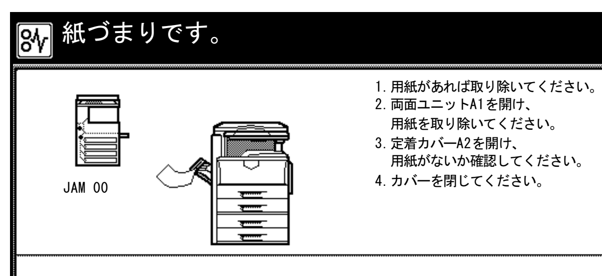
用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



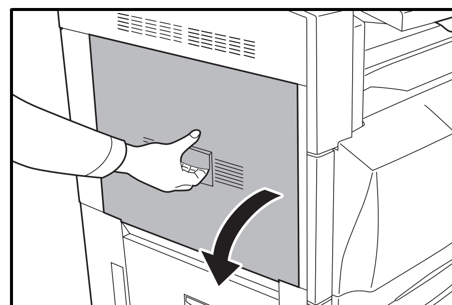
3 左カバー 2 を閉めてください。

定着部

定着部で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除いてください。

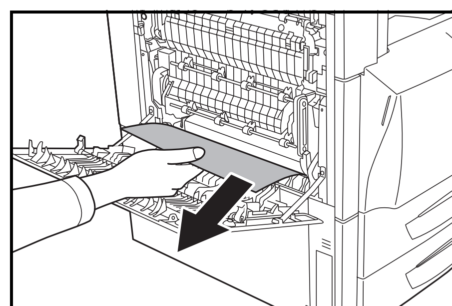


1 左カバー 1 を開けてください。

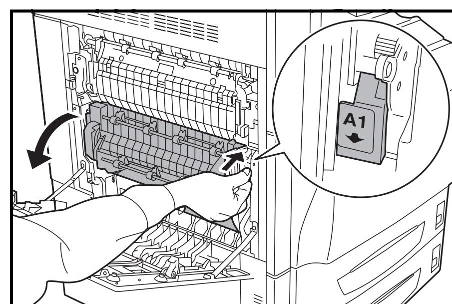


2 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

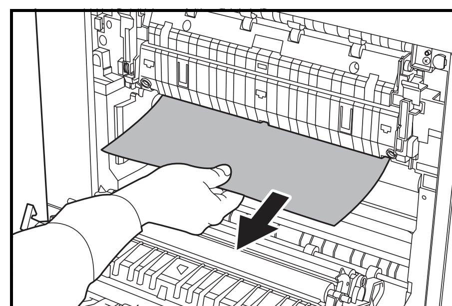


3 両面ユニット A1 を開けてください。

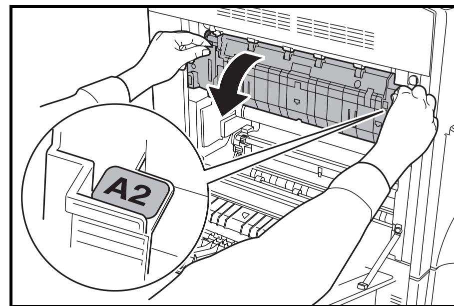


4 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



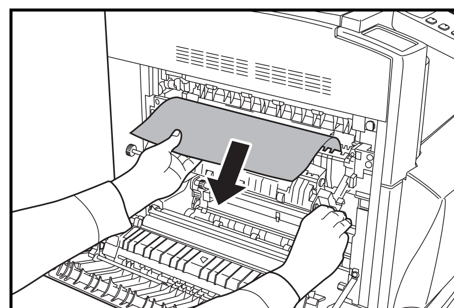
5 定着カバー A2 を開けてください。



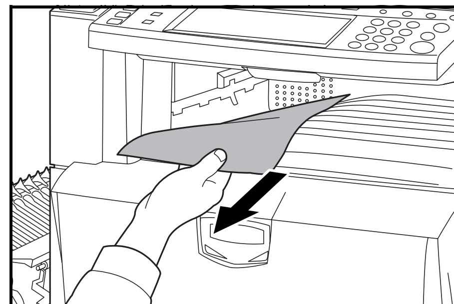
⚠ 注意：本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

6 つまっている用紙があれば取り除いてください。

用紙が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



7 排出口からつまっている用紙が見える場合は、手前に引いて取り除いてください。



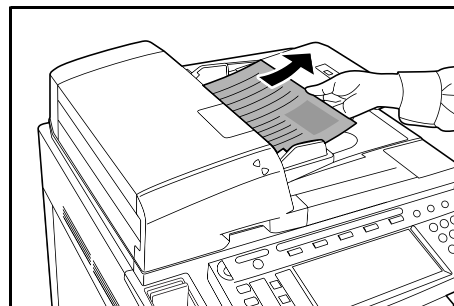
8 定着カバー A2、両面ユニット A1、左カバー 1 を閉めてください。

原稿送り装置（オプション）

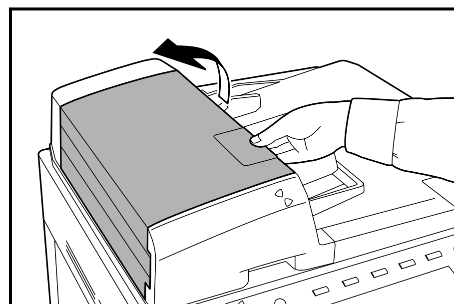
オプションの原稿送り装置で原稿がつまったときは、次の手順で原稿を取り除いてください。



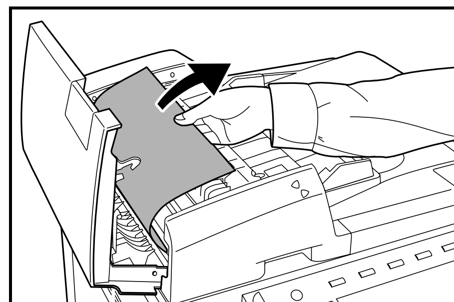
1 原稿トレイに原稿があれば取り除いてください。



2 原稿送り装置カバーを開けてください。

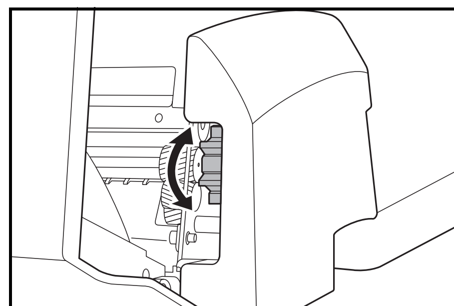


3 つまっている原稿を取り除いてください。

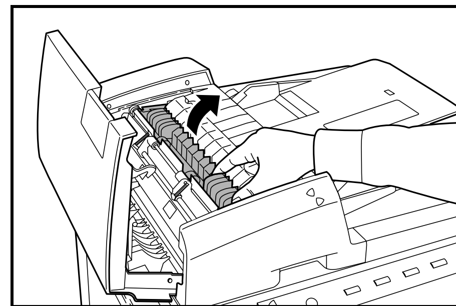


原稿が取り除きにくいときは、ダイヤルを回してください。原稿が取り出しやすい位置に出てきます。

原稿が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。

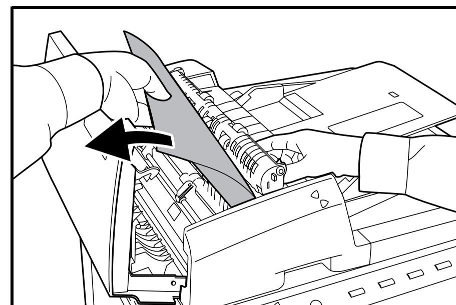


4 反転ユニットを持ち上げてください。



5 つまっている原稿を取り除いてください。

原稿が破れた場合は、紙片が残らないようにすべて取り除いてください。



6 反転ユニットを元に戻し、原稿送り装置カバーを閉めてください。

7 原稿トレイに原稿をセットしなおしてください。

ドキュメントフィニッシャ（オプション）

オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャで紙づまりが発生したときは、それぞれの**使用説明書**を参照して、用紙を取り除いてください。

付録

この章では、本機の仕様を説明します。

仕様

参考：仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

本体

名称	25/20 枚機　KM-C2520 32/25 枚機　KM-C3225 32/32 枚機　KM-C3232
複写方式	乾式静電転写方式（レーザ方式）、タンデムドラム方式
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）
複写サイズ	
カセット 1、2	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、8K、16K、16KR
手差し	A3 ～ A6R、はがき、11 × 17" ～ 5 1/2 × 8 1/2"、8K、16K、16KR、洋形 2 号、洋形 4 号
両面使用時	A3 ～ A5R
欠け幅	4 mm 以下
給紙元容量	
カセット 1	500 枚（80 g/m²、A4 以下）、250 枚（80 g/m²、B4 以上）
カセット 2、3、4	500 枚（80 g/m²）
手差し	100 枚（80 g/m²、A4 以下）、50 枚（80 g/m²、B4 以上）
排紙トレイ容量	250 枚（80 g/m²）
ウォームアップタイム	45 秒以下 低電力モードからの復帰時間：10 秒以下 スリープモードからの復帰時間：45 秒以下 （室温 22 ℃、湿度 60 %）
メモリ	
コピー / スキャナ用	768 MB
プリンタ用	256 MB
増設メモリ	プリンタ用：128 MB、256 MB、512 MB
設置環境	
温度	10 ～ 32.5 ℃
湿度	15 ～ 80 %
海抜	2,500 m 以下
照度	1,500 lux 以下
電源	AC 100 V 50/60 Hz 15 A
本体寸法 （W）×（D）×（H）	605 mm × 645 mm × 745 mm
質量	98 kg（トナーコンテナ、廃棄トナーボックス除く）
本体占有寸法 （W）×（D）	877 mm × 645 mm

コピー機能

複写速度		
25/20 枚機	カラーコピー A3/11 × 17"：10 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：10 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：20 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：14 枚 / 分 B5：20 枚 / 分 B5R：14 枚 / 分	白黒コピー A3/11 × 17"：13 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：13 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：25 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：17 枚 / 分 B5：25 枚 / 分 B5R：17 枚 / 分
32/25 枚機	カラーコピー A3/11 × 17"：13 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：13 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：25 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：17 枚 / 分 B5：25 枚 / 分 B5R：17 枚 / 分	白黒コピー A3/11 × 17"：16 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：16 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：32 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：22 枚 / 分 B5：32 枚 / 分 B5R：22 枚 / 分
32/32 枚機	カラーコピー A3/11 × 17"：16 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：16 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：32 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：22 枚 / 分 B5：32 枚 / 分 B5R：22 枚 / 分	白黒コピー A3/11 × 17"：16 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：16 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：32 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：22 枚 / 分 B5：32 枚 / 分 B5R：22 枚 / 分
ファーストコピータイム	フルカラー：7.9 秒以下（1：1、A4/11 × 8 1/2"） 白黒・単色カラー：5.9 秒以下（1：1、A4/11 × 8 1/2"）	
解像度	読み取り：600 × 600 dpi 書き込み：600 × 600 dpi	
連続複写	1 ～ 999 枚	
複写倍率	25 ～ 400 ％（1 ％毎）の任意倍率 および固定倍率	

プリンタ機能

印刷速度	複写速度と同じ
ファーストプリントタイム	ファーストコピータイムと同じ
解像度	300 dpi、600 dpi、Fast 1200 mode
対応 OS	Windows 95（OSR2）、Windows 98（Second Edition）、Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、Windows 2000（Service Pack 2 以降）、Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003、Apple Macintosh OS 9.x/OS X 10.x
インタフェース	パラレルインタフェース：1（IEEE1284 準拠） ネットワークインタフェース：1 USB 2.0：1（USB Hi-Speed） ネットワークインタフェースカード（オプション）：1 シリアルインタフェース（オプション）：1

スキャナ機能

ハードウェア	IBM PC/AT 互換機	
対応 OS	Windows 95（OSR2）、Windows 98（Second Edition）、Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、Windows 2000（Service Pack 2 以降）、Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003、Mac OS 9.1 〜 9.2.2、Mac OS 10.1.5 〜 10.4（TWAIN: Mac OS 10.2 〜 10.4）	
動作環境	CPU	Pentium 133 MHz 以上（Windows Me 150 MHz 以上、Windows XP Celeron 600 MHz 以上、Macintosh Power PC G3 以上）
	RAM	64 MB 以上（Windows XP 128 MB）
	HDD	20 MB 以上
推奨環境	CPU	Celeron 266 MHz 以上（Windows XP Celeron 800 MHz 以上）
	RAM	64 MB 以上
	HDD	300 MB 以上
CD-ROM	ディスクドライブ 1 ドライブ	
イーサネット	10BASE-T/100BASE-TX	
ネットワークプロトコル	TCP/IP	
転送プロトコル	独自方式（画像転送時 / ユーティリティによる設定時）、SMTP（E-Mail 送信時）、HTTP（Web 設定時）、FTP（FTP 送信時）、TWAIN（TWAIN 使用時）	

原稿送り装置（オプション）

原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大：A3 最小：A5R
原稿の厚さ	片面原稿：45 〜 160 g/m^2 両面原稿：50 〜 120 g/m^2
原稿セット枚数	A4 以下：100 枚以下（50 〜 80 g/m^2） B4 以上：70 枚以下（50 〜 80 g/m^2）
機械寸法 （W）×（D）×（H）	571 mm × 488 mm × 134 mm
質量	約 11.5 kg

ペーパーフィーダ（オプション）

給紙方式	フリクションリタード方式（収納枚数 550 枚（64 g/m^2）× 2 段）
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、10 1/2 × 7 1/4"、7 1/4 × 10 1/2"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、8K、16K、16KR
使用用紙	紙厚：60 ～ 105 g/m^2 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー
本体寸法 （W）×（D）×（H）	585 mm × 590 mm × 315 mm
質量	約 26 kg

3000 枚ペーパーフィーダ（オプション）

給紙方式	フリクションリタード方式（収納枚数 3000 枚（80 g/m^2））
用紙サイズ	A4、B5
使用用紙	紙厚：60 ～ 105 g/m^2 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー
本体寸法 （W）×（D）×（H）	585 mm × 600 mm × 314 mm
質量	約 23 kg

ドキュメントフィニッシャ（オプション）

トレイ数	1 トレイ
用紙サイズ （ノンステープル時）	A3、B4：500 枚 A4、A4R、B5、B5R、Folio：1000 枚
使用用紙の厚さ	ステープル時：80 g/m^2 以下
ステープル制限枚数†	B4、A3：20 枚、A4、A4R、B5：30 枚［用紙の厚さ 80 g/m^2 以下］
本体寸法 （W）×（D）×（H）	558 mm × 526 mm × 916 mm
質量	約 25 kg

† カラーコピー専用紙を使用した場合、紙質により制限枚数までステープルできない場合があります。

参考：ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを使用する場合は、オプションのジョブセパレータを装着する必要があります。

ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャで排出できる用紙は、カセットから給紙される用紙に限られます。

3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）

トレイ数	3 トレイ
用紙サイズ	
トレイ A （ノンステープル時）	A3、B4、8K：1500 枚 A4、A4R、B5、Folio、16K：3000 枚
トレイ B	A3、B4、8K：100 枚 A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6R、A6R、Folio、16K、16KR：200 枚
トレイ C	はがき：50 枚 A4、B5、A5、A5R、B6R、A6R、16K：50 枚 はがき：10 枚
使用用紙の厚さ	ステープル時：90 g/m^2 以下 パンチ時（オプション）：45 ～ 200 g/m^2
ステープル制限枚数†	B4、A3：30 枚、A4、A4R、B5：50 枚［用紙の厚さ 90 g/m^2 以下］
本体寸法 （W）×（D）×（H）	684 mm × 563 mm × 1087 mm
質量	約 48 kg 以下

† カラーコピー専用紙を使用した場合、紙質により制限枚数までステープルできない場合があります。

参考：ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを使用する場合は、オプションのジョブセパレータを装着する必要があります。

ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャで排出できる用紙は、カセットから給紙される用紙に限られます。

ジョブセパレータ（オプション）

トレイ数	1 トレイ
収納制限枚数	100 枚（80 g/m^2）
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、7 1/4 × 10 1/2"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"
使用用紙ペーパー	紙厚：60 ～ 105 g/m^2 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー、薄紙、レターヘッド
機械寸法 （W）×（D）×（H）	570 mm × 570 mm × 240 mm
質量	2.3 kg 以下

環境仕様

低電力モードからの復帰時間	10 秒以下
低電力モード移行時間（出荷時設定）	15 分
スリープモード移行時間（出荷時設定）	60 分
両面機能	標準
給紙搬送性	古紙 100 % 配合紙使用可能

参考：推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式は次の 2 つの方式があります。

チャージ方式

トナー、用紙などの消耗品を除く、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。

スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様のご要請のつど料金を申し受ける方式です。

詳しくは販売担当者もしくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

契約書について

保守サービスとしてコピーチャージ契約を結ばれたお客様は「コピーチャージ契約書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社ブランチが必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーチャージ契約書」には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーチャージ契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社ブランチへご連絡ください。ただちに発行手続きを致します。

参考：アフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店もしくは、最寄りの弊社ブランチへお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7 年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用後、不要になりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却下さい。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

索引

MEMO

MEMO

J

QUALITY
CERTIFICATE

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

KYOCERA お客様相談窓口のご案内

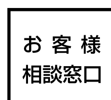
京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラミタ株式会社
京セラミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

お客様相談窓口





0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

2006.1
302FZ56010 Rev.1.0